

総合講義（Ⅱ）

コーディネーター： 予防歯科学分野 岸光男教授
う蝕治療学分野 工藤義之准教授

担当：歯学部専門教育担当教員

第6学年 通年(平成29年3月27日～平成30年1月11日)

講義
924.4時間

教育成果（アウトカム）

歯科医学・歯科医療についての知識力の統合を図るとともに、歯科医師としての十分な思考力を涵養するために、これまで縦割的に学んできた基礎および臨床的知識に加えて、横割的学習を行なうことによって医療人としての基盤形成に不可欠な知識や技能を総合的に修得する。（ディプロマポリシー：1, 2, 3, 4, 5）

事前学修内容及び事前学修時間（30分）

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書等を用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

講義日程【歯科医師に必要な必修領域、一般領域、臨床実地領域の知識確認ならびに勉強の仕方（3月27日～3月30日）】

1限：8：50～10：20、2限：10：30～12：00、3限：13：00～14：30、4限：14：40～16：10

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
3月27日(月) 8:50～12:00		必修試験1	
3月27日(月) 3限	山田浩之教授 (口腔外科学)	口腔外科領域の試験の傾向と勉強法 口腔外科領域の試験問題を理解し、勉強法を見つけることができる。	1. 今春の口腔外科領域の試験問題を通して傾向を説明できる。 2. 自分にあった勉強法を見つけることができる。
3月27日(月) 4限	城茂治教授 玉田泰嗣助教 (摂食嚥下口腔リハビリテーション学)	摂食嚥下・訪問診療領域の国家試験の傾向と勉強法 摂食嚥下・訪問診療領域の国家試験問題を理解し、勉強法を見つけることができる。	1. 今春の修復領域の国家試験問題を通して最近の傾向を説明できる。 2. 理解しておくべき考え方、覚えておくべき項目を把握し、説明できる。
3月28日(火) 1限	岡田伸男講師 (う蝕治療学)	修復、歯内領域の歯科医師として必要な知識修得とその勉強法 歯科医師として必要な修復、歯内領域の知識を修得することができる。	1. 今春の国家試験で問われた修復、歯内領域の歯科医師に必要な知識を説明できる。 2. 歯科医師として必要な知識を修得するために自分にあった勉強法での年間計画を立案できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
3月28日(火) 2限	八重柏隆教授 (歯周療法学)	歯周領域の勉強法 歯周領域に求められる演習問題を理解し、勉強法を見つけることができる。	1. 歯周領域に求められる学力の水準を説明できる。 2. 歯周領域の演習問題の理解ができる。 3. 自分にあった勉強法を修得できる。
3月28日(火) 3限	小林琢也准教授 田邊憲昌講師 (補綴・インプラント学)	歯科補綴学領域の国家試験の傾向と勉強法 歯科補綴学領域の国家試験問題を理解し、勉強法を見つけることができる。	1. 今春の歯科補綴学領域の国家試験問題を通して傾向を説明できる。 2. 自分にあった勉強法を見つけることができる。
3月28日(火) 4限	小豆島正典教授 (歯科放射線学) 近藤尚知教授 (補綴・インプラント学)	放射線領域の勉強法 歯科医師として必要な放射線領域の勉強法を見つけることができる。 インプラント領域の歯科医師として必要な知識修得とその勉強法 歯科医師として必要なインプラント領域の知識を修得することができる。	1. 今春の国家試験で問われた放射線領域の歯科医師に必要な知識を説明できる。 2. 歯科医師として必要な知識を修得するために自分にあった勉強法での年間計画を立案できる。 1. 今春の国家試験で問われたインプラント領域の歯科医師に必要な知識を説明できる。 2. 歯科医師として必要な知識を修得するために自分にあった勉強法での年間計画が立案できる。
3月29日(水) 1限	千葉俊美教授 (内科学) 佐藤健一教授 (歯科麻酔学)	内科領域の歯科医師として必要な知識修得とその勉強法 歯科医師として必要な内科領域の知識を修得することができる。 歯科麻酔学の重要領域のまとめ 歯科麻酔学の重要領域を確認し、適切な対策を立てることができる。	1. 今春の国家試験で問われた内科領域の歯科医師に必要な知識を説明できる。 2. 歯科医師として必要な知識を修得するために自分にあった勉強法での年間計画を立案できる。 1. 歯科麻酔学の重要領域を説明できる。 2. 歯科麻酔学の自分自身の弱点を認識し、自分にあった勉強法を見つけることができる。
3月29日(水) 2限	丸谷由里子講師 (小児歯科学) 水川卓磨助教 (歯科矯正学)	小児歯科学領域の歯科医師として必要な知識修得とその勉強法 歯科医師として必要な小児歯科学領域の知識を修得することができる。 歯科矯正学の重要領域の傾向と勉強法 歯科矯正学の重要領域を確認し、適切な対策を立てることができるようになる。	1. 小児歯科学領域の試験問題を通して傾向を説明できる。 2. 自分にあった勉強法を見つけることができる。 1. 歯科矯正学の重要領域について説明できる。 2. 歯科矯正学領域における自分自身の弱点を認識し、自分にあった勉強法を見つけることができる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
3月29日(水) 3限	岸光男教授 (予防歯科学)	予防歯科領域の勉強法 予防歯科領域学習目標とそれに対する、勉強法を見つけることができる。	1. 予防歯科領域に求められる学力の水準を説明できる。 2. 自分にあった勉強法を見つけることができる。
3月29日(水) 4限	工藤義之准教授 (う蝕治療学) 久慈昭慶准教授 (障害者歯科学)	総合歯科領域の歯科医師として必要な知識修得とその勉強法 歯科医師として必要な総合歯科領域の知識を修得することができる。 障害者歯科学領域の重要事項のまとめ 障害者歯科学の重要領域を確認し、適切な対策がとれる。	1. 今春の国家試験で問われた総合歯科領域の歯科医師に必要な知識を説明できる。 2. 歯科医師として必要な知識を修得するために自分にあった勉強法での年間計画を立案できる。 1. 障害者歯科学領域における自分の弱点を認識し、自分に合った勉強法を見出せる。
3月30日(木) 1限	武本真治教授 (医療工学) 小笠原正人教授 (病態制御学)	歯科理工学領域に必要な知識と勉強法 歯科理工学の重要項目を理解し、勉強法を見つけることができる。 薬理学重要事項のまとめ 歯科医師として習得すべき薬理学の基本的知識を理解する。	1. 歯科理工学の知識を再確認し、これからの総合講義に役立てることができる。 1. これまでの学修で理解が不十分な領域を確認し、今後の学修に活かすことができる。
3月30日(木) 2限	三上俊成准教授 (口腔病理学) 下山佑講師 (分子微生物学)	病理学修得のための勉強法 疾患の発症機序を病理学的に理解するための、勉強法を見つけることができる。 微生物学領域の歯科医師として必要な知識 歯科医師として習得すべき微生物学の基本的知識を理解する。	1. 疾患の発症機序を病理学的に理解するために、病理学総論、口腔病理学における効率的な勉強法を確立することができる。 1. 歯科医師として必要な微生物学の知識を習得するための、効率的な勉強法を確立することができる。
3月30日(木) 3限	成田欣弥講師 (病態生理学) 加茂政晴准教授 (細胞情報科学)	生理学領域の歯科医師として必要な知識 歯科医師として習得すべき微生物学の基本的知識を理解する。 生化学領域の知識の整理 生化学領域の重要項目ならびに習得すべき知識を理解する。	1. 歯科医師として必要な生理学の知識を習得するための、効率的な勉強法を確立することができる。 1. 歯科医師として必要な生化学・分子生物学・細胞生物学の知識を列挙できる。 2. 理解が不十分な領域を確認するとともに、重要領域の概要を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
3月30日(木) 4限	藤原尚樹准教授 (発生生物・再生 医学) 安藤禎紀講師 (機能形態学)	組織・発生学の重要領域の まとめ 組織・発生学の重要領域を 確認し、適切な対策を立て ることができるようになる。 肉眼解剖学の重要領域の まとめ 肉眼解剖学の重点領域を 再確認し、重要度に合わせ た対策を立てることがで きるようにする。	1. 組織・発生学の重要領域について説明で きる。 2. 組織・発生学領域における自分自身の弱 点を認識し、自分にあった勉強法を見つ けることができる。 1. 肉眼解剖各項目の中から重要領域を抽出 できる。 2. 肉眼解剖学各項目における自分自身の弱 点を認識し、自分なりの勉強方法を構築 することができる。

講義日程【必修試験解説&必修講義（3月31日～4月27日）】

1限：8：50～10：20、2限：10：30～12：00、3限：13：00～14：30、4限：14：40～16：10

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
3月31日(金) 1, 2限	安藤禎紀講師 (機能形態学) 藤原尚樹准教授 (発生生物・再生 医学) 成田欣弥講師 (病態生理学)	肉眼解剖学の基本である骨学のまとめ 頭頸部領域のすべての骨の連結状況を説明できるようにする。 組織・発生学領域の基本的内容のまとめ1 組織・発生学領域の基本的な内容について、統合的かつ体系的に整理、理解できるようになる。 生理学領域の基本的内容のまとめ1 生理学領域の基本的な内容について、統合的かつ体系的に整理、理解できるようになる。	1. 頭蓋骨のすべての骨の位置と連結状況、関節形式を説明できる。 2. 頭蓋骨の孔、窩の連絡先をすべて説明できる。 1. 組織・発生学領域の基本的な内容について整理して確認できる。 2. 組織・発生学領域の基本的な内容について周辺組織との関連も考えながら体系的に説明できる。 1. 生理学領域の基本的な内容について整理して確認できる。
3月31日(金) 3, 4限	帖佐直幸講師 (細胞情報科学) 佐々木実教授 (分子微生物学) 三上俊成准教授 (口腔病理学)	生化学領域の必修知識 生化学の重要項目ならびに唾液の成分について理解する。 微生物学・免疫学必修（必修講義） 歯科医師として習得すべき微生物学・免疫学の基本的な知識や特に重要な必修項目を理解する。 病理の基礎知識 病理学全般の理解に必要な基礎知識を理解する。	1. 歯科医師として必要な生化学領域の必修知識を理解する。 2. 唾液成分の機能について説明できる。 1. 微生物学・免疫学の歴史と発展について説明できる。 2. 院内感染対策について説明できる。 3. 生体の免疫機構について説明できる。 4. 口腔の生態系について説明できる。 1. 病理学の基礎知識を理解し、全身疾患および口腔病変の主な発症機序を説明できる。
4月3日(月) 1, 2限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	ガイダンス データをもとに歯科医師として必要な知識について習得しているかを確認することができる。	1. 成績に関するデータを説明できる。 2. 習得を必要とする知識の種類、習得時期を説明できる。 3. 自分にあった学習計画を説明できる。
4月3日(月) 3, 4限	岸 光男教授 (予防歯科学)	社会歯科領域・予防歯科領域の学力の現状把握 社会歯科・予防歯科領域の求められる学力を確認し、学習計画を立案する。	1. 社会歯科・予防歯科領域に必要な学習範囲を概説する。 2. 社会歯科・予防歯科領域に関する学習計画を立案できる。
4月4日(火) 1限	八重柏隆教授 (歯周療法学)	歯周領域の勉強法 歯周領域に求められる演習問題を理解し、勉強法を見つけることができる。	1. 歯周領域に求められる学力の水準を説明できる。 2. 歯周領域の演習問題の理解ができる。 3. 自分にあった勉強法を修得できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
4月4日(火) 2限	長谷部智之助教 (う蝕治療学)	歯内領域必修問題 歯内の必修領域について理解する。	1. 試験解説を通して歯内領域の必修問題を解くことができるようになる。
4月5日(水) 3限	長谷部智之助教 (う蝕治療学)	修復領域必修問題 修復の必修領域について理解する。	1. 試験解説を通して修復領域の必修領域の知識を説明できるようになる。
4月5日(水) 4限	長谷部智之助教 (う蝕治療学)	総合領域必修問題 総合歯科の必修領域について理解する。	1. 試験解説を通して総合領域の必修問題を解くことができるようになる。
4月6日(木) 1限	小林琢也准教授 (補綴・インプラント学)	必修対策講義 (人体の正常構造・機能・加齢変化) 口腔・顎顔面の構造・機能・加齢変化を理解する。	1. 口腔の構造について説明できる。 2. 口腔の機能について説明できる。 3. 頭部の筋について説明できる。 4. 顎関節の構造について説明できる。 5. 加齢による口腔・顎・顔面変化について説明できる。 6. 歯の喪失に伴う変化について説明できる。
4月6日(木) 2限	田邊憲昌講師 (補綴・インプラント学)	クラウンブリッジ補綴学領域必修問題 クラウンブリッジ補綴学領域の必修問題について理解する。	1. 試験解説を通してクラウンブリッジ補綴学領域の必修問題を解くことができるようになる。
4月7日(金) 1限	宮本郁也准教授 (口腔外科学)	口腔外科領域必修問題1 口腔外科領域の必修問題について理解する。	1. 試験解説を通して口腔外科領域の必修問題を解くことができるようになる。
4月7日(金) 2限	阿部亮輔助教 (口腔外科学)	口腔外科領域必修問題2 口腔外科領域の必修問題について理解する。	1. 試験解説を通して口腔外科領域の必修問題を解くことができるようになる。
4月10日(月) 3限	間山寿代講師 (歯科矯正学)	歯科矯正学領域必修問題 歯科矯正学領域の基本的事項について理解する。	1. 試験解説を通して矯正領域の必修問題を解くことができるようになる。
4月11日(火) 1,2限	武本真治教授 (医療工学) 小笠原正人教授 (病態制御学)	歯科理工学必修試験解説講義1 歯科理工学領域の基本的事項について理解する。 薬理学総論・薬物受容体・薬物体内動態 薬物の作用の仕方について受容体を介するもの、介さないものについて理解し、薬物の吸収・分布・代謝・排泄体内について理解する。	1. 歯科理工学領域の基本的知識を説明できる。 1. 薬物療法の種類を説明できる。 2. 薬物動態・薬力学について説明できる。 3. 用量—反応曲線を用いて協力作用と拮抗作用を説明できる。 4. 治療係数について説明できる。 5. 初回通過効果について説明できる。 6. 薬物代謝酵素とその阻害あるいは誘導する薬物について説明できる。 7. 尿、胆汁、唾液から排泄される薬物について説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
4月12日(水) 3限	佐藤雅仁准教授 (歯科麻酔学)	歯科麻酔領域必修問題 歯科麻酔領域の必修問題について理解する。	1. 試験解説を通して歯科麻酔領域の必修問題を解くことができるようになる。
4月13日(木) 1限	小豆島正典教授 (歯科放射線学)	放射線領域の基本1 放射線領域の基本的な項目について修得する。	1. 放射線領域の基本的な項目を列挙し、説明できる。
4月13日(木) 2限	丸谷由里子講師 (小児歯科学)	小児歯科学領域必修問題 小児歯科学領域の基本的事項について理解する。	1. 試験解説を通して小児歯科領域の必修問題を解くことができるようになる。
4月14日(金) 3限	佐藤和朗教授 (歯科矯正学)	一般教養領域必修問題 一般教養領域の基本的事項について理解する。	1. 試験解説を通して一般教養領域の必修問題を解くことができるようになる。
4月17日(月) 9:30~15:40		第1回全国模擬試験 (DES基礎)	
4月18日(火) 8:50~12:00		必修試験2	
4月19日(水) 1,2限	藤村朗教授 (機能形態学) 武本真治教授 (医療工学) 成田欣弥講師 (病態生理学)	肉眼解剖学の基本である筋学のまとめ 頭頸部領域のすべての筋肉の起始・停止・支配神経を説明できるようにする。 歯科理工学必修試験解説講義2 歯科理工学領域の基本的事項について理解する。 生理学領域の基本的内容のまとめ2 生理学領域の基本的な内容について、統合的かつ体系的に整理、理解できるようにする。	1. 頭蓋骨のすべての骨の筋肉の付着部を説明できる。 2. 頭頸部の筋肉の支配神経の走行をすべて説明できる。 1. 歯科理工学領域の基本的知識を説明できる。 1. 生理学領域の基本的な内容について整理して確認できる。
4月19日(水) 3,4限	南 健太郎助教 (予防歯科学)	予防歯学関連必修問題演習 過去に出題された必修問題を演習する。	1. 過去に国家試験で出題された必修問題を演習し、出題傾向を理解する。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
4月21日(金) 1,2限	帖佐直幸講師 (細胞情報科学) 佐藤泰生講師 (口腔病理学) 佐々木実教授 (分子微生物学)	生化学領域の必修知識 生化学の重要項目ならびにホルモンの機能について理解する。 病理の基礎知識 病理学全般の理解に必要な基礎知識を理解する。 微生物学・免疫学必修(必修講義) 歯科医師として習得すべき微生物学・免疫学の基本的な知識や特に重要な必修項目を理解する。	1. 歯科医師として必要な生化学領域の必修知識を理解する。 2. ホルモンの性状や受容体について説明できる。 1. 病理学の基礎知識を理解し、全身疾患および口腔病変の主な発症機序を説明できる。 1. 微生物学・免疫学に関わる全身疾患による口腔症状について説明できる。 2. 微生物学検査および免疫血清学検査について説明できる。 3. 感染症の概念・病因・病態について説明できる。 4. 免疫異常の概念・病因・病態について説明できる。
4月21日(金) 3限	八重柏隆教授 (歯周療法学)	歯周領域必修問題 歯周領域の必修問題について理解する。	1. 試験解説を通して歯周領域の必修問題を解くことができる。
4月21日(金) 4限	長谷部智之助教 (う蝕治療学)	歯内領域必修問題 歯内の必修領域について理解する。	1. 試験解説を通して歯内領域の必修問題を解くことができるようになる。
4月24日(月) 1限	櫻井秀人助教 (う蝕治療学)	修復領域必修問題 修復の必修領域について理解する。	1. 試験解説を通して修復領域の必修問題を解くことができるようになる。
4月24日(月) 2限	千田弥栄子助教 (う蝕治療学)	総合領域必修問題 総合歯科の必修領域について理解する。	1. 試験解説を通して総合領域の必修問題を解くことができるようになる。
4月24日(月) 3限	小林琢也准教授 (補綴・インプラント学)	必修対策講義 (主要な疾患と障害の病因・病態) (治療の基礎・基本手技) 咬合と咀嚼障害の概念とそれに対する治療の基礎・基本手技を理解する。	1. 咬合・咀嚼障害について説明できる 2. 印象採得の基本術式について説明できる。 3. 顎間関係の記録の基本術式について説明できる。 4. 咬合器の種類と操作法について説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
4月24日(月) 4限	小笠原正人教授 (病態制御学) 城 茂治教授 玉田泰嗣助教 (摂食嚥下口腔リ ハビリテーショ ン学)	総論・副作用 薬物アレルギーおよび薬物の併用による相互作用について理解する。 摂食嚥下・訪問診療領域必修問題 摂食嚥下・訪問診療領域の必修問題について理解する。	1. 薬物アレルギーのメカニズムについて説明できる。 2. 薬物アレルギーを起こしやすい薬物とアレルギー発症時の対策について説明できる。 3. 薬物相互作用のメカニズムと主要薬物の組合せについて例を挙げて説明できる。 1. 試験解説を通して摂食嚥下・訪問診療領域の必修問題を解くことができるようになる。
4月25日(火) 1限	田邊憲昌講師 (補綴・インプラント学)	クラウンブリッジ学領域必修問題 クラウンブリッジ補綴学領域の必修問題について理解する。	1. 試験解説を通してクラウンブリッジ補綴学領域の必修問題を解くことができるようになる。
4月25日(火) 2限	山谷元気助教 (口腔外科学)	口腔外科領域必修問題3 口腔外科領域の必修問題について理解する。	1. 試験解説を通して口腔外科領域の必修問題を解くことができるようになる。
4月26日(水) 1限	熊谷章子准教授 (法歯学・災害口腔医学)	口腔外科領域必修問題4 口腔外科領域の必修問題について理解する。	1. 試験解説を通して口腔外科領域の必修問題を解くことができるようになる。
4月26日(水) 2限	間山寿代講師 (歯科矯正学)	歯科矯正学領域必修問題 歯科矯正学領域の基本的事項について理解する。	1. 試験解説を通して矯正領域の必修問題を解くことができるようになる。
4月26日(水) 3限	藤井雅助教 (小児歯科学)	小児歯科学領域必修問題 小児歯科学領域の基本的事項について理解する。	1. 試験解説を通して小児歯科領域の必修問題を解くことができるようになる。
4月26日(水) 4限	藤原尚樹准教授 (発生生物・再生医学)	組織・発生学領域の基本的内容のまとめ2 組織・発生学領域の基本的な内容について、統合的かつ体系的に整理、理解できるようになる。	1. 組織・発生学領域の基本的な内容について整理して確認できる。 2. 組織・発生学領域の基本的な内容について周辺組織との関連も考えながら体系的に説明できる。
4月27日(木) 1限	佐藤健一教授 (歯科麻酔学)	歯科麻酔領域必修問題 歯科麻酔領域の必修問題について理解する。	1. 試験解説を通して歯科麻酔領域の必修問題を解くことができるようになる。
4月27日(木) 2限	小豆島正典教授 (歯科放射線学)	放射線領域の基本2 放射線領域の基本的な項目について修得する。	1. 放射線領域の基本的な項目を列挙し、説明できる。
4月27日(木) 3限	佐藤和朗教授 (歯科矯正学)	一般教養領域必修問題 一般教養領域の基本的事項について理解する。	1. 試験解説を通して一般教養領域の必修問題を解くことができるようになる。

講義日程【A講義（4月28日～7月26日）】

復習試験：8：50～9：20、1限：9：30～10：35、2限：10：45～11：50、

3限：12：50～13：55、4限：14：05～15：10、5限：15：20～16：25

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
4月28日(金) 1限	金村清孝准教授 (補綴・インプラント学)	支台歯形成 クラウンの種類と支台歯形成に関する知識を深め整理できる。	1. 講義を通してクラウンの種類とその支台歯形成法に関連する問題を解くことができるようになる。
4月28日(金) 2限	大平千之講師 (補綴・インプラント学)	支台築造 支台築造に関する知識を深め整理できる。	1. 講義を通して支台築造に関連する問題を解くことができるようになる。
4月28日(金) 3限	大平千之講師 (補綴・インプラント学)	クラウンブリッジの前処置 前処置に関する知識を深め整理できる。	1. 講義を通してクラウンブリッジによる補綴に必要な前処置に関連する問題を解くことができるようになる。
4月28日(金) 4限	武本真治教授 (医療工学)	歯科材料の科学①応力ひずみ曲線と機械的性質 歯科材料の機械的性質について学ぶ。	1. 各種材料の応力-ひずみ特性（弾性係数、レジリエンス、降伏強さなど）を説明できる。 2. 歯科臨床における歯科材料の機械的性質を説明できる。 3.
4月28日(金) 5限	武本真治教授 (医療工学)	歯科材料の科学②歯科材料の化学（材料の分類） 歯科材料の化学的性質（化学構造、物質の状態、基本的な化学反応）を学ぶ。	1. 歯科臨床における歯科材料の化学的性質を説明できる。
5月1日(月) 1限	原田英光教授 (発生物・再生医学)	組織・器官系のまとめ 人体を構成する組織・器官系とこれらの構成要素である細胞に関する組織学的特徴や機能について説明できるようになる。	1. 人体を構成する器官系を列挙できる。 2. 上皮組織の組織学的分類とそれぞれの存在部位について説明できる。 3. 重層扁平上皮の各層の特徴と構成細胞について説明できる。 4. 天疱瘡・類天疱瘡などの疾患を組織学的視点から説明できる。 5. 線維性結合組織・弾性組織・細網組織について組織の特徴と存在部位について説明できる。 6. 結合組織に存在する細胞の組織学的特徴を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
5月1日(月) 2限	原田英光教授 (発生生物・再生医学)	間葉系幹細胞・造血系幹細胞に由来する細胞とその機能 間葉系幹細胞に由来する細胞、造血系幹細胞に由来する細胞とそれらの機能について説明できるようになる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 間葉系幹細胞に由来する細胞を列挙できる。 2. 骨・軟骨組織の組織学的特徴について説明できる。 3. 骨格筋・平滑筋・心筋の組織学的特徴を説明できる。 4. 造血系幹細胞に由来する細胞を列挙できる。 5. 血球について組織学的特徴について説明できる。 6. 結合組織に存在する炎症系細胞について組織学的特徴や機能を説明できる。
5月1日(月) 3限	武本真治教授 (医療工学)	歯科材料の科学③物理的・化学的・生物学的性質 歯科材料の物理的性質、化学的性質、生物学的性質を学ぶ。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯科臨床における歯科材料の物理的・機械的性質を説明できる。 2. 口腔内環境と化学反応性(金属の腐食、高分子の加水分解など)を説明できる。 3. 歯科臨床における歯科材料の安全性について説明できる。
5月1日(月) 4限	武本真治教授 (医療工学)	接着に関わる各種表面処理 歯科接着の化学的な原理、接着時の表面処理の意義について学ぶ。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯面および各種歯科材料の接着に必要な表面処理方法、特に接着性モノマーの働きを説明できる。
5月2日(火) 8:50~12:00		必修試験3	
5月2日(火) 4,5限	岡田伸男講師 (う蝕治療学)	基礎力養成 接着歯科医学1, 2 接着について理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. エッチングについて説明できる。 2. プライミングについて説明できる。 3. ボンディングについて説明できる。 4. 各種材料に対する処理を説明できる。 5. 接着の欠点について説明できる。
5月6日(土) 1限	藤原尚樹准教授 (発生生物・再生医学)	歯の発生と象牙質・歯髄 象牙質・歯髄複合体を構成する細胞や構造について説明でき、さらに発生学的視点から理解できるようになる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 象牙質・歯髄複合体を構成する細胞の由来について説明できる。 2. 象牙芽細胞の分化と形態変化について説明できる。 3. 象牙質の種類と組織学的特徴について説明できる。 4. 象牙質に見られる成長線について説明できる。 5. 象牙細管、基質の石灰化の状態によって見られる構造について説明できる。 6. 歯髄の組織学的特徴や構成細胞を説明できる。 7. 歯髄の脈管・神経系について説明できる。 8. 象牙質・歯髄複合体の生理的加齢変化について説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
5月6日(土) 2限	藤原尚樹准教授 (発生生物・再生医学)	歯の発生と歯周組織 歯周組織(歯肉・セメント質・歯根膜・歯槽骨)を構成する細胞や構造について説明でき、さらに発生学的視点から理解できるようになる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯周組織やその構成細胞の由来について説明できる。 2. 歯肉の組織学的特徴について説明できる。 3. 付着上皮の特異性と臨床的意義について説明できる。 4. セメント質の特徴と形成機序について説明できる。 5. 歯根膜の組織学的特徴と構成細胞について説明できる。 6. 歯槽骨の組織学的特徴について説明できる。 7. 歯槽硬線を組織学的特徴から説明できる。 8. 歯槽骨・歯根膜のリモデリングについて説明できる。 9. 歯周組織の脈管・神経・機械的受容器について説明できる。
5月8日(月) 1限	小笠原正人教授 (病態制御学)	総論・薬物効果に影響する因子 生体側の因子・薬物側の因子について理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 年齢・用量・個人差について説明できる。 2. 疾病による特異的な薬物反応について説明できる。 3. 遺伝的素因による薬物反応の違いについて説明できる。 4. プラセボ効果について説明できる。
5月8日(月) 2限	小笠原正人教授 (病態制御学)	抗腫瘍薬 抗腫瘍薬の種類・作用機序・副作用について理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主な抗腫瘍薬の作用機序・副作用について説明できる。 2. 分子標的治療薬について説明できる。
5月8日(月) 3限	志賀華絵助教 (う蝕治療学)	基礎力養成 コンポジットレジン修復1(形成法, 充填法, 研磨,) コンポジットレジン修復窩洞形成法, 充填, 研磨について理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. コンポジットレジン窩洞についてメタルインレー窩洞との違いを説明できる。 2. コンポジットレジンの充填法を説明できる。 3. コンポジットレジンの研磨方法を説明できる。
5月8日(月) 4限	武本真治教授 (医療工学)	合着・接着用材料 歯科用合着・接着用材料の種類、成分、硬化機構および性質について学ぶ。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯科用合着材の種類、成分、特徴を説明できる。 2. 歯科用接着材の種類、成分、特徴を説明できる。
5月8日(月) 5限	武本真治教授 (医療工学)	成形修復材-コンポジットレジンを中心に レジンに無機質フィラーが配合された複合レジンならびにそれ以外の成形修復材料の構成と特性を学ぶ。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 複合レジンの構成、成分を説明できる。 2. 成分モノマーの特徴を説明できる。 3. 補強材としてのフィラーの種類、特徴を説明できる。 4. 成形修復用ガラスイオノマーセメントの構成、成分を説明できる。 5. アマルガム取扱い時の注意事項を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
5月9日(火) 1限	志賀華絵助教 (う蝕治療学)	基礎力養成 コンポジットレジン修復2(適応症, 光照射器, 不快事項) コンポジットレジン修復の適応症, 光照射器, 不快事項を理解する。	1. コンポジットレジン修復の適応症, 光照射器, 不快事項を説明できる。
5月9日(火) 2限	野田守教授 (う蝕治療学)	基礎力養成 コンポジットレジン修復3(組成, 重合機序) コンポジットレジン組成, 重合機序について理解する。	1. コンポジットレジン重合機序を説明できる。 2. コンポジットレジン組成を説明できる。
5月9日(火) 3限	岸光男教授 (予防歯科学)	必修の基本的事項Ⅰ 医療と保健の倫理的, 包括的意義を理解する。	1. 主な医の倫理宣言の内容を概説できる。 2. 健康日本21の基本的方向を概説できる。
5月9日(火) 4限	岸光男教授 (予防歯科学)	必修の基本的事項Ⅱ 医療現場における基本原則を理解する。	1. 診療情報の取り扱いについて概説できる。 2. 医療事故防止の原則を概説できる。 3. 医療廃棄物の取り扱いを概説できる。 4. 医事紛争の流れを概説できる。
5月9日(火) 5限	岸光男教授 (予防歯科学)	必修の基本的事項Ⅲ 診療記録の重要性を理解する。超高齢社会における保健医療の役割を理解する。	1. 主な診療記録の必須記載事項を列挙できる。 2. 疾病構造の変化と医療の社会的ニーズの関連を概説できる。 3. 疾病予防の原則を概説できる。 4. ICFとICIDHの違いを説明できる。
5月10日(水) 1限	藤村朗教授 (機能形態学)	骨学総復習 骨学領域の弱点領域を確認し, 頭蓋骨の骨間連結, 管・孔による空間交通を理解する。	1. 骨同士の縫合から頭蓋骨全体の発育方向を説明できる。 2. 頭蓋腔と外頭蓋底, 翼口蓋窩, 口腔, 鼻腔との交通を説明できる。
5月10日(水) 2限	藤村朗教授 (機能形態学)	骨学を中心に筋学(咀嚼筋) 筋学領域の弱点領域を確認し, 表情筋, 咀嚼筋の起始・停止の位置から筋の機能を理解する。	1. 口蓋と舌(内舌筋・外舌筋), 頬筋, 咽頭収縮筋の起始・停止から嚥下を説明できる。 2. 咀嚼筋の起始・停止から下顎骨の動きを説明できる。
5月10日(水) 3限	藤村朗教授 (機能形態学)	顎関節 顎関節に関する領域の弱点を確認し, 側頭骨と下顎骨の連結状況と咀嚼筋の起始・停止から顎関節運動を理解する。	1. 顎関節の構造と咀嚼筋の起始・停止から下顎骨の動きを説明できる。 2. 顎関節の動きから, 半調節性咬合器の意味を説明できる。
5月10日(水) 4限	金村清孝准教授 (補綴・インプラント学)	精密印象採得 印象採得方法に関する知識を深め整理できる。	1. 講義を通してクラウンブリッジの印象採得に関連する問題を解くことができるようになる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
5月10日(水) 5限	金村清孝准教授 (補綴・インプラント学)	顎間関係記録 咬合採得に関する知識を 深め整理できる。	1. 講義を通してクラウンブリッジの咬合採得に関連する問題を解くことができるようになる。
5月11日(木) 1限	野田守教授 (う蝕治療学)	歯髄疾患, 根尖性歯周疾患の診断から治療まで① 歯内疾患の診断から治療まで理解する。	1. 診査・検査を理解する。 2. 無菌的処置法について理解する。 3. 齶蝕の処置法について理解する。
5月11日(木) 2限	志賀華絵助教 (う蝕治療学)	歯髄疾患, 根尖性歯周疾患の診断から治療まで② 歯内疾患の診断から治療まで理解する。	1. 歯髄疾患の臨床的分類を理解できる。 2. 歯髄疾患の診査・診断が理解できる。 3. 歯髄疾患の治療方針が理解できる。
5月11日(木) 3限	岡田伸男講師 (う蝕治療学)	歯髄疾患, 根尖性歯周疾患の診断から治療まで③ 歯内疾患の診断から治療まで理解する。	1. 根尖性歯周炎の臨床的分類を理解できる。 2. 根尖性歯周炎の診査・診断が理解できる。 3. 根尖性歯周炎の治療方針が理解できる
5月11日(木) 4限	田邊憲昌講師 (補綴・インプラント学)	作業模型製作と咬合器装着 作業模型製作と咬合器装着に関する知識を深め整理できる。	1. 講義を通して作業模型の製作法, 咬合器装着に関連する問題を解くことができるようになる。
5月11日(木) 5限	田邊憲昌講師 (補綴・インプラント学)	ワックスパターン形成 ワックスパターン形成法に関する知識を深め整理できる。	1. 講義を通してワックスパターン形成法に関連する問題を解くことができるようになる。
5月12日(金) 1限	野田守教授 (う蝕治療学)	歯の硬組織疾患と知覚過敏 歯の硬組織疾患と知覚過敏について理解する。	1. 歯の硬組織疾患について説明できる。 2. 知覚過敏について説明できる。
5月12日(金) 2限	野田守教授 (う蝕治療学)	歯内療法におけるエックス線読影 歯内療法に必要なエックス線読影について理解する。	1. 歯内療法に必要なエックス線撮影法を列挙できる。 2. それぞれのエックス線撮影法の特徴を説明できる。 3. エックス線写真臨床例から正しく読影することができる。
5月12日(金) 3限	野田守教授 (う蝕治療学)	歯髄保存療法 歯髄温存療法について理解する。	1. 歯髄温存療法について説明できる
5月12日(金) 4限	藤原尚樹准教授 (発生生物・再生医学)	歯の発生とエナメル質 エナメル質形成に関わる細胞やエナメル質の構造について説明でき、さらに発生学的視点から理解できるようにする。	1. エナメル器を構成する細胞の由来について説明できる。 2. エナメル芽細胞の分化と形態変化について説明できる。 3. エナメル質の組織学的特徴について説明できる。 4. エナメル質に見られる成長線について説明できる。 5. エナメル基質中に見られる構造について説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
5月12日(金) 5限	藤原尚樹准教授 (発生生物・再生医学)	顎顔面の発生 顎顔面の発生過程を成体の構造と関連づけて説明できるようになる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 鰓弓(咽頭弓)、鰓嚢(咽頭嚢)、鰓溝(咽頭溝)について説明できる。 2. 鰓弓・鰓嚢・鰓溝由来の構造について説明できる。 3. 神経堤について説明できる。 4. 神経堤に由来する組織について説明できる。 5. 口蓋の発生過程について説明できる。 6. 頭蓋の発生過程について説明できる。 7. 前頭鼻突起、内側鼻突起、外側鼻突起、上顎突起、下顎突起と顎顔面形成の関係について説明できる。
5月15日(月) 1限	野田守教授 (う蝕治療学)	基礎力養成 歯科用セメント(ガラスアイオノマーセメント) ガラスアイオノマーセメントについて理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. グラスアイオノマーセメントの組成、効果機序、特徴、適応症、禁忌症について説明できる。
5月15日(月) 2限	野田守教授 (う蝕治療学)	基礎力養成 歯科用セメント(セメント総論, その他のセメント) 歯科用セメント(セメント総論, その他のセメント)について理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯科用セメント(セメント総論, その他のセメント)の組成、効果機序、特徴、適応症、禁忌症について説明できる。
5月15日(月) 3限	安藤禎紀講師 (機能形態学)	筋隙を中心に脈管学 筋学領域の弱点領域を確認し、筋肉の起始・停止の位置から筋隙を把握し、存在するもの、通過する血管を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 頸部の筋隙(頸筋膜)をそれぞれ存在するもの、通過するものに分けて説明できる。 2. 頭部の筋隙に存在するもの、通過するものを説明できる。 3. 伝達麻酔の手技を筋隙から説明できる。
5月15日(月) 4限	安藤禎紀講師 (機能形態学)	内臓学(舌・口蓋・咽頭) 咀嚼・嚥下の関連分野の弱点領域を確認し、解剖学的な動きを総合的に理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 口蓋の構造を硬口蓋、軟口蓋に分けて説明できる。 2. 舌筋を内舌筋と外舌筋に分けてその機能を説明できる。 3. 嚥下に関与する筋をステージごとに説明できる。
5月15日(月) 5限	安藤禎紀講師 (機能形態学)	内臓学(唾液腺) 唾液腺に関する解剖学的な弱点領域を確認し、大唾液腺と小唾液腺の存在意義を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大唾液腺の存在位置と排泄管の開口部を説明できる。 2. 小唾液腺の存在と義歯床縁の関係を説明できる。
5月16日(火) 1限	丸谷由里子講師 (小児歯科学)	心身の発達 小児の心身の発達について多角的に理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小児の身体の成長を説明できるようになる。 2. 小児の精神の発達を説明できるようになる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
5月16日(火) 2限	丸谷由里子講師 (小児歯科学)	顔面頭蓋の発達 小児の顔面頭蓋の成長、発達について多角的に理解する。	1. 頭蓋の成長発育を説明できるようになる。 2. 顔面の成長発育を説明できるようになる。
5月16日(火) 3,4,5限	伊東俊太郎助教 (歯周療法学)	歯周病学基礎力養成 総論、診査・診断、治療計画、特殊な歯周病について理解する。	1. 総論、診査・診断、治療計画、特殊な歯周病を説明できる。
5月17日(水) 1,2限	間山寿代講師 (歯科矯正学)	不正咬合の病因病態 不正咬合の先天的・後天的原因に関する知識を強化できる。	1. 不正咬合の先天的、後天的な病因・病態に関して理解を深め、同領域の問題を解くことができるようになる。
5月17日(水) 3限	野田守教授 (う蝕治療学)	抜髄の基本術式 抜髄の基本術式について理解する。	1. 抜髄の術式を説明できる。 2. 抜髄に使用する器具を説明できる。 3. 根管拡大基準について説明できる。 4. アクセスキャビティについて説明できる。
5月17日(水) 4限	岡田伸男講師 (う蝕治療学)	根管拡大法 種々の根管拡大法・根管洗浄が説明できるようになる。	1. 根管拡大を説明することができる。 2. 彎曲根管の拡大法について説明することができる。 3. 根管洗浄・消毒について説明することができる。 4. 内容物検査が説明することができる。 5. Ni-Ti ローターファイルが説明することができる。
5月17日(水) 5限	岡田伸男講師 (う蝕治療学)	根管充填, 治癒機転 種々の根管充填法が説明できるようになる。	1. 目的・時期が説明できる。 2. 各種加圧充填法が説明できる。 3. 治癒経過が説明できる。
5月18日(木) 1,2限	佐々木実教授 (分子微生物学)	微生物学総論・細菌学各論 A 病原微生物の生物分類学上の位置づけおよびその性状を理解し、それら病原微生物による感染症およびその病原因子について理解する。	1. 微生物の構造・性状について説明できる。 2. 感染の概念と感染症について説明できる。 3. 宿主-寄生体相互作用について説明できる。 4. 病原微生物による感染症・病原因子について説明できる。
5月18日(木) 3,4限	飯塚康之助教 (歯科矯正学)	不正咬合の診断 不正咬合の診察・検査・治療計画に関する知識を強化できる。	1. 不正咬合の診断に必要な診察・検査に関して理解を深め、同領域の問題を解くことができるようになる。 2. 診断・治療計画の立案に関して理解を深め、同領域の問題を解くことができるようになる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
5月18日(木) 5限	水川卓磨助教 (歯科矯正学)	成長発育・不正咬合の特徴 成長発育全般に関する知識と不正咬合の特徴に関する知識を強化できる。	1. 全身成長、頭蓋顔面、歯列の成長発育に関して理解を深め、同領域の問題を解くことができるようになる。 2. 不正咬合に関して理解を深め、同領域の問題を解くことができるようになる。
5月19日(金) 1限	丸谷由里子講師 (小児歯科学)	歯列および咬合の発育 小児の歯列・咬合の成長、発達について、多角的に理解する。	1. 乳歯列の成育を説明できるようになる。 2. 混合歯列の成育を説明できるようになる。 3. 永久歯列の成育を説明できるようになる。
5月19日(金) 2限	丸谷由里子講師 (小児歯科学)	歯の発育と異常 歯の発生、発育、萌出とその障害の機構を多角的に理解する。	1. 乳歯並びに永久歯の発生、形成時期、萌出順序を説明できるようになる。 2. 歯の発生の各ステージにおける異常と症状の関連性を説明できるようになる。
5月19日(金) 3限	石崎明教授 (細胞情報科学)	生体成分 生体成分の基本構造と役割を理解する。	1. 糖質・脂質・タンパク質の構造と性質を説明できる。 2. 各生体成分の役割を説明できる。
5月19日(金) 4限	石崎明教授 (細胞情報科学)	代謝 三大栄養素の代謝経路を理解する。	1. 生体における糖質・脂質・タンパク質の代謝とエネルギー産生を説明できる。 2. 血糖調節機構を説明できる。
5月19日(金) 5限	帖佐直幸講師 (細胞情報科学)	血清カルシウム 血清カルシウムの調節機構を理解する。	1. 血清カルシウム調節ホルモンの構造と機能を説明できる。 2. ホルモンによる血清カルシウムの調節機構を説明できる。
5月22日(月) 1限	加茂政晴准教授 (細胞情報科学)	結合組織Ⅰ 結合組織の構造と機能を理解する。	1. コラーゲンの構造・機能・生合成を説明できる。 2. プロテオグリカンの構造・機能・分布を説明できる。
5月22日(月) 2限	加茂政晴准教授 (細胞情報科学)	結合組織Ⅱ 結合組織の成分と細胞接着を理解する。	1. インテグリンの構造と機能を説明できる。 2. 主要な接着性タンパク質の機能と分布を説明できる。
5月22日(月) 3限	藤井雅助教 (小児歯科学)	乳歯の特徴 乳歯とその特徴について多角的に理解する。	1. 乳歯の形態的・組織学的特徴を説明することができるようになる。 2. 乳歯の物理的・化学的特徴を説明することができるようになる。
5月22日(月) 4限	藤井雅助教 (小児歯科学)	乳歯齲蝕 小児齲蝕の特徴を多角的に理解する。	1. 乳歯齲蝕の特徴を列挙できるようになる。 2. 乳歯齲蝕の疫学を説明できるようになる。 3. 乳歯重症齲蝕の為害作用を説明できるようになる。 4. 乳歯齲蝕の発生過程を多面的に説明できるようになる。
5月22日(月) 5限	齊藤桂子助教 (小児歯科学)	小児患者への対応 小児患者への正しい対応法を理解する。	1. 小児の恐れや不安の対象を列挙できるようになる。 2. 小児の情動に配慮した対応法を説明できるようになる。 3. 行動変容法を説明できるようになる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
5月23日(火) 1限	間山寿代講師 (歯科矯正学)	不正咬合まとめ 不正咬合全般に関する知識を強化できる。	1. 復習試験の結果から見えてきた不正咬合領域に関する不十分な知識を強化することができる。
5月23日(火) 2限	山田裕之助教 (歯科矯正学)	矯正力と固定 矯正力と固定に関する知識を強化できる。	1. 矯正力と固定に関して理解を深め、同領域の問題を解くことができるようになる。
5月23日(火) 3限	山田裕之助教 (歯科矯正学)	矯正装置 1 機能的矯正装置 機能的矯正装置に関する知識を強化できる。	1. 機能的矯正装置に関して理解を深め、同領域の問題を解くことができるようになる。
5月23日(火) 4限	岸光男教授 (予防歯科学)	保健・医療関係法規 I 歯科医療実践の背景となる重要な法律を体系的に理解する。	1. 医療法が規定する事項を列挙できる。 2. 医療計画を概説できる。 3. 歯科医師法に定められた歯科医師の義務と業務を列挙できる。
5月23日(火) 5限	岸光男教授 (予防歯科学)	保健・医療関係法規 II 保健、衛生関係の法律を体系的に理解する。	1. 健康増進法が規定する事項を列挙できる。 2. 地域保健法が規定する事項を列挙できる。 3. 歯科口腔保健の推進に関する法律を概説できる。 4. 感染症法、予防接種法、検疫法を概説できる。
5月24日(水) 1限	千葉俊美教授 (関連医学)	循環器疾患 代表的な循環器疾患について理解する。	1. 代表的な循環器疾患について理解し説明できる。
5月24日(水) 2限	千葉俊美教授 (関連医学)	脳血管疾患、消化器疾患 代表的な脳血管疾患、消化器疾患について理解する。	1. 代表的な脳血管疾患、消化器疾患について理解し説明できる。
5月24日(水) 3限	千葉俊美教授 (関連医学)	呼吸器、アレルギー疾患 代表的な呼吸器、アレルギー疾患について理解する。	1. 代表的な呼吸器、アレルギー疾患について理解し説明できる。
5月24日(水) 4,5限	安藤禎紀講師 (機能形態学)	唾液腺を中心に神経学 唾液腺の神経支配の弱点を確認し、特に交感性支配と副交感性支配を総合的に理解する。	1. 大唾液腺の存在位置と排泄管の開口部を説明できる 2. 小唾液腺の存在と義歯床縁の関係を説明できる。
5月25日(木) 1限	水川卓磨助教 (歯科矯正学)	矯正装置 2 器械的矯正装置 器械的矯正装置に関する知識を強化できる。	1. 器械的矯正装置に関して理解を深め、同領域の問題を解くことができるようになる。
5月25日(木) 2限	水川卓磨助教 (歯科矯正学)	矯正装置 3 ブラケット装置 ブラケット、保定装置等に関する知識を強化できる。	1. ブラケット装置や保定装置、その他の矯正装置に関して理解を深め、同領域の問題を解くことができるようになる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
5月25日(木) 3限	水川卓磨助教 (歯科矯正学)	矯正装置の製作方法 矯正装置の製作方法に関する知識を強化できる。	1. 矯正装置の製作方法について理解を深め、同領域の問題を解くことができるようになる。
5月25日(木) 4限	石河太知助教 (分子微生物学)	ウイルス学各論 A ウイルスの性状と感染経路、標的器官および感染症を理解する。	1. ウイルス粒子の構造と各部位の機能を説明できる。 2. ウイルス粒子の増殖過程を説明できる。 3. 主要な病原性ウイルスの性状・感染経路・標的器官および感染症を説明できる。
5月25日(木) 5限	石河太知助教 (分子微生物学)	免疫学 1 A 免疫応答による生体防御の仕組みを理解する。	1. 免疫応答に関与する器官と細胞について説明できる。 2. 自然免疫と獲得免疫について説明できる。 3. 主なサイトカインとその生物活性について説明できる。 4. 微生物の認識機構と排除機構を説明できる。
5月26日(金) 1限	成田欣弥講師 (病態生理学)	自律機能 自律神経系の働きを理解する。	1. 交感神経と副交感神経の働きを説明できる。 2. 交感神経と副交感神経の走行の違いを説明できる。 3. 自律神経系の神経伝達物質と受容体を説明できる。
5月26日(金) 2限	成田欣弥講師 (病態生理学)	循環 循環器系の働きを理解する。	1. 血液の循環経路を説明できる。 2. 心臓の興奮伝導系を説明できる。 3. 心電図波形の成因と不整脈の心電図を説明できる。 4. 自律神経による血圧調節を説明できる。 5. ホルモンによる血圧調節を説明できる。
5月26日(金) 3限	成田欣弥講師 (病態生理学)	体液調節・呼吸 腎臓の働きおよび呼吸器系の働きを理解する。	1. 体液の区分と組成を説明できる。 2. 腎臓による体液調節を説明できる。 3. 浮腫を説明できる。 4. 呼吸運動とスパイログラムを説明できる。 5. 血液によるガス輸送を説明できる。 6. 呼吸調節を説明できる。 7. 呼吸による体液の pH 調節とアシドーシス、アルカローシスを説明できる。
5月26日(金) 4,5限	佐々木大輔講師 (歯周療法学)	歯周病学基礎力養成 歯周外科治療・再生療法を理解する。	1. 歯周外科治療を説明できる。 2. 再生療法を説明できる。
5月27日(土) 8:50~12:00		必修再試験	
5月29日(月) 1限	齊藤桂子助教 (小児歯科学)	小児の治療方針 小児の診査法、診断法、診療計画法を多角的に理解する。	1. 小児歯科診療における問診内容を説明できるようになる。 2. 全身的診査、口腔内診査の項目を列挙できるようになる。 3. 治療方針の立案法を説明できるようになる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
5月29日(月) 2限	藤井雅助教 (小児歯科学)	歯髓処置 小児の歯内療法を臨床に則して多角的に理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯髓炎の診断法を説明できるようになる。 2. 生活歯髓切断法を説明できるようになる。 3. 暫間的間接覆髓法を説明できるようになる。 4. 根未完成歯の歯内療法を説明できるようになる。
5月29日(月) 3限	石崎明教授 (細胞情報科学)	細胞 細胞小器官と生体膜の機能を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 細胞小器官の機能を説明できる。 2. 生体膜の構造と機能を説明できる。
5月29日(月) 4限	石崎明教授 (細胞情報科学)	遺伝子 核酸の構造とセントラルドグマを理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 核酸の構造を説明できる。 2. セントラルドグマを説明できる。
5月29日(月) 5限	帖佐直幸講師 (細胞情報科学)	遺伝病 遺伝病が発現するしくみを理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 染色体の構造と配偶子形成を説明できる。 2. 遺伝病・配偶子病が発現するしくみを説明できる。
5月30日(火) 1限	小笠原正人教授 (病態制御学)	抗炎症薬 (NSAIDs) と抗ヒスタミン薬 解熱鎮痛薬と酸性非ステロイド性抗炎症薬の概要を理解する。ヒスタミン受容体と抗ヒスタミン薬について理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 抗炎症薬の種類を挙げ説明できる。 2. 酸性非ステロイド性抗炎症薬 (NSAIDs) の作用機序について説明できる。 3. NSAIDs の副作用について理由を挙げて説明できる。 4. ヒスタミン受容体の種類と体内分布について説明できる。 5. 抗ヒスタミン薬の薬理効果、副作用について説明できる。 6. 抗ヒスタミン薬の種類について説明できる。
5月30日(火) 2限	小笠原正人教授 (病態制御学)	止血薬・抗凝固薬・血液製剤 出血・止血のメカニズムを理解し、血小板および凝固因子と止血薬、抗凝固薬について理解する。先天性疾患と血液製剤の使用について理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 出血・止血に関わる因子について説明できる。 2. 止血に使われる薬物について説明できる。 3. 抗血小板薬、抗凝固薬について説明できる。 4. 抗血小板薬・抗凝固薬の副作用について説明できる。 5. 先天性の出血傾向を来す疾患を挙げ、その治療薬について説明できる。
5月30日(火) 3限	小笠原正人教授 (病態制御学)	自律神経作用薬、筋弛緩薬 交感神経系、副交感神経系の受容体とその作用薬、拮抗薬について理解する。脱分極性および非脱分極性筋弛緩薬について理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 交感神経系作用薬、拮抗薬の主要な薬物の種類、特徴を説明できる。 2. 副交感神経系作用薬、拮抗薬の主要な薬物の種類、特徴を説明できる。 3. 末梢性筋弛緩薬の作用機序、種類について説明できる。 4. 唾液腺分泌に影響する薬について説明できる。
5月30日(火) 4限	岸 光男教授 (予防歯科学)	社会保障制度 社会保障制度の仕組みと制度における歯科医師の役割を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会保障制度の種類を列挙できる。 2. 医療保障制度を概説できる。 3. 所得保障制度を概説できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
5月30日(火) 5限	岸 光男教授 (予防歯科学)	国際保健 国民医療費 国際保健の仕組みを理解する。 国民医療費の支出状況を知る。	1. 国際協力組織を列挙できる。 2. WHOの口腔保健戦略を列挙できる。 3. 国民医療費を概説できる。
5月31日(水) 1,2限	滝沢尚希助教 (歯周療法学)	歯周病学基礎力養成 歯周基本治療を理解する。	1. 歯周基本治療を説明できる。
5月31日(水) 3限	下山佑講師 (分子微生物学)	免疫学2A 過敏症の発症機序とその特徴、免疫不全および自己免疫疾患の発症と特徴について理解する。	1. 各過敏症の発症メカニズムと代表的な疾患について説明できる。 2. 主な免疫不全症の発症機序と疾患について説明できる。 3. 自己免疫疾患発現に関与する因子と代表的な自己免疫疾患について説明できる。
5月31日(水) 4限	下山佑講師 (分子微生物学)	口腔細菌A 口腔の正常フローラ、口腔細菌の性状および病原因子を学び、う蝕・歯周疾患・歯内疾患の成立・発症機序を理解する。	1. 口腔のニッチとその構成細菌について説明できる。 2. 口腔病原微生物の特徴と病原因子について説明できる。 3. う蝕の成立機序について説明できる。 4. 歯周炎の成立機序について説明できる。 5. 歯内疾患の成立機序について説明できる。
5月31日(水) 5限	下山佑講師 (分子微生物学)	院内感染対策 滅菌と消毒の方法、感染性廃棄物の処理を理解する。	1. 物理的、化学的方法による滅菌法を説明できる。 2. 主な消毒薬の分類とその効果について説明できる。 3. 歯科医療における院内感染とその予防法について説明できる。
6月1日(木) 1限	山田浩之教授 (口腔外科学)	口腔外科診断学1(主要症候) 口腔外科疾患における主要な症候を理解し、診断に必要な知識を習得する。	1. 主要な症候とその概略を説明する。 2. 主要な症候の原因、病理を説明する。 3. 主要な症候を有する主な疾患を列挙する。
6月1日(木) 2限	山田浩之教授 (口腔外科学)	口腔外科診断学2(検査法) 顎・口腔外科の診察において必要な検査法を習得する。	1. 基本的な検査法を上げ、その概略を説明する。 2. 基本的な検査法の臨床的意義が説明する。 3. 各臨床検査の基準値を述べ、異常値の意味を説明する。
6月1日(木) 3限	佐藤泰生講師 (口腔病理学)	病理検査のまとめ 病理検査の種類や手技について理解する。	1. 病理検査(組織診断、細胞診断)の手技と流れ、特殊染色、術中迅速診断、医原病について説明できるようになる。
6月1日(木) 4限	佐藤泰生講師 (口腔病理学)	病理総論のまとめ(1) 病理学総論について全般的に理解する。	1. 病因論、全身疾患(症候群)、細胞と組織の傷害について説明できるようになる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
6月1日(木) 5限	佐藤泰生講師 (口腔病理学)	病理総論のまとめ(2) 病理学総論について全般的に理解する。	1. 修復と再生、循環障害について説明できるようになる。
6月2日(金) 9:30~16:00		第2回全国模擬試験(麻布基礎)	
6月3日(土) 8:50~12:00		必修再試験	
6月5日(月) 10:00~16:10 6月6日(火) 10:00~16:00		到達度試験①	
6月7日(水) 1限	千葉俊美教授 (関連医学)	腎、代謝、内分泌疾患 代表的な腎、代謝、内分泌疾患について理解する。	1. 代表的な腎、代謝、内分泌疾患について理解し説明できる。
6月7日(水) 2限	千葉俊美教授 (関連医学)	腫瘍、血液疾患、他 代表的な腫瘍、血液疾患について理解する。	1. 代表的な、腫瘍、血液疾患などについて理解し説明できる。
6月7日(水) 3限	飯島伸助教 (口腔外科学)	先天異常・後天異常1 顎の異常 顎の先天性・後天性異常について理解し、顎変形症に関する知識を習得する。	1. 主要な顎形態異常を列挙することができる。 2. 主要な顎変形症の症状を説明する。 3. 主要な顎変形症の診断法を説明する。 4. 主要な顎変形症の治療法を説明する。
6月7日(水) 4限	飯島伸助教 (口腔外科学)	先天異常・後天異常2 軟組織の異常 顎・口腔に異常を現す症候群と系統的骨疾患 先天性・後天性の軟組織の異常ならびに顎・口腔に異常を現す症候群と系統的骨疾患に関する知識を習得する。	1. 主要な軟組織の異常と治療法を説明する。 2. 顎口腔に異常を現す主要な症候群と系統的骨疾患を列挙し症状を説明する。 3. 主要な症候群と系統的骨疾患の診断法を説明する。
6月7日(水) 5限	飯島伸助教 (口腔外科学)	先天異常・後天異常3 総論 顔面・口腔の裂奇形 先天性・後天性異常の概念、成因、発生との関連について理解し、裂奇形に関する知識を習得する。	1. 先天異常・後天異常の概念と成因について説明する。 2. 顔面・口腔の発生と先天異常との関連について説明する。 3. 裂奇形の種類を列挙する。 4. 口唇裂の発生率、裂型、症状、治療法を説明する。 5. 口蓋裂の発生率、裂型、症状、治療法を説明する。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
6月8日(木) 1限	三上俊成准教授 (口腔病理学)	病理総論対策(1) 病理総論の演習問題を通じ、单元ごとに知識を整理して理解する。	1. 病理総論の演習問題を通じて、疾患の発症機序について病理学的に説明できるようになる。
6月8日(木) 2限	三上俊成准教授 (口腔病理学)	病理総論対策(2) 病理総論の演習問題を通じ、单元ごとに知識を整理して理解する。	1. 病理総論の演習問題を通じて、疾患の発症機序について病理学的に説明できるようになる。
6月8日(木) 3,4,5限	泉澤充講師 (歯科放射線学)	CT・MRI・US 検査 顎顔面領域の適切な診断を行うため、各種診断装置の原理と適応について理解する。	1. 歯科用コーンビームCTとX線CTの画像形成原理と適応を説明する。 2. CT値、部分容積効果について説明する。 3. CTで用いられる造影撮影の目的と造影剤使用禁忌を列記する。 4. MRIの画像形成原理と適応について説明する。 5. MRIで用いられる造影撮影の目的と造影剤使用禁忌を列記する。 6. 顎関節疾患のMR画像を説明する。 7. 超音波断層法の画像形成原理と適応を説明する。 8. 底面エコーおよび音響陰影について述べる。
6月9日(金) 1限	成田欣弥講師 (病態生理学)	内分泌 I 内分泌系の働きを理解する。	1. 視床下部-下垂体系のホルモンを説明できる。 2. 副腎皮質・副腎髄質ホルモンを説明できる。 3. 甲状腺・副甲状腺ホルモンを説明できる。 4. 膵臓ホルモンを説明できる。
6月9日(金) 2限	成田欣弥講師 (病態生理学)	内分泌 II 内分泌系の働きを理解する。	1. 循環および体液を調節するホルモンを説明できる。 2. カルシウム調節ホルモンを説明できる。 3. ストレス関連ホルモンを説明できる。 4. 消化管ホルモンを説明できる。 5. 主なホルモンの働きを説明できる。
6月9日(金) 3限	田村晴希講師 (病態制御学)	抗菌薬 抗菌薬の作用機序、耐性獲得の仕組み、生体内分布と代謝・排泄、副作用について理解する。PK/PD理論について理解する。	1. 抗菌薬の作用機序について説明できる。 2. 抗菌薬の種類を挙げ説明できる。 3. 作用機序に基づく主な抗菌薬を説明できる。 4. 抗菌薬の耐性獲得の仕組み、菌交代現象について説明できる。 5. 抗菌薬の副作用について説明できる。 6. 時間依存性抗菌薬、濃度依存性抗菌薬について説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
6月9日(金) 4限	田村晴希講師 (病態制御学)	抗真菌薬・抗ウイルス薬 抗真菌薬、抗ウイルス薬を理解する。主な口腔粘膜疾患の薬物療法について理解する。	1. 抗ウイルス薬を列挙し、特徴を説明できる。 2. 抗真菌薬を列挙し、説明できる。 3. 口腔粘膜疾患の治療薬を列挙し、説明できる。
6月9日(金) 5限	田村晴希講師 (病態制御学)	局所麻酔薬 局所麻酔薬の作用機序、化学構造上の分類、血管収縮薬の併用の意義と副作用について理解する。	1. 局所麻酔薬を化学構造から分類し、その特徴を説明できる。 2. 局所麻酔薬の作用機序を説明できる。 3. 血管収縮薬を添加する目的を説明できる。 4. 血管収縮薬の種類と特徴を説明できる。 5. 歯科用局所麻酔薬の原則禁忌を説明できる。
6月12日(月) 1限	宮本郁也准教授 (口腔外科学)	顎顔面の損傷 1 歯の外傷・歯槽骨骨折 軟組織の損傷 創傷治癒 歯の損傷および歯槽骨骨折の診断法と治療について修得する。	1. 歯の損傷の種類と特徴および治癒過程を説明する。 2. 歯の損傷の診断と治療法を説明できる。 3. 歯槽骨骨折の診断と治療法を説明する。 4. 軟組織損傷について説明できる。 5. 創傷治癒について説明できる。
6月12日(月) 2限	宮本郁也准教授 (口腔外科学)	顎顔面の損傷 2 顎骨骨折 顎顔面骨折の診断と治療について習得する。	1. 一般的な骨折の種類と特徴および治癒過程を説明する。 2. 顎顔面骨折の原因と種類を列挙する。 3. 上顎骨骨折、下顎骨骨折、頬骨・頬骨弓骨折および鼻骨骨折の症状と検査法を列挙し、診断と治療法を説明する。
6月12日(月) 3, 4, 5限	泉澤充講師 (歯科放射線学)	画像診断1 歯原性腫瘍と非歯原性腫瘍、歯原性嚢胞の画像診断法を修得する。	1. 以下の疾患の臨床症状と各種画像所見について説明する。 歯原性腫瘍、非歯原性腫瘍、歯原性嚢胞
6月13日(火) 1限	坂本望助教 (歯科麻酔学)	全身状態評価、周術期管理① (術前管理) 術前の全身状態評価法と管理法を理解する。	1. 各種の診察によって患者の現症を把握できる。 2. リスク・重症度の分類ができる。 3. 術前経口摂取制限を説明できる。 4. 麻酔前投薬を説明できる。
6月13日(火) 2限	坂本望助教 (歯科麻酔学)	周術期管理② (術中・術後管理) 術中の呼吸・循環管理と術後の合併症と疼痛管理を理解する。	1. 術中の全身管理を説明できる。 2. 術中合併症を列挙し、対処法を説明できる。 3. 術後の全身管理を説明できる。 4. 術後合併症を列挙し、対処法を説明できる。
6月13日(火) 3限	岸光男教授 (予防歯科学)	疫学総論 医科歯科共通の疫学手法を理解する。	1. 疫学の研究方法を列挙できる。 2. 疫学指標を算出できる。 3. 因果関係の判定基準を列挙できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
6月13日(火) 4限	岸光男教授 (予防歯科学)	スクリーニング スクリーニングの意義と有効性の評価方法を理解する。	1. スクリーニングの意義を概説できる。 2. スクリーニングの有効性の指標を算出できる。 3. 尤度比の意義を説明できる。
6月13日(火) 5限	岸光男教授 (予防歯科学)	歯科疾患の疫学指標 歯科に特有の疫学手法を理解する。	1. 歯科集団検診の方法を概説できる。 2. 歯科疾患の疫学指標を算出できる。
6月14日(水) 1限	千葉俊美教授 (関連医学)	出血性疾患、抗凝固療法 代表的な出血性疾患、抗凝固療法について理解する。	1. 代表的な、出血性疾患、抗凝固療法について理解し説明できる。
6月14日(水) 2限	千葉俊美教授 (関連医学)	産科、皮膚科、他 代表的な産科、皮膚科疾患について理解する。	1. 代表的な産科、皮膚科疾患などについて理解し説明できる。
6月14日(水) 3限	阿部亮輔助教 (口腔外科学)	顎口腔の炎症 1 総論 蜂窩織炎 炎症の概念を理解し、菌性感染症に関する知識を習得する。 顎骨周囲組織の炎症および治療に必要な知識を習得する。	1. 炎症の概念・種類を説明する。 2. 炎症の症状、診断法、治療法を説明する。 3. 菌性感染症の概念を説明する。 4. 菌性感染症の概念と感染経路を説明する。 5. 急性炎症と慢性炎症の差異を説明する。 6. 顎骨周囲・頸部の組織隙の位置を説明する。 7. 軟組織炎症の症状を説明する。 8. 蜂窩織炎と膿瘍の違いを説明する。
6月14日(水) 4限	阿部亮輔助教 (口腔外科学)	顎口腔の炎症 2 歯周組織の炎症 顎骨の炎症 菌性上顎洞炎 顎骨骨髓炎、菌性上顎洞炎に関する知識を習得する。	1. 歯周組織の病態、症状、治療法を説明する。 2. 歯冠周囲炎(智歯周囲炎を含む)の発症原因、症状、診断、治療について説明する。 3. 歯槽骨炎と顎骨炎の病態、症状、診断、治療について説明する。 4. 顎骨骨髓炎の分類について説明する。 5. 急性顎骨骨髓炎の症状、経過、治療法について説明する。 6. 菌性上顎洞炎の成因、検査法、治療法を説明する。
6月14日(水) 5限	阿部亮輔助教 (口腔外科学)	顎口腔の炎症 3 特異性炎 菌性全身感染症 顎・口腔顔面領域における特異性炎および菌性感染症が全身に及ぼす影響に関する知識を習得する。	1. 特異性炎の概念を説明する。 2. 顎・口腔顔面領域にみられる特異性炎の種類を列挙する。 3. 主要な特異性炎の原因菌を列挙する。 4. 主要な特異性炎の症状、検査法、治療法を説明する。 5. 菌性病変と全身感染症との関連について説明する。 6. 菌血症と敗血症の病態を説明する。 7. 菌性病巣感染の病態を説明する。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
6月15日(木) 1限	佐藤雅仁准教授 (歯科麻酔学)	全身疾患を有する患者の管理① (循環器疾患) 循環器疾患を持つ患者の管理法を理解する。	1. 以下の疾病の病態、症候、診断と治療時の留意点を説明できる。 高血圧症、虚血性心疾患、心臓弁膜症、先天性心疾患、感染性心内膜炎、脳血管障害
6月15日(木) 2限	佐藤雅仁准教授 (歯科麻酔学)	全身疾患を有する患者の管理② (呼吸器疾患) 呼吸器疾患を持つ患者の管理法を理解する。	1. 肺気量分画を説明できる。 2. 換気障害を説明できる。 3. 以下の疾病の病態、症候、診断と治療時の留意点を説明できる。 気管支喘息、アスピリン喘息、喘息発作・気管支けいれん、慢性閉塞性肺疾患、肺線維症
6月15日(木) 3, 4, 5限	泉澤充講師 (歯科放射線学)	画像診断2 非歯原性嚢胞と上顎洞疾患、口腔領域の悪性腫瘍の画像診断法を修得する。	1. 以下の疾患の臨床症状と各種画像所見について説明できる。 非歯原性嚢胞、上顎洞疾患、口腔領域の悪性腫瘍について説明できる。
6月16日(金) 1限	千田弥栄子助教 (う蝕治療学)	基礎力養成 医療面接／医の倫理 他 医療面接の目的、面接のマナー、病歴聴取について説明できるようになる。	1. 医療面接の目的と方法を説明できる。 2. コミュニケーションの進め方(質問法、傾聴の仕方、非言語的コミュニケーション)を説明できる。 3. 病歴聴取(主訴、現病歴、既往歴など)を説明できる。
6月16日(金) 2限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	基礎力養成 歯科材料とアレルギー アレルギー患者への歯科治療を安全に行うために必要な知識を修得する。 歯の外傷(診断と処置) 外傷歯に適切に対応するために必要な知識を修得する。	1. 歯科材料のアレルギー惹起能を説明できる。 2. 保存領域で使用する歯科材料の組成を説明できる。 1. 脱落歯の保管方法を説明できる。 2. 脱落しを再植するか否かの判断基準を説明できる。 3. 歯の再植に伴う不快事項を説明できる。 4. 再植歯の経過観察法を説明できる。
6月16日(金) 3限	成田欣弥講師 (病態生理学)	顎顔面の感覚 顎顔面領域の感覚について理解する。	1. 顎顔面の体性感覚の受容機構と特徴を説明できる。 2. 顎顔面の体性感覚の伝導路を説明できる。 3. 味覚の受容機構を説明できる。 4. 味覚の伝導路を説明できる。
6月16日(金) 4限	成田欣弥講師 (病態生理学)	顎運動・唾液 顎運動および唾液分泌について理解する。	1. 咀嚼運動を説明できる。 2. 顎反射を説明できる。 3. 唾液の分泌機構と分泌調節を説明できる。 4. 唾液成分の働きを説明できる。
6月16日(金) 5限	成田欣弥講師 (病態生理学)	嚥下・発声 嚥下および発声・構音について理解する。	1. 嚥下の神経機構を説明できる。 2. 嚥下時に生じる運動を説明できる。 3. 嘔吐の神経機構を説明できる。 4. 嘔吐時に生じる反応を説明できる。 5. 喉頭原音を説明できる。 6. 母音と子音の構音を説明できる。 7. 言語障害を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
6月19日(月) 1限	熊谷章子准教授 (法歯学・災害口腔医学)	顎関節疾患 1 顎関節症 顎関節症の種類、原因、症状、診断、治療に関する知識を習得する。	1. 顎関節の構造を説明できる。 2. 顎関節の運動に関係する筋肉を説明できる。 3. 顎関節の限界運動を説明できる。 4. 顎関節の形態と機能について説明できる。 5. 顎関節疾患の種類と原因を列挙できる。 6. 顎関節疾患の症状・診断法を概説できる 7. 顎関節症の治療法を説明できる。
6月19日(月) 2限	熊谷章子准教授 (法歯学・災害口腔医学)	顎関節疾患 2 外傷、炎症、腫瘍形態・機能異常 顎関節における形態と機能異常、損傷、炎症性疾患の原因、症状、診断、治療に関する知識を習得する。	1. 主要な顎関節形態異常、機能異常の種類、原因、症状、治療法を列挙できる。 2. 顎関節損傷の種類、原因、症状、治療法を列挙できる。 3. 顎関節の腫瘍、炎症性疾患の種類、原因、症状、治療法を列挙できる。
6月19日(月) 3, 4, 5限	泉澤 充講師 (歯科放射線学)	画像診断3 口腔領域の炎症と骨折、唾液腺疾患の画像診断法を修得する。	1. 以下の疾患の臨床症状と各種画像所見について説明する。 口腔領域の炎症、骨折、唾液腺疾患
6月20日(火) 1限	山谷元気助教 (口腔外科学)	口腔粘膜疾患 総論 口内炎およびアフタ性病変 水疱性疾患 ウイルス性疾患 口腔粘膜の解剖学的特徴について学習し、口内炎およびアフタ性病変に関する知識を習得する。 水疱性疾患およびウイルス性疾患に関する知識を習得する。	1. 口腔粘膜の解剖学的構造について説明する。 2. 口内炎やアフタの成因、症状について説明する。 3. 口内炎やアフタの治療法について説明する。 4. 口腔粘膜に発症する水疱性疾患を列挙し、その特徴について説明する。 5. 口腔粘膜に発症する水疱性疾患の治療法について説明する。 6. 口腔粘膜に発症するウイルス性疾患を列挙し、その特徴について説明する。 7. 口腔粘膜に発症するウイルス性疾患の治療法について説明する。
6月20日(火) 2限	山谷元気助教 (口腔外科学)	前癌病変 口腔領域に発生する前癌病変に関する知識を習得する。	1. 前癌病変の概念を説明する。 2. 前癌病変の種類を列挙する。 3. 前癌病変の診断と治療法について説明する。
6月20日(火) 3限	岸光男教授 (予防歯科学)	人口統計 人口統計指標を理解することにより我が国の人口問題を把握する。	1. 人口静態と人口動態の指標を列挙し、主な指標を説明できる。 2. 母子保健に関する人口指標を説明できる。
6月20日(火) 4限	岸光男教授 (予防歯科学)	国の保健統計調査 国が行う保健統計の結果から我が国の健康問題を把握する。	1. 基幹統計と一般統計を列挙できる。 2. 歯科疾患実態調査結果を概説できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
6月20日(火) 5限	岸光男教授 (予防歯科学)	国民栄養と食品保健 国民栄養の現状と対策を理解する。	1. 国民栄養の問題点を列挙できる。 2. 栄養関連法規を概説できる。 3. 食事摂取基準、食事バランスガイドを説明できる。
6月21日(水) 1限	四戸豊講師 (歯科麻酔学)	全身疾患を有する患者の管理③ (代謝系、内分泌系、泌尿器系疾患、その他) 代謝系、内分泌系、泌尿器系疾患などを持つ患者の治療時の管理法を理解する。	1. 歯科診療及び全身麻酔時に注意すべき代謝・内分泌疾患を説明できる。 2. 代謝・内分泌系疾患患者の管理上の問題点、対処法を説明できる。 3. 歯科診療及び全身麻酔時に注意すべき腎臓疾患を説明できる。 4. 腎臓疾患患者の管理上の問題点、対処法を説明できる。
6月21日(水) 2限	四戸豊講師 (歯科麻酔学)	精神鎮静法、高齢者の歯科治療 精神鎮静法と高齢者の特徴を理解する。	1. 精神鎮静法の概念、目的、適応、禁忌、種類、実施法を説明できる。 2. 笑気吸入鎮静法を説明できる。 3. 静脈内鎮静法及びその使用薬剤を説明できる。 4. 全身の加齢による変化を説明できる。 5. 歯科治療時の全身的問題点を説明できる。
6月21日(水) 3限	原総一郎助教 (補綴・インプラント学)	全部床義歯① 無歯顎の病態と加齢に伴う変化を理解する。	1. 無歯顎の病態について説明できる。 2. 無歯顎者の加齢変化について説明できる。
6月21日(水) 4限	米澤悠助教 (補綴・インプラント学)	全部床義歯② 無歯顎の印象採得を理解する。	1. 上下顎無歯顎の解剖学的ランドマークと圧負担域を図示できる。 2. 上下顎の辺縁形成に関わる筋を説明できる。 3. 筋圧形成の意義を説明できる。 4. 精密印象の目的と方法を説明できる。
6月21日(水) 5限	米澤悠助教 (補綴・インプラント学)	全部床義歯③ 様々な印象採得法を理解する。	1. いろいろな手法を用いた印象採得方法を説明できる。
6月22日(木) 1限	武本真治教授 (医療工学)	印象用材料と模型材 印象採得に用いられる材料の種類、成分、特徴を学ぶ。石膏の性質、特に硬化の機構、硬化膨張について学ぶ。	1. 印象材の成分・組成と硬化機構および性質を説明できる。 2. 歯科臨床における石膏の所要性質を説明できる。 3. 石膏の硬化機構を説明できる。 4. 石膏の硬化時間に影響を与える因子(混水比、温度、添加剤)を説明できる。 5. 石膏の硬化膨張に影響を与える因子を説明できる。
6月22日(木) 2限	武本真治教授 (医療工学)	歯冠修復材料①金属材料 歯科用金属の種類、組成と工学的性質を学ぶ。	1. 歯科臨床における歯科用金属の使用例を挙げられる。 2. 歯冠修復に使用される歯科用金属の性質、特徴を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
6月22日(木) 3限	野村太郎講師 (補綴・インプラント学)	全部床義歯④ 顎間関係の記録を理解する。	1. 咬合床の機能と仮想咬合平面の決定方法を説明できる。 2. 垂直的顎間関係の形態的、機能的な決定方法を説明できる。 3. 水平的顎間関係の記録方法を説明できる。 4. 咬合床に記入する標示線を説明できる。
6月22日(木) 4限	野村太郎講師 (補綴・インプラント学)	全部床義歯⑤ ゴシックアーチ描記法を理解する。	1. ゴシックアーチ描記法を説明できる。
6月22日(木) 5限	野村太郎講師 (補綴・インプラント学)	全部床義歯⑥ 咬合器と咬合器への模型装着・顎路調整を理解する。	1. 顔弓と顔弓記録の基準点を説明できる。 2. 顔弓を使用する臨床的意義を説明できる。 3. 調節性咬合器と非調節性咬合器について説明できる。 4. アルコン型とコンダイラー型咬合器について説明できる。 5. 上下顎模型の装着方法を説明できる。 6. 顎路角の調節方法を説明できる。
6月23日(金) 1限	織田展輔 非常勤講師	全部床義歯⑦ 人工歯の排列を理解する。	1. 基本的な顔型、SPA要素、標示線、大きさ、症例による人工歯選択を説明できる。 2. 前歯部排列方法を説明できる。 3. 垂直被蓋と水平被蓋について説明できる。 4. 臼歯部人工歯排列の基本原則を説明できる。 5. 歯槽頂間線法則、ニュートラルゾーン、調節彎曲を説明できる。
6月23日(金) 2限	織田展輔 非常勤講師	全部床義歯⑧ ろう義歯試適の診査内容を理解する。	1. ろう義歯試適時の診査項目を列挙できる。 2. 発音に関連する解剖学的・生理学的事項を説明できる。
6月23日(金) 3限	織田展輔 非常勤講師	全部・部分床義歯① 義歯の製作方法について説明できる。	1. 様々の埋没法について説明できる。 2. 様々な重合法について説明できる。 3. 研磨の基本的術式を説明できる。
6月23日(金) 4限	織田展輔 非常勤講師	全部床義歯⑨ 重合義歯の咬合器再装着と咬合調整について説明できる。	1. 様々な咬合器再装着法について説明できる。 2. 咬合様式について説明できる。 3. 咬合調整について説明できる。
6月23日(金) 5限	織田展輔 非常勤講師	全部・部分床義歯③ 様々な種類の義歯について理解する。	1. オーバーデンチャーについて説明できる。 2. アタッチメントを使用した義歯について説明できる。 3. 顎義歯について説明できる。
6月24日(土) 1限	大平千之講師 (補綴・インプラント学)	埋没、鋳造、研磨 埋没・鋳造・研磨に関する知識を深め整理できる。	1. 講義を通してクラウンの埋没、鋳造、研磨に関連する問題を解くことができるようになる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
6月24日(土) 2限	大平千之講師 (補綴・インプラント学)	口腔内試適、調整 口腔内試適・調整法に関する知識を深め整理できる。	1. 講義を通してクラウンの試適、調整法に関連する問題を解くことができるようになる。
6月26日(月) 1限	武本真治教授 (医療工学)	金属の成形技術・機器① (埋没材、歯科鑄造) 埋没材の種類、特徴を歯科鑄造と関連付けて学ぶ。歯科用金属の成形法について学ぶ。	1. 石膏系およびリン酸塩系埋没材の種類、組成、成分の役割、性質を説明できる。 2. 鑄型加熱の目的を説明できる。 3. 歯科臨床における合金の融解と鑄込みの重要性を説明できる。 4. 合金の融解方法(熱源)について説明できる。 5. 歯科鑄造の理論と技術について説明できる。
6月26日(月) 2限	武本真治教授 (医療工学)	金属の成形技術・機器② (鑄造欠陥、ろう付け) 鑄造欠陥について学ぶ。金属同士を接合する方法について学ぶ。	1. 鑄造欠陥の原因と対策を説明できる。 2. 金属の接合方法の種類と特徴について説明できる。 3. 歯科用ろうの種類と所要性質を説明できる。
6月26日(月) 3限	岡田伸男講師 (う蝕治療学)	基礎力養成 修復補助法と前処置 修復における補助法と前処置について理解する。	1. 浸潤麻酔について説明できる。 2. 隔壁法について説明できる。 3. 歯間離開について説明できる。 4. 歯肉圧排法について説明できる。 5. 防湿法について説明できる。
6月26日(月) 4限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	基礎力養成 窩洞形成&メタルインレー修復 窩洞形成、メタルインレー修復の重要事項を理解する。	1. 窩洞の分類を説明できる。 2. 窩洞の条件を説明できる。 3. 窩洞の名称を説明できる。 4. メタルインレー修復窩洞の特徴を説明できる。 5. メタルインレー窩洞形成に使用する器具を説明できる。
6月26日(月) 5限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	基礎力養成 鑄造修復&鑄造欠陥 鑄造修復、鑄造欠陥の重要事項を理解する。	1. 鑄造修復の術式を説明できる。 2. 鑄造収縮とその補償法を説明できる。 3. 鑄造欠陥の種類を列挙しその特徴と防止法を説明できる。
6月27日(火) 1, 2限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	基礎力養成 比較 CR/CRIn /MI コンポジットレジン修復/コンポジットレジンインレー/メタルインレー修復の特徴とそれぞれの違いを理解する。	1. コンポジットレジン修復とコンポジットレジンインレー修復の違いを説明できる。 2. コンポジットレジン修復とメタルインレー修復の違いを説明できる。 3. コンポジットレジン修復とコンポジットレジンインレー修復の違いを説明できる。
6月27日(火) 3限	岸光男教授 (予防歯科学)	地域保健 地域保健活動の活動拠点と活動方法を理解する。	1. プライマリヘルスケアとヘルスプロモーションを概説できる。 2. 地域保健活動のすすめ方を説明できる。 3. 保健所と市町村保健センターの役割を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
6月27日(火) 4限	阿部昌子准教授 (予防歯科学)	母子保健 歯科保健を含めた母子保健事業を理解する。	1. 母子保健事業を概説できる。 2. 母子歯科保健事業を列挙できる。 3. 乳幼児歯科健康診査を説明できる。
6月27日(火) 5限	阿部昌子准教授 (予防歯科学)	学校保健 歯科保健を含めた学校保健を理解する。	1. 学校保健の領域を説明できる。 2. 学校保健統計調査結果を概説できる。 3. 学校歯科健康診断の方法を説明できる。
6月28日(水) 1限	藤井雅助教 (小児歯科学)	拔牙 小児の拔牙について多角的に理解する。	1. 乳歯抜去時の診査事項を説明できるようになる。 2. 乳歯拔牙の適応症、禁忌症を説明できるようになる。 3. 乳歯拔牙の術式を説明できるようになる。
6月28日(水) 2限	藤井雅助教 (小児歯科学)	外傷 小児の歯の外傷を多角的に理解する。	1. 小児の歯の外傷の疫学的特徴を説明できるようになる。 2. 小児の歯の外傷の診査と診断について説明できるようになる。 3. 小児の歯の外傷に対する的確な対応法を説明できるようになる。
6月28日(水) 3限	浅野明子講師 (う蝕治療学)	歯内療法の偶発症 偶発症に関連する知識・治療法を理解し、国家試験問題を解くことができる。	1. 歯内療法における偶発症と対応について説明できる。
6月28日(水) 4限	岡田伸男講師 (う蝕治療学)	外科的歯内療法 外科的歯内療法の術式・適応症が説明できるようになる。	1. 外科的歯内療法の術式・適応症が説明できる。 2. 外科的歯内療法の器具が理解できる。
6月28日(水) 5限	岡田伸男講師 (う蝕治療学)	最新の歯内療法 最新の歯内療法について理解できる。	1. 歯内療法におけるマイクロスコープの有用性が説明できる。 2. Ni-Ti ロータリーファイルの適応症が理解できる。
6月29日(木) 1限	野田守教授 (う蝕治療学)	根未完成歯の歯内療法 根未完成歯の治癒と歯根の病的吸収について説明ができる。	1. アペキソゲネーシス、アペキシフィケーションが説明できる。 2. 治癒形態について理解できる。 3. 歯根の病的吸収について分類できる。 4. 歯根の病的吸収の診断・処置が理解できる。
6月29日(木) 2限	浅野明子講師 (う蝕治療学)	歯内療法後の支台築造 支台築造と歯冠修復について説明できる。	1. コアについて説明できる。 2. 根管治療後のコンポジットレジンについて説明できる。 3. 根管治療後の歯冠修復について説明できる。
6月29日(木) 3限	岡田伸男講師 (う蝕治療学)	歯の漂白 歯の漂白について説明できる。	1. 歯の変色の原因について説明できる。 2. 漂白処置の適応症と禁忌症について説明できる。 3. 漂白のメカニズムについて説明できる。 4. 漂白の種類について説明できる。
6月29日(木) 4限	近藤尚知教授 (補綴・インプラント学)	口腔インプラント学の要点 口腔インプラントの要点を理解する。	1. 口腔インプラントの治療の流れを理解できる。 2. 口腔インプラントの国家試験頻出分野を含め、要点を理解できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
6月29日(木) 5限	近藤尚知教授 (補綴・インプラント学)	口腔インプラントの臨床診断から外科処置まで 口腔インプラントの診断から外科術式まで理解する。	1. 口腔インプラントに必要な診察と検査、診断を説明できる。 2. 口腔インプラントの外科術式を理解できる。 3. インプラント治療に関連する材料について説明できる。
6月30日(金) 1限	齊藤桂子助教 (小児歯科学)	静的咬合誘導 静的咬合誘導を多角的に理解する。	1. 歯の早期喪失の影響を説明できるようになる。 2. 保隙のための分析法について説明できるようになる。 3. 保隙装置の種類と適応症を説明できるようになる。
6月30日(金) 2限	丸谷由里子講師 (小児歯科学)	動的咬合誘導 動的咬合誘導について多角的に理解する。	1. 各デンタルステージにおける咬合誘導の目標を説明できるようになる。 2. 乳歯列・混合歯列期における咬合誘導の治療法を説明できるようになる。
6月30日(金) 3限	丸谷由里子講師 (小児歯科学)	口腔習癖 口腔習癖の種類とその影響を多角的に理解する。	1. 口腔習癖の種類と特徴を説明できるようになる。 2. 口腔習癖への対応法について説明できるようになる。
6月30日(金) 4限	志賀華絵助教 (う蝕治療学)	基礎力養成 齲蝕(診査, 診断, 処置) 齲蝕(診査, 診断, 処置)について理解する。	1. 齲蝕の診査, 診断, 処置について説明できる。
6月30日(金) 5限	志賀華絵助教 (う蝕治療学)	基礎力養成 歯の変色と漂白 歯の変色と漂白について理解する。	1. 歯の変色の原因を説明できる。 2. 歯の漂白法を説明できる。 3. 歯の漂白の適応症と禁忌症を説明できる。
7月1日(土) 8:50~12:00		必修再試験	
7月3日(月) 10:00~16:15 7月4日(火) 10:00~16:10		到達度試験②	
7月5日(水) 1限	齊藤桂子助教 (小児歯科学)	歯周疾患 小児の歯周疾患について多角的に理解する。	1. 小児の健全な歯周組織の特徴を列挙できるようになる。 2. 歯肉炎と歯周炎の違いを説明できるようになる。 3. 小児と成人の歯周疾患の違いを説明できるようになる。
7月5日(水) 2限	齊藤桂子助教 (小児歯科学)	口腔粘膜疾患 小児の口腔粘膜疾患について多角的に理解する。	1. 小児の口唇の疾患を列挙できるようになる。 2. 小児の舌の疾患を列挙できるようになる。 3. 小児の歯肉の疾患を列挙できるようになる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
7月5日(水) 3, 4, 5 限	村井治助教 (歯周療法学)	歯周病学基礎力養成 歯周領域のメンテナンス・高齢者・歯周医学を理解する。	1. 歯周領域のメンテナンスについて説明できる。 2. 歯周領域の高齢者治療について説明できる。 3. 歯周医学について説明できる。
7月6日(木) 1 限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	歯内療法学(根末完成歯・外傷歯の歯内療法) 根末完成歯・外傷歯の歯内療法の基本術式について説明できるようになる。	1. 根末完成歯の歯内療法の目的を説明できる。 2. アペキシゲネーシスについて説明できる。 3. アペキシフィケーションについて説明できる。 4. 歯冠破折歯の分類、術式を説明できる。 5. 内部吸収について説明できる。 6. 外部吸収について説明できる。
7月6日(木) 2 限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	外傷と歯内療法 外傷歯の歯内療法の基本術式について説明できるようになる。	1. 歯冠破折歯の分類、術式を説明できる。 2. 内部吸収について説明できる。 3. 外部吸収について説明できる。
7月6日(木) 3 限	野田守教授 (う蝕治療学)	高齢者における歯内療法 高齢者における歯内療法について理解できる。	1. 高齢者の歯の特徴を説明できる。 2. 高齢者の歯内治療での注意事項を説明できる。 3. 高齢者と成人の歯内療法の違いを説明できる。
7月6日(木) 4 限	大津圭史講師 (発生生物・再生医学)	歯肉・口腔粘膜(重層扁平上皮の特徴) 歯肉やその他の口腔粘膜について組織学的特徴を説明できるようになる。	1. 口腔粘膜上皮と角化の有無について説明できる。 2. 歯肉・歯槽粘膜の組織学的特徴について説明できる。 3. 歯-歯肉鏡の組織学的特徴について説明できる。 4. 頬粘膜・口蓋の組織学的特徴について説明できる。 5. 口唇の組織学的特徴について説明できる。 6. 舌・扁桃の組織学的特徴について説明できる。
7月6日(木) 5 限	大津圭史講師 (発生生物・再生医学)	唾液腺・顎関節 大唾液腺の構造と組織学的特徴について説明できるようになる。 顎関節の構造と組織学的特徴について説明できるようになる。	1. 耳下腺・顎下腺・舌下腺の位置、排出導管の開口部の位置について説明できる。 2. 大唾液腺の終末部の組織学的特徴について説明できる。 3. 大唾液腺の導管の構造と機能について説明できる。 4. 唾液の組成や唾液成分の機能について説明できる。 5. 顎関節の組織学的特徴について説明できる。 6. 関節円板や関節包内層(滑膜)の特徴について説明できる。
7月7日(金) 1 限	佐藤健一教授 (歯科麻酔学)	局所麻酔 局所麻酔法及び局所麻酔薬・血管収縮薬を理解する。	1. 局所麻酔法の目的を説明できる。 2. 局所麻酔薬の種類と特徴を説明できる。 3. 血管収縮薬の種類、その特徴及び臨床使用上の注意を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
7月7日(金) 2限	佐藤健一教授 (歯科麻酔学)	歯科治療時の偶発症 局所麻酔薬の偶発症とそのメカニズムを理解する。	1. 局所麻酔法の局所的偶発症を説明できる。 2. 局所麻酔薬及び歯科治療時の全身的偶発症を説明できる。(血管迷走神経反射、過換気症候群、アナフィラキシーショック、局所麻酔薬中毒、血管収縮薬に対する反応、メトヘモグロビン血症) 3. ショックを説明できる。
7月7日(金) 3限	八重柏隆教授 (歯周療法学)	歯周病学基礎力養成 歯周外科治療・根分岐部病変・歯内歯周病変を理解する。	1. 歯周外科治療を説明できる。 2. 根分岐部病変を説明できる。 3. 歯内歯周病変を説明できる。
7月7日(金) 4限	城茂治教授 玉田泰嗣助教 (摂食嚥下口腔リハビリテーション学)	摂食嚥下リハビリテーション 摂食嚥下リハビリテーションの治療計画を理解する。	1. スクリーニングテスト、精密検査を含めた検査および直接訓練、間接訓練を含めたりハビリテーションについて説明できる。
7月7日(金) 5限	城茂治教授 玉田泰嗣助教 (摂食嚥下口腔リハビリテーション学)	訪問歯科診療・栄養 訪問歯科診療における治療の流れ、高齢者の栄養管理について理解する。	1. 訪問歯科診療での注意点、全身状態の把握、介護者への対応、高齢者の栄養管理や食形態の調整について説明できる。
7月10日(月) 1, 2, 3限	八重柏隆教授 (歯周療法学)	歯周病学基礎力養成 歯周外科治療・根分岐部病変・歯内歯周病変を理解する。	1. 歯周外科治療を説明できる。 2. 根分岐部病変を説明できる。 3. 歯内歯周病変を説明できる。
7月10日(月) 4, 5限	泉澤充講師 (歯科放射線学)	画像診断4 顎関節症と骨系統疾患の画像診断法を修得する。 放射線治療 口腔癌の放射線治療に関する国試一般問題について理解する。	1. 以下の疾患の臨床症状と各種画像所見について説明する。 顎関節症、骨系統疾患 1. 口腔癌の放射線治療の方法と口腔の管理を修得する。
7月11日(火) 1限	米澤悠助教 (補綴・インプラント学)	部分床義歯① 歯の欠損による障害、欠損様式、義歯の分類を理解する。	1. 分類の必要性和臨床的意義を説明できる。 2. 部分床義歯製作時の診査項目を説明できる。
7月11日(火) 2限	原総一郎助教 (補綴・インプラント学)	部分床義歯② 部分床義歯の支持・把持・維持機構を理解する。	1. 部分床義歯の支持について説明できる。 2. 部分床義歯の把持について説明できる。 3. 部分床義歯の維持について説明できる。
7月11日(火) 3限	南健太郎助教 (予防歯科学)	産業保健 歯科保健を含めた産業衛生・保健を理解する。	1. 職業性疾患を列挙できる。 2. 職業性疾患の予防手段を概説できる。 3. THP を概説できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
7月11日(火) 4限	南健太郎助教 (予防歯科学)	成人保健 歯科保健を含めた成人保健を理解する。	1. 成人保健の概要を説明できる。 2. 特定健康診査、特定保健指導を説明できる。
7月11日(火) 5限	岸光男教授 (予防歯科学)	高齢者保健・福祉 介護保険法による高齢者の保健・福祉制度を理解する。	1. 地域支援事業を概説できる。 2. 介護保険制度を概説できる。
7月12日(水) 1限	小林琢也准教授 (補綴・インプラント学)	部分床義歯③ 部分床義歯の維持装置の選択と連結子の選択を理解する。	1. 維持装置の一般的所要条件を説明できる。 2. 維持装置の種類、特徴、利点・欠点を説明できる。 3. 大連結子の種類、特徴、利点・欠点を説明できる。
7月12日(水) 2限	野村太郎講師 (補綴・インプラント学)	部分床義歯④ 前処置・印象採得・オルタードキャスト法を理解する。	1. 部分床義歯の前処置を説明できる。 2. 部分床義歯の印象採得を説明できる。 3. オルタードキャスト法を説明できる。
7月12日(水) 3限	大平千之講師 (補綴・インプラント学)	クラウンの装着 クラウンの合着・接着に関する知識を深め整理できる。	1. 講義を通してクラウンの装着に関連する問題を解くことができるようになる。
7月12日(水) 4限	大平千之講師 (補綴・インプラント学)	セラミッククラウンの基本 セラミッククラウンの基本事項に関する知識を深め整理できる。	1. 講義を通してセラミッククラウンの基本事項に関する問題を解くことができるようになる。
7月12日(水) 5限	田邊憲昌講師 (補綴・インプラント学)	下顎運動、顎関節症 下顎運動・顎関節症に関する知識を深め整理できる。	1. 講義を通して支台築造に関連する問題を解くことができるようになる。
7月13日(木) 1限	武本真治教授 (医療工学)	歯冠修復材料②歯科用陶材 歯科用陶材の用途、種類、成分・組成、焼成体の性質を学ぶ。	1. 歯冠修復に用いられるセラミックス材料の種類を挙げ、それぞれの一般的特徴を説明できる。 2. 歯科用陶材の諸性質を説明できる。
7月13日(木) 2限	武本真治教授 (医療工学)	セラミックスの成形技術・機器 セラミックスの成形加工法を学ぶ。	1. セラミックスの主要な成形法とその特徴を説明できる。 2. 陶材焼付鑄造冠における陶材と金属との結合機構を説明できる。 3. CAD/CAMによるセラミックス成形法の概要を説明できる。
7月13日(木) 3限	野村太郎講師 (補綴・インプラント学)	部分床義歯⑤ サベイングの目的と意義について理解する。 義歯の設計手順について理解する。	1. サベイングの目的を説明できる。 2. サベイングの手順と意味を説明できる。 3. サベイングと義歯設計の関係を説明できる。 4. 義歯の設計手順を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
7月13日(木) 4,5限	藤村朗教授 (機能形態学)	歯の解剖 歯の形態に関する弱点領域を再確認し、すべての歯種を鑑別できる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 永久歯の歯種ごとの基本形態を説明できる。 2. 乳歯の歯種ごとの基本形態を説明できる。 3. 歯の基本形態から歯種ごとの機能を説明できる。 4. すべての歯種の外形をスケッチできる。
7月14日(金) 1限	野村太郎講師 (補綴・インプラント学)	部分床義歯⑥ 部分床義歯の咬合採得・人工歯排列・蟻義歯試適を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 症例に応じた部分床義歯の咬合採得の特徴について説明できる。 2. 部分床義歯の人工歯排列について説明できる。 3. 部分床義歯のろう義歯試適について説明できる。
7月14日(金) 2限	小林琢也准教授 (補綴・インプラント学)	部分床義歯⑦ 金属床義歯の製作過程を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. フレームワークの製作過程について説明できる。 2. フレームワークについて説明できる。
7月14日(金) 3限	田邊憲昌講師 (補綴・インプラント学)	ブリッジのろう付け法 ブリッジ製作過程(ろう付け法)に関する知識を深め整理できる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 講義を通してブリッジのろう付け法に関連する問題を解くことができるようになる。
7月14日(金) 4限	田邊憲昌講師 (補綴・インプラント学)	プロビジョナルレストレーション プロビジョナルレストレーションに関する知識を深め整理できる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 講義を通してプロビジョナルレストレーションに関連する問題を解くことができるようになる。
7月14日(金) 5限	宮本郁也准教授 (口腔外科学)	顎口腔の嚢胞 1 顎嚢胞 2 軟組織の嚢胞 口腔顎顔面領域に発生する嚢胞の分類、発生病因、診断、治療法を習得する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 顎骨および軟組織に発生する嚢胞を分類し、それぞれの発生病因と臨床症状、画像検査所見、病理組織所見を述べ、治療法を概説する。 2. 嚢胞に対する手術法および器具の種類を列挙し用法を説明する。 3. 術中、術後の偶発症と対処法を説明する。
7月18日(火) 1限	小林琢也准教授 (補綴・インプラント学)	全部・部分床義歯② 床義歯装着・装着後の短期的な変化と対応を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 義歯の装着の基本的術式について説明できる。 2. 義歯装着による短期予後の生体と材料の変化について説明できる。 3. 義歯装着後の短期予後の対応について説明できる。
7月18日(火) 2限	小林琢也准教授 (補綴・インプラント学)	全部・部分床義歯③ 床義歯装着・装着後の長期的変化と対応を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 義歯装着後の長期予後の生体と材料の変化について説明できる。 2. 義歯装着後の長期予後の対応について説明できる。
7月18日(火) 3限	岸光男教授 (予防歯科学)	齲蝕の予防 齲蝕の原因と予防法を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 齲蝕の発生要因を列挙できる。 2. 齲蝕の要因別リスク評価法を列挙できる。 3. 齲蝕の予防手段を概説できる(含む予防の3相5段)。
7月18日(火) 4限	岸光男教授 (予防歯科学)	フッ化物による齲蝕予防 フッ化物による齲蝕予防法の効果とリスクを理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. フッ化物の齲蝕予防法を列挙できる。 2. フッ化物の齲蝕予防機序を説明できる。 3. フッ化物の中毒を説明できる(含むフッ化物濃度の計算)。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
7月18日(火) 5限 (90分講義、 16時55分ま で)	岸光男教授 (予防歯科学)	口腔清掃法 口臭の予防 口腔清掃法を理解する。 口臭の原因と予防法を理解する。	1. 口腔清掃法を列挙できる。 2. 歯磨剤の基本成分と薬用成分を列挙できる。 3. 口臭の原因を列挙できる。
7月19日(水) 1限	熊谷章子准教授 (法歯学・災害口 腔医学)	神経疾患 口腔顔面痛と慢性疼痛 神経麻痺 様々な口腔顔面痛ならび に心因性病態について習 得する。神経麻痺の病態と 治療法について習得する。	1. 顎顔面口腔領域の疼痛の種類を列挙できる。 2. 三叉神経痛の概念、症状および治療法について説明できる。 3. 舌咽神経痛の概念、症状および治療法について説明できる。 4. 神経麻痺の特徴、症状および治療法を説明できる。 5. 慢性疼痛と心因性病態の関連について説明できる。
7月19日(水) 2限	宮本郁也准教授 (口腔外科学)	血液疾患 1 赤血球、白血球異常 2 出血性素因 貧血や白血病の全身的症 状と口腔症状との関連に ついて習得する。 出血性素因に関する知識 を習得する。	1. 赤血球の異常を現す疾患を列挙する。 2. 貧血の症状と治療法を説明する。 3. 輸血、輸血製剤の種類について説明できる。 4. 白血球の異常を現す疾患を列挙する。 5. 白血病の症状を説明する。 6. 出血性素因を現す主要な疾患を列挙する。 7. 止血機能のスクリーニング検査項目を列挙する。 8. 主要な出血性素因の病因、病態、治療法を説明する。 9. 抗血栓療法について説明し適応疾患を列挙する。 10. 抗血栓療法薬を列挙する。
7月19日(水) 3限	遠藤千恵講師 (歯科麻酔学)	全身麻酔法 全身麻酔法と全身麻酔薬 を理解する。	1. 全身麻酔薬の理論、概念、機序を説明できる。 2. 全身麻酔に使用する装置、器具、回路を説明できる。 3. 全身麻酔における気道確保法を説明できる。 4. 全身麻酔薬の種類と特徴を説明できる。 5. 麻酔前投薬、筋弛緩薬の種類と薬理作用を説明できる。
7月19日(水) 4限	遠藤千恵講師 (歯科麻酔学)	救急蘇生法 救急蘇生法 (BLS) を理解 する。	1. バイタルサインを説明できる。 2. 成人の1次救命処置を説明できる。 3. 自動体外式除細動器を説明できる。 4. 小児の1次救命処置を説明できる。 5. 異物による気道閉塞とその解除法を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
7月 19日(水) 5限	佐藤健一教授 (歯科麻酔学)	ペインクリニック 疼痛性及び麻痺性疾患を理解する。	1. 顎顔面口腔領域の疼痛及び麻痺性疾患を説明できる。 2. 三叉神経痛の概念、症状及び治療法を説明できる。 3. 顔面神経麻痺の概念、症状及び治療法を説明できる。 4. 星状神経節ブロックの適応、方法及び合併症を説明できる。
7月 20日(木) 1限	山田浩之教授 (口腔外科学)	顎口腔の腫瘍 1 歯源性腫瘍 歯源性腫瘍の種類を把握し、発生病因、臨床症状、病理組織像、診断、治療法を習得する。	1. 歯源性腫瘍を列挙し分類する。 2. 歯源性良性腫瘍の一般的な臨床症状を説明でき、診断に必要な検査を挙げ、その概略を説明する。 3. 歯源性良性腫瘍の一般的な治療法を説明する。
7月 20日(木) 2限	山田浩之教授 (口腔外科学)	顎口腔の腫瘍 2 非歯源性良性腫瘍 腫瘍類似疾患 非歯源性良性腫瘍、腫瘍類似疾患の種類を把握し、発生病因、臨床症状、病理組織像、診断、治療法を習得する。	1. 非歯源性良性腫瘍、腫瘍類似疾患の特徴と症状を説明する。 2. 非歯源性良性腫瘍、腫瘍類似疾患の種類、特徴、症状、診断および治療法を説明する。
7月 20日(木) 3限	三上俊成准教授 (口腔病理学)	炎症のまとめ 病理総論における炎症について広く理解する。	1. 炎症の機序、炎症性細胞、滲出性炎、肉芽腫性炎について病理学的に説明できるようになる。
7月 20日(木) 4限	三上俊成准教授 (口腔病理学)	腫瘍の臨床関連領域 (1) 病理組織像をみながら、腫瘍の臨床病態を理解する。	1. 腫瘍の病理組織像から、口腔の良性腫瘍と悪性腫瘍の臨床病態を説明できるようになる。
7月 20日(木) 5限	三上俊成准教授 (口腔病理学)	腫瘍の臨床関連領域 (2) 病理組織像をみながら、腫瘍の臨床病態を理解する。	1. 腫瘍の病理組織像から、唾液腺腫瘍と歯源性腫瘍の臨床病態を説明できるようになる。
7月 21日(金) 1限	山田浩之教授 (口腔外科学)	顎口腔の腫瘍 3 癌腫 顎顔面口腔領域に発生する上皮性の悪性腫瘍に関する知識を習得する。	1. 非歯源性悪性腫瘍の分類について概説する。 2. 悪性腫瘍の特徴について概説する。 3. 口腔癌の臨床症状を説明する。 4. 口腔癌の各種画像所見を説明する。 5. 口腔癌の病理組織像について説明する。 6. 口腔癌の治療、予後について説明する。 7. TNM 分類について説明する。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
7月21日(金) 2限	山田浩之教授 (口腔外科学)	顎口腔の腫瘍4 肉腫、悪性リンパ腫、悪性 黒色腫 顎顔面口腔領域に発生する非上皮性の悪性腫瘍に関する知識を習得する。	1. 口腔顎顔面領域に発症する主な悪性腫瘍を列挙する。 2. 主な肉腫の種類を列挙する。 3. 主な肉腫の特徴、臨床症状、治療および予後について説明する。 4. 悪性リンパ腫の特徴、臨床症状、治療および予後について説明する。 5. 悪性黒色腫の特徴、臨床症状、治療および予後について説明する。
7月21日(金) 3限	飯塚康之助教 (歯科矯正学)	矯正材料と器具 矯正材料と器具に関する知識を強化できる。	1. 矯正材料と器具について理解を深め、同領域の問題を解くことができるようになる。
7月21日(金) 4限	飯塚康之助教 (歯科矯正学)	矯正装置・器材まとめ 矯正装置・器材に関する知識を強化できる。	1. 復習試験の結果から見えてきた矯正装置領域に関する不十分な知識を強化することができる。
7月21日(金) 5限	飯塚康之助教 (歯科矯正学)	顎変形症 顎変形症に関する知識を強化できる。	1. 顎変形症について理解を深め、同領域の問題を解くことができるようになる。
7月22日(土) 8:50~12:00		必修再試験	
7月24日(月) 1限	山田浩之教授 (口腔外科学)	顎口腔の腫瘍5 化学療法、放射線療法、その他の治療、緩和医療 顎顔面口腔領域に発生する悪性腫瘍に対する化学療法や免疫療法の種類、適応について習得する。	1. 悪性腫瘍の化学療法について概説する。 2. 口腔悪性腫瘍に使用する化学療法薬を列挙する。 3. 化学療法薬の投与法を説明する。 4. 化学療法薬の副作用を説明する。 5. 放射線治療における副作用について説明する。 6. 治療患者の口腔内管理、疼痛管理について説明する。 7. 緩和医療について説明する。
7月24日(月) 2限	大橋祐生助教 (口腔外科学)	顎口腔の腫瘍6 外科療法1 顎顔面口腔領域に発生する悪性腫瘍に対する手術の種類、適応、術式について習得する。	1. 悪性腫瘍に対する治療の基本を説明する。 2. 舌癌の切除法の種類を列挙し、適応を説明する。 3. 下顎歯肉癌の切除法の種類を列挙し、適応を説明する。 4. 上顎歯肉癌の切除法の種類を列挙し、適応を説明する。 5. 頸部郭清術の術式を説明する。
7月24日(月) 3限	大橋祐生助教 (口腔外科学)	顎口腔の腫瘍7 外科療法2 顎顔面口腔領域に発生する悪性腫瘍に対する再建手術の種類、適応、術式について習得する。	1. 頭頸部領域の再建手術について説明できる。 2. 植皮について説明できる。 3. 遊離皮弁と有茎皮弁について説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
7月24日(月) 4,5限	久慈准教授 (障害者歯科学)	障害者歯科学概論 障害者歯科学を概観し、広い範囲の基礎知識を身につける。	1. 障害者歯科学全般にわたる知識を整理し、知識を確実にし、説明できる。
7月25日(火) 1限	山田浩之教授 (口腔外科学)	顎口腔の腫瘍8 唾液腺腫瘍の治療 唾液腺腫瘍の症状、診断および治療法を習得する。	1. 唾液腺腫瘍の種類と特徴を説明する。 2. 唾液腺腫瘍の症状、検査および治療法を説明する。 3. 唾液腺の腫瘍性病変（良性腫瘍と悪性腫瘍）の病理組織所見を説明する。
7月25日(火) 2限	熊谷章子准教授 (法歯学・災害口腔医学)	唾液腺疾患 唾液腺疾患の症状、診断および治療法を習得する。	1. 唾液腺の炎症性疾患を説明できる。 2. 唾液腺の外傷を説明できる。 3. 唾液腺の閉塞性疾患を説明できる。 4. 唾石摘出術について説明できる。 5. 顎下腺摘出術について説明できる。
7月25日(火) 3限	古城慎太郎助教 (口腔外科学)	手術1 抜歯、難抜歯 歯根端切除術 歯槽堤手術 歯の再植・移植 抜歯を適切に実施するために必要な知識を習得する。	1. 抜歯の適応症と禁忌症を説明する。 2. 抜歯の偶発症と合併症およびその対処法を説明する。 3. 抜歯に必要な器具の用法と手技を説明する。 4. 抜歯の正常治癒経過および異常な治癒経過とその対処法を説明する。 5. 埋伏歯の抜歯法を説明する。 6. 歯根端切除術の適応症と禁忌症を説明する。 7. 歯槽堤整形術の適応症と手技を説明する。 8. 歯の移植・再植の適応症と手技を説明する。 9. 小帯に対する手術の適応症と手技を説明する。
7月25日(火) 4限	古城慎太郎助教 (口腔外科学)	手術2 手術の基本手技 切開、縫合、止血、骨切削などに用いる器具について習得する。	1. 縫合の種類を列挙し、説明する。 2. 止血法の種類を列挙し、説明する。 3. メスの種類と特徴を列挙する。 4. 縫合に必要な器材を列挙する。 5. 止血に用いる器材を列挙する。 6. 骨切削に用いる器具を列挙する。 7. 滅菌・消毒法について説明できる。
7月27日(木) 9:30~15:45 7月28日(金) 9:30~15:40		第1回総合試験	

講義日程【B講義（8月21日～10月13日）】

復習試験：8：50～9：20、1限：9：30～10：35、2限：10：45～11：50、

3限：12：50～13：55、4限：14：05～15：10、5限：15：20～16：25

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
8月21日(月) 1限	大津圭史講師 (発生生物・再生医学)	重層扁平上皮の構造・機能のポイント 重層扁平上皮の構造や機能を正常～病理・臨床的視点から統合的に説明できるようにする。	1. 重層扁平上皮の各層の特徴について説明できる。 2. 重層扁平上皮を構成する細胞と機能について説明できる。 3. 細胞間接着装置について説明できる。 4. 上皮組織の構造と天疱瘡・類天疱瘡などの疾患との関係について説明できる。
8月21日(月) 2限	大津圭史講師 (発生生物・再生医学)	顎顔面の発生のポイント 顎顔面の発生について正常～臨床的視点から統合的に説明できるようにする。	1. 各鰓弓に由来する構造について説明できる。 2. 甲状腺の発生とその発生過程に起因する異常について説明できる。 3. 上皮小体・甲状腺濾胞傍細胞の発生について説明できる。 4. 頭部神経堤に由来する顎顔面領域の構造について説明できる。 5. 顎顔面を形成する突起とその癒合不全に伴う異常について説明できる。
8月21日(月) 3限	大津圭史講師 (発生生物・再生医学)	歯の発生から見た歯の構造の正常と異常 歯の構造についてそれぞれの成因から説明できるようにする。歯の先天的異常について説明できるようにする。	1. 歯を構成する組織と形成細胞の分化・基質形成過程について説明できる。 2. 歯の生理的加齢変化、咬耗・摩耗による組織変化について説明できる。 3. 先天性遺伝子疾患（鎖骨頭蓋骨異形成症・大理石骨病など）に伴い顎骨・歯に見られる症状について説明できる。
8月21日(月) 4限	安藤禎紀講師 (機能形態学)	筋隙を中心に脈管学 筋学領域の弱点領域を再確認し、筋肉の起始・停止の位置から筋隙を把握し、存在するもの、通過する血管を理解する。	1. 頸部の筋隙（頸筋膜）をそれぞれ存在するもの、通過するものに分けて説明できる。 2. 頭部の筋隙に存在するもの、通過するものを説明できる。 3. 伝達麻酔の手技を筋隙から説明できる。
8月22日(火) 1限	成田欣弥講師 (病態生理学)	老化による生理機能の変化 老化による生理機能の変化を理解する。	1. 老化に伴う主な徴候を説明できる。 2. 老化による呼吸器系の変化を説明できる。 3. 老化による循環器系の変化を説明できる。 4. 老化による口腔機能の変化を説明できる。
8月22日(火) 2限	成田欣弥講師 (病態生理学)	ホルモン異常と全身疾患のポイント復習 ホルモンの異常によって生じる全身疾患を理解する。	1. 主なホルモンの働きを説明できる。 2. ホルモンの異常によって生じる全身疾患を説明できる。
8月22日(火) 3限	成田欣弥講師 (病態生理学)	循環調節のポイント復習 循環調節のポイントを理解する。	1. 循環調節について体系的に説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
8月22日(火) 4限	田村晴希講師 (病態制御学)	中枢作用薬・麻薬性鎮痛薬 疼痛の機序・中枢性鎮痛薬・中枢興奮薬・抗痙攣薬について理解し、その法規制についても理解を深める。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 痛みの発生機序を説明できる。 2. 麻薬性薬物の種類・受容体・作用機序及び法規制について説明できる。 3. 非麻薬性鎮痛薬の種類・作用機序について説明できる。 4. WHO方式の癌性疼痛治療について説明できる。 5. GABA 受容体に対する抗痙攣薬の種類・特徴を説明できる。
8月23日(水) 1限	加茂政晴准教授 (細胞情報科学)	硬組織 硬組織成分の機能と骨リモデリングを理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 硬組織を構成する成分と性質を説明できる。 2. 骨リモデリングのメカニズムを説明できる。
8月23日(水) 2限	帖佐直幸講師 (細胞情報科学)	プラーク プラーク細菌の糖代謝を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. プラークの形成過程と性質を説明できる。 2. プラーク細菌による有機酸の産生を説明できる。
8月23日(水) 3限	熊谷章子准教授 (法歯学・災害口腔医学)	虐待 虐待と歯科医師の係りを理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 虐待の種類を説明できる。 2. 虐待防止に関する法律を説明できる。 3. 歯科医師による虐待の早期発見と予防について説明できる。 4. 虐待発見時の通報先を説明できる。
8月23日(水) 4限	石河太知助教 (分子微生物学)	微生物学総論 A 講義で学んだ微生物の分類および性状を理解し、寄生体としての病原微生物およびその感染症や病原因子について理解を深める。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 微生物の構造・性状について説明できる。 2. 感染の概念と感染症について説明できる。 3. 宿主-寄生体相互作用について説明できる。 4. 病原微生物の性状・病原因子および感染症について説明できる。
8月24日(木) 1,2限	小笠原正人教授 (病態制御学)	抗炎症薬(ステロイド、オータコイドを含む) ステロイド性抗炎症薬の作用機序について理解を深める。副作用について理解を深める。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 糖質コルチコイドの作用について説明できる。 2. ステロイド性抗炎症薬の作用機序について明できる。 3. ステロイド性抗炎症薬の副作用について説明できる。 4. ステロイド性抗炎症薬の種類について抗炎症力価、Na 貯留力価を踏まえて説明できる。
8月24日(木) 3限	帖佐直幸講師 (細胞情報科学)	血液 血液の成分と機能を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 血液凝固やヘム・ポルフィリン代謝を説明できる。 2. 血漿成分の機能や疾患における変動を説明できる。
8月24日(木) 4限	帖佐直幸講師 (細胞情報科学)	炎症 炎症のメカニズムを理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 炎症性細胞の役割を説明できる。 2. ケミカルメディエーターの性質や産生を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
8月25日(金) 1限	田村晴希講師 (病態制御学)	硬組織作用薬・ビタミン・解毒薬・免疫抑制剤 主な薬物とその副作用について理解する。免疫反応に影響する薬物について理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 骨量と関係するホルモン・受容体について説明できる。 ビスホスホネート製剤の作用機序、副作用および臨床適応について説明できる。 骨粗鬆症について説明できる。 免疫抑制剤の種類を挙げ、説明できる。 重金属拮抗薬の種類を挙げ、説明できる。
8月25日(金) 2限	田村晴希講師 (病態制御学)	救急薬・全身管理の薬物 救急対応が必要となる場合とその対応に必要な薬物の概略を知り、理解を深める。	<ol style="list-style-type: none"> 頻度の高い合併症について説明できる。 心拍出量の改善、血圧の維持に必要な薬を説明できる。 血管迷走神経反射への対応薬について説明できる。 高血圧時の対応薬について説明できる。 狭心症発作時の対応薬について説明できる。 不整脈の時の対応薬について説明できる。 局所麻酔薬中毒時の対応薬について説明できる。 アナフィラキシーショックの時の対応薬について説明できる。
8月25日(金) 3限	大津圭史講師 (発生生物・再生医学)	歯周組織の正常構造と加齢変化・異常についてのまとめ 歯周組織の構造や機能を正常～臨床的視点から統合的に説明できるようにする。	<ol style="list-style-type: none"> 歯肉・歯根膜・セメント質・歯槽骨の正常構造について説明できる。 歯槽硬線と組織構造との関係について説明できる。 歯肉の生理的幅径について説明できる。 歯周組織にみられる生理的加齢変化について説明できる。 歯の移動に伴う組織変化と変化が生じる成因について説明できる。
8月25日(金) 4限	大津圭史講師 (発生生物・再生医学)	唾液腺の組織学的ポイントと考え方 唾液腺を組織学～生理学的視点から説明できるようにする。	<ol style="list-style-type: none"> 大唾液腺の終末部構成細胞と導管の構造と機能について説明できる。 唾液の組成や唾液成分の機能について説明できる。 原唾液の成分調整と組織学的構造との関係について説明できる。 唾液腺と神経支配について説明できる。
8月26日(土) 8:50~12:00		必修再試験	
8月28日(月) 9:30~15:45		第3回全国模擬試験 (DES111-1)	
8月29日(火) 9:30~15:45			

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
8月30日(水) 1, 2限	佐々木実教授 (分子微生物学)	免疫学 2B A 講義で学んだ免疫応答による生体防御の仕組みならびに免疫疾患についての理解を深める。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 免疫応答に関与する器官と細胞について説明できる。 2. 自然免疫と獲得免疫について説明できる。 3. 主なサイトカインとその生物活性について説明できる。 4. 微生物の認識機構と排除機構を説明できる。 5. 各過敏症の発症メカニズムと代表的な疾患について説明できる。 6. 主な免疫不全症の発症機序と疾患について説明できる。 7. 自己免疫疾患発現に関与する因子と代表的な自己免疫疾患について説明できる。
8月30日(水) 3限	城茂治教授 玉田泰嗣助教 (摂食嚥下口腔リハビリテーション学)	多職種連携 様々な状況における多職種連携について理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. NSTを含めた多職種連携によるチーム医療について説明できる。
8月30日(水) 4限	帖佐直幸講師 (細胞情報科学)	癌 発癌や転移・浸潤のしくみを理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 癌遺伝子と癌抑制遺伝子の機能を説明できる。 2. 発癌や転移・浸潤のしくみを説明できる。
8月31日(木) 1限	藤村朗教授 (機能形態学)	顎関節 顎関節に関する領域の弱点を再確認し、側頭骨と下顎骨の連結状況と咀嚼筋の起始・停止から顎関節運動を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 顎関節の構造と咀嚼筋の起始・停止から下顎骨の動きを説明できる。 2. 顎関節の動きから、半調節性咬合器の意味を説明できる。
8月31日(木) 2限	藤村朗教授 (機能形態学)	歯の解剖 歯の形態に関する弱点領域を再確認し、それぞれの形態から歯種ごとの機能を説明できる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 永久歯の歯種ごとの基本形態を説明できる。 2. 乳歯の歯種ごとの基本形態を説明できる。 3. 歯の基本形態から歯種ごとの機能を説明できる。
8月31日(木) 3限	藤村朗教授 (機能形態学)	内臓学 (舌・口蓋・咽頭) 咀嚼・嚥下の関連分野の弱点領域を再確認し、解剖学的な動きを総合的に理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 口蓋の構造を硬口蓋、軟口蓋に分けて説明できる。 2. 舌筋を内舌筋と外舌筋に分けてその機能を説明できる。 3. 嚥下に関与する筋をステージごとに説明できる。
8月31日(木) 4限	藤村朗教授 (機能形態学)	唾液腺を中心に神経学 唾液腺の神経支配の弱点を再確認し、特に交感性支配と副交感性支配を総合的に理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 3大唾液腺の交感神経・副交感神経支配の経路を説明できる。 2. 小唾液腺の交感神経・副交感神経支配を説明できる。
9月1日(金) 1限	下山佑講師 (分子微生物学)	ウイルス学各論 B A 講義で学んだウイルスの性状ならびに感染症についての理解を深める。	<ol style="list-style-type: none"> 1. ウイルス粒子の構造と各部位の機能, 増殖過程を説明できる。 2. 主要な病原性ウイルスの性状・感染経路・標的器官および感染症を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
9月1日(金) 2限	下山佑講師 (分子微生物学)	口腔細菌 B A 講義で学んだ口腔の正常フローラ、口腔細菌の性状および病原因子を学び、う蝕・歯周疾患・歯内疾患の成立・発症機序についての理解を深める。	1. 口腔のニッチとその構成細菌について説明できる。 2. 口腔病原微生物の特徴と病原因子について説明できる。 3. う蝕の成立機序について説明できる。 4. 歯周炎の成立機序について説明できる。 5. 歯内疾患の成立機序について説明できる。
9月1日(金) 3限	三上俊成准教授 (口腔病理学)	病理各論(口腔病理学)のまとめ(1) 口腔病理学の基礎事項を学び、腫瘍、嚢胞、口腔粘膜疾患の発症機序や病態を理解する。	1. 口腔に生じた腫瘍、嚢胞、粘膜疾患の発症機序や局所の病態を説明できるようになる。
9月1日(金) 4限	三上俊成准教授 (口腔病理学)	病理各論(口腔病理学)のまとめ(2) 口腔病理学の基礎事項を学び、腫瘍、嚢胞、口腔粘膜疾患の発症機序や病態を理解する。	1. 口腔に生じた腫瘍、嚢胞、粘膜疾患の発症機序や局所の病態を説明できるようになる。
9月2日(土) 8:50~12:00		必修再試験	
9月4日(月) 1限	岡田伸男講師 (う蝕治療学)	国試重要項目の実力養成 1: コンポジットレジン コンポジットレジンの応用について理解できる。	1. コンポジットレジン修復の臨床例を理解できる。 2. コンポジットレジンの利点が理解できる。 3. コンポジットレジン修復の欠点が理解できる。
9月4日(月) 2限	岡田伸男講師 (う蝕治療学)	国試重要項目の実力養成 2: 接着歯学 接着について理解し、自己解決できる。	1. 接着症例に対する診断・処置が理解できる。 2. 接着失敗症例について理解できる。
9月4日(月) 3限	志賀華絵助教 (う蝕治療学)	国試重要項目の実力養成 3: 臨床術式: 修復に必要な前処置, 補助法を極める 修復前処置、修復補助法の種類、使用法、目的について説明できるようになる。	1. 修復前処置の種類を説明できる。 2. 修復前処置の目的を説明できる。
9月4日(月) 4限	小林琢也准教授 (補綴・インプラント学)	一般問題対策① 知っておかなければいけない全部床義歯の基礎知識 義歯の設計・印象採得・作業用模型の作製・顎間関係の記録・咬合器装着と調整の目的と治療の流れを理解する。	1. 義歯の設計について説明できる。 2. 印象採得について説明できる。 3. 作業用模型の作製について説明できる。 4. 顎間関係の記録について説明できる。 5. フェイスボウトランスファーについて説明できる。 6. 咬合器装着と調整について説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
9月5日(火) 1,2限	佐々木大輔講師 (歯周療法学)	歯周病学応用力養成 歯周外科・再生療法について理解する。	1. 歯周外科治療を説明できる。 2. 再生療法を説明できる。
9月5日(火) 3限	岸光男教授 (予防歯科学)	感染症の予防 感染症の要因と予防法を理解する。	1. 感染症の成立要因と要因別予防手段を列挙できる。 2. 感染症法1-3類の感染症を列挙できる。 3. 定期予防接種を列挙できる。
9月5日(火) 4限	岸光男教授 (予防歯科学)	環境保健 環境の健康影響と対策を理解する。	1. 大気、水、温熱環境の健康影響を説明できる。 2. 環境基準項目を列挙できる。
9月6日(水) 1限	田邊憲昌講師 (補綴・インプラント学)	Cr. Br. の診療の流れと技工操作 クラウンブリッジにおける診療室と技工室の流れに関する知識を深め整理できる。	1. 講義を通して Cr. Br. に関連する知識を深め問題を解くことができるようになる。
9月6日(水) 2限	田邊憲昌講師 (補綴・インプラント学)	前装金属冠の種類と特徴 前装冠の種類と製作過程に関する知識を深め整理できる。	1. 講義を通して前装金属冠に関連する知識を深め問題を解くことができるようになる。
9月6日(水) 3限	志賀華絵助教 (う蝕治療学)	国試重要項目の実力養成 1：根管充填法、充填材料 根管充填の器材、手順について説明できるようになる。	1. 根管充填法の種類を列挙できる。 2. 根管充填材の所要性質を説明できる。 3. 根管充填の手順を説明できる。 4. 根管充填に使用する器具を列挙できる。 5. 根管充填の時期について説明できる。
9月6日(水) 4限	志賀華絵助教 (う蝕治療学)	国試重要項目の実力養成 2：根管充填後の治癒機転、コロナルリーケージ 根管充填後の根尖部治癒機転と臨床症状について説明できるようになる。	1. 根管充填後の根尖部の治癒について説明できる。 2. 根管充填後の予後評価について説明できる。 3. コロナルリーケージについて説明できる。
9月7日(木) 1限	千葉俊美教授 (関連医学)	高齢者への対応(身体的特徴、心理・社会的特徴、医療情報の収集、診察、評価)、認知症 高齢者への対応(身体的特徴、心理・社会的特徴、医療情報の収集、診察、評価)、認知症について理解する。	1. 高齢者への対応(身体的特徴、心理・社会的特徴、医療情報の収集、診察、評価)、認知症について理解し説明できる。
9月7日(木) 2限	武本真治教授 (医療工学)	義歯用材料 義歯床用材料とくにアクリルレジンについて学ぶ。	1. アクリルレジンの粉液成分と役割を説明できる。 2. 歯科臨床におけるアクリルレジンの重合方法の違いを説明できる。 3. アクリルレジンの加熱重合と常温重合の共通点と相違点を説明できる。 4. 加熱重合レジンと常温重合レジンの物性比較ができる。 5. 熱可塑性レジンの成分と特徴を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
9月7日(木) 3限	武本真治教授 (医療工学)	レジン成形技術・機器 アクリルレジンの重合ならびに熱可塑性レジンの成形法について学ぶ。	1. ラジカル付加重合反応の概要を説明できる。 2. 歯科臨床におけるアクリルレジンの重合方法の違いを説明できる。 3. 熱可塑性レジンの成形法を説明できる。
9月7日(木) 4限	武本真治教授 (医療工学)	歯の切削に用いる材料 歯の切削の基本原理と、用いる切削・研削工具と回転駆動装置を学ぶ。	1. 歯科用回転駆動装置の名称、構造と性能を説明できる。 2. 以下の材料を用いた切削工具と研削工具の種類と特徴を説明できる。 炭素鋼、タングステンカーバイド、ダイヤモンド、カーボランダム 3. 歯の切削時の注意点を説明できる。
9月8日(金) 1限	野村太郎講師 (補綴・インプラント学)	一般問題対策② 知っておかなければいけない全部床義歯の基礎知識 人工歯選択と排列・歯肉形成・ろう義歯試適・埋没重合・咬合調整・装着・患者指導の目的と治療の流れを理解する。	1. 人工歯選択と排列について説明できる。 2. ろう義歯試適について説明できる。 3. 埋没・重合について説明できる。 4. 咬合調整について説明できる。 5. 装着について説明できる。 6. 患者指導について説明できる。
9月8日(金) 2限	野村太郎講師 (補綴・インプラント学)	一般問題対策③ 知っておかなければいけない部分床義歯の基礎知識 構成要素とその役割・印象採得・サベイングの目的と治療の流れを理解する。	1. 義歯の構成要素について説明できる。 2. 印象採得について説明できる。 3. サベイングについて説明できる。 4. フレームワークについて説明できる。
9月8日(金) 3限	大平千之講師 (補綴・インプラント学)	クラウンブリッジ関連材料 クラウンブリッジに関する材料についての知識を深め整理できる。	1. 講義を通してクラウンブリッジに関連する材料の知識を深め、問題を解くことができるようになる。
9月8日(金) 4限	大平千之講師 (補綴・インプラント学)	接着ブリッジ 接着ブリッジに関する知識を深め整理できる。	1. 講義を通して CAD/CAM によるクラウン製作法に関連する知識を深め、問題を解くことができるようになる。
9月11日(月) 1限	田邊憲昌講師 (補綴・インプラント学)	ろう着 Br. の連結法 ブリッジの連結法(ろう付け)に関する知識を深め整理できる。	1. 講義を通して Br. のろう着に関連する知識を深め、問題を解くことができるようになる。
9月11日(月) 2限	田邊憲昌講師 (補綴・インプラント学)	CAD/CAM によるクラウン作製 CAD/CAM クラウン製作に関する基本的な知識を深め整理できる。	1. 講義を通して接着ブリッジに関連する知識を深め、問題を解くことができるようになる。
9月11日(月) 3,4限	八重柏隆教授 (歯周療法学)	歯周病学応用栄養養成 歯周外科・根分岐部病変について理解する。	1. 歯周外科治療を説明できる。 2. 根分岐部病変を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
9月12日(火) 1限	間山寿代講師 (歯科矯正学)	先天性疾患を伴う不正咬合の治療 口唇・口蓋裂に関する知識を強化できる。	1. 口唇・口蓋裂に関して理解を深め、同領域の問題を解くことができるようになる。
9月12日(火) 2限	間山寿代講師 (歯科矯正学)	歯数・形態異常・発語・構音等 歯数・形態異常・発語・構音等に関する知識を強化できる。	1. 歯数や形態・発語・構音に関して理解を深め、同領域の問題を解くことができるようになる。
9月12日(火) 3限	岸光男教授 (予防歯科学)	口腔の付着物 口腔の付着物を理解する。	1. 歯垢、歯石の形成機序と為害性を説明できる。
9月12日(火) 4限	阿部昌子准教授 (予防歯科学)	口腔ケア概論 口腔ケアの意義を理解する。	1. 口腔ケアの意義を概説できる。 2. 周術期の口腔症状を列挙できる。 3. 口腔カンジダ症について説明できる。
9月13日(水) 1限	野田守教授 (う蝕治療学)	マスター臨床実地 歯内療法臨床実地の解き方① 歯内療法の解き方を理解する。	1. 成人の歯内療法に関する臨床実地問題の解き方を説明できる。
9月13日(水) 2限	野田守教授 (う蝕治療学)	マスター臨床実地 歯内療法臨床実地の解き方②、「高齢者」の歯内療法、修復を極める 高齢者の歯内療法、修復学の臨床実地問題の解き方を理解する。	1. 高齢者の歯内療法、修復学に関する臨床実地問題の解き方を説明できる。
9月13日(水) 3限	長谷部智之助教 (う蝕治療学)	国試重要項目の実力養成 4 (フロアブル V.S. 通常のコンプोजット) フロアブルと通常のコンプोजットの材料学的比較と臨床での使い分けを理解する。	1. フロアブルと通常のコンプोजットの材料学的比較と臨床での使い分けを説明できる。
9月13日(水) 4限	長谷部智之助教 (う蝕治療学)	国試重要項目の実力養成 5 : CR インレー, セラミックインレー CR インレー, セラミックインレーの違いについて理解する。	1. CR インレー, セラミックインレーの窩洞形成、材料学的特徴、利点欠点、不快事項について説明できる。
9月14日(木) 1限	山田裕之助教 (歯科矯正学)	睡眠時無呼吸症候群 睡眠時無呼吸症候群に関する知識を強化できる。	1. 睡眠時無呼吸症候群について理解を深め、同領域の問題を解くことができるようになる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
9月14日(木) 2限	山田裕之助教 (歯科矯正学)	マルチブラケット装置 マルチブラケット装置に関する知識を強化できる。	1. マルチブラケット装置について理解を深め、同領域の問題を解くことができるようになる。 2. 矯正治療に必要な抜歯と固定の概念について理解を深め、同領域の問題を解くことができるようになる。
9月14日(木) 3限	武本真治教授 (医療工学)	補綴・修復物の研磨 補綴・修復物の研磨の概要を学ぶ。	1. 歯科臨床における切削・研磨材の種類と特徴を説明できる。 2. 補綴・修復物の研磨に用いる材料を説明できる。 3. 回転式研磨、サンドブラストと電解研磨の概要を説明できる。
9月14日(木) 4限	武本真治教授 (医療工学)	歯科材料・頻出問題への対応 歯科理工学の頻出問題に対応できるようになるために歯科材料の基本的知識を整理する。	1. 歯科理工学の頻出問題を解くための歯科材料の基本的知識について説明できる。
9月15日(金) 1限	藤井雅助教 (小児歯科学)	乳歯の感染根管治療と抜歯との鑑別Ⅰ 乳歯の感染根管治療と抜歯との鑑別を臨床に則して理解する。	1. 乳歯の感染根管治療を抜髄や断髄との対比において説明できるようになる。
9月15日(金) 2限	齊藤桂子助教 (小児歯科学)	乳歯の感染根管治療と抜歯との鑑別Ⅱ 乳歯の感染根管治療と抜歯との鑑別を臨床に則して理解する。	1. 乳歯の感染根管治療を抜歯の適応症との対比において説明できるようになる。
9月15日(金) 3限	丸谷由里子講師 (小児歯科学)	小児の歯の外傷 小児の歯の外傷を臨床に則して理解する。	1. 様々な小児の外傷の症例について、診査項目を列挙し、正しく診断できるようになる。 2. 様々な小児の外傷の症例について、適切な対応法を説明することができるようになる。
9月15日(金) 4限	野村太郎講師 (補綴・インプラント学)	一般問題対策④ 知っておかなければいけない部分床義歯の基礎知識 症例に応じた設計とその特徴・歯肉形成・ろう義歯試適・埋没重合・咬合調整・装着・患者指導の目的と治療の流れを理解する。	1. 人工歯選択と排列について説明できる。 2. ろう義歯試適について説明できる。 3. 埋没・重合について説明できる。 4. 咬合調整について説明できる。 5. 装着について説明できる。 6. 患者指導について説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
9月19日(火) 9:30~15:45		第4回全国模擬試験 (麻布111-1)	
9月20日(水) 9:30~15:45			
9月21日(木) 1,2限	伊東俊太郎助教 (歯周療法学)	歯周病学応用力養成 歯周基本治療についてさらに理解する。	1. 歯周基本治療について説明できる。
9月21日(木) 3限	飯塚康之助教 (歯科矯正学)	機能的矯正装置の適用前後の変化 機能的装置適用前後の変化に関する知識を強化できる。	1. 装置装着前後の変化について理解を深め、同領域の問題を解くことができるようになる。
9月21日(木) 4限	飯塚康之助教 (歯科矯正学)	器械的矯正装置の適用前後の変化 器械的装置適用前後の変化に関する知識を強化できる。	1. 装置装着前後の変化について理解を深め、同領域の問題を解くことができるようになる。
9月22日(金) 1限	齊藤桂子助教 (小児歯科学)	小児のエックス線診断Ⅰ 小児の齲蝕に関連したエックス線診断に習熟する。	1. 小児のデンタルエックス線写真から齲蝕の深度を歯髄処置との関連において説明できるようになる。
9月22日(金) 2限	齊藤桂子助教 (小児歯科学)	小児のエックス線診断Ⅱ 小児の歯の発生、発育に関連したエックス線診断に習熟する。	1. 小児のパノラマエックス線写真から歯の先天欠如、萌出予測などを、臨床的な観点から説明できるようになる。
9月22日(金) 3限	藤井雅助教 (小児歯科学)	心身の発達 小児の心身の発達をより臨床に則して理解する。	1. 小児の精神発達について年齢と小児歯科臨床での対応法とのかかわりにおいて説明できるようになる。
9月22日(金) 4限	小林琢也准教授 (補綴・インプラント学)	一般問題対策⑤ 診察用器具とその使い方 有床義歯治療に用いる診察用器具とその使い方と手順を理解する。	1. 有床義歯治療で用いる診察用器具を説明できる。 2. 有床義歯治療で用いる診察用器具の使い方を説明できる。 3. 有床義歯治療で用いる診察用器具の使用手順を説明できる。
9月25日(月) 1,2限	小豆島正典教授 (歯科放射線学)	放射線基礎1 放射線の種類と性質、放射線生物学・防護に関する知識を再確認する。	1. 放射線に関連する以下の領域のうち、総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試験等の結果から明らかになった弱点を克服する。 放射線の種類と性質、放射線生物学と放射線防護
9月25日(月) 3限	飯島伸助教 (口腔外科学)	奇形・変形症 先天性・後天性異常の概念、成因、発生との関連について理解し、知識を習得する。	1. 先天異常・後天異常の概念と成因について説明できる。手術法を説明できる。 2. 顎変形症の治療法を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
9月25日(月) 4限	阿部亮輔助教 (口腔外科学)	炎症 顎口腔領域における炎症に関する知識を習得する。	1. 歯槽骨炎と顎骨炎の病態、症状、診断、治療について説明できる。 2. 顎骨骨髓炎の分類について説明できる。
9月26日(火) 1限	宮本郁也准教授 (口腔外科学)	血液疾患 血液疾患・出血性素因に関する知識を習得する。	1. 血液疾患の病態、症状、診断、治療について説明できる。
9月26日(火) 2限	宮本郁也准教授 (口腔外科学)	損傷 顎口腔領域における損傷に関する知識を習得する。	1. 顎口腔領域における外傷全般の病態、症状、診断、治療について説明できる。
9月26日(火) 3限	岸光男教授 (予防歯科学)	代用甘味料 代用甘味料の種類と使用目的を理解する。	1. 甘味料の種類を列挙できる。 2. 砂糖代用甘味料を列挙できる。
9月26日(火) 4限	岸光男教授 (予防歯科学)	薬事関連法規 薬事関連法規を体系的に理解する。	1. 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律が定める項目を列挙できる。 2. 歯科領域の医薬品、医薬部外品、医療機器を列挙できる。 3. 治験とGCPについて概説できる。 4. 薬剤師法を概説できる。
9月27日(水) 1限	山田浩之教授 (口腔外科学)	歯原性腫瘍 歯原性腫瘍の種類を把握し、発生病因、臨床症状、病理組織像、診断、治療法を習得する。	1. 歯原性腫瘍の特徴と症状、治療法を説明できる。 2. 術式の選択基準、合併症について説明できる。
9月27日(水) 2限	山田浩之教授 (口腔外科学)	非歯原性良性腫瘍 腫瘍類似疾患 非歯原性良性腫瘍、腫瘍類似疾患の種類を把握し、発生病因、臨床症状、病理組織像、診断、治療法を習得する。	1. 非歯原性腫瘍の特徴と症状、治療法を説明できる。 2. 術式の選択基準、合併症について説明できる。
9月27日(水) 3限	櫻井秀人助教 (う蝕治療学)	国試重要項目の実力養成 6：酸蝕症、齶蝕以外の硬組織疾患 酸蝕症、齶蝕以外の硬組織疾患の重要事項を理解する。	1. 非齶蝕性硬組織疾患の種類を説明できる。 2. 非齶蝕性硬組織疾患の原因を説明できる。 3. 非齶蝕性硬組織疾患の治療法を説明できる。
9月27日(水) 4限	櫻井秀人助教 (う蝕治療学)	セメント（充填用&合着用） セメントの重要事項を理解する。	1. 充填用セメントの種類を説明できる。 2. 充填用セメントの性質を説明できる。 3. 充填用セメントの使用法を説明できる。 4. 合着用セメントの種類を説明できる。 5. 合着用セメントの性質を説明できる。 6. 合着用セメントの使用法を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
9月28日(木) 1限	浅野明子講師 (う蝕治療学)	国試重要項目の実力養成 3：知覚過敏&歯内と修復 の消毒滅菌 知覚過敏、歯内と修復の消毒滅菌に関連する知識・治療法を理解し、国家試験問題を解くことができる。	1. 知覚過敏の病態について説明できる。 2. 知覚過敏の処置法について説明できる。 3. 知覚過敏の治療薬の作用機序について説明できる。 4. スタンダードプレコーションについて説明できる。 5. 歯内・修復治療で用いる機器・器材についての消毒・滅菌法について説明できる。
9月28日(木) 2限	岡田伸男講師 (う蝕治療学)	国試重要項目の実力養成 4：直接覆髄法、断髄法、 AIPC法、IPC法と歯内療法 に使用する薬剤 歯髄炎の症例における診断と処置が理解できる。	1. 歯髄温存療法と抜髄の違いを理解する。 2. 歯髄温存療法の種類と適応を説明できる。 3. 歯髄温存療法における治療経過を理解できる。
9月28日(木) 3限	岡田伸男講師 (う蝕治療学)	国試重要項目の実力養成 5：根管拡大&NiTiファイル 総まとめ 種々の根管拡大法・根管洗浄が説明できるようになる。	1. 根管拡大を説明することができる。 2. 彎曲根管の拡大法について説明できる。 3. 根管洗浄・消毒について説明できる。 4. 内容物検査が理解できる。 5. Ni-Ti ロータリーファイルが説明できる。
9月28日(木) 4限	小豆島正典教授 (歯科放射線学)	放射線基礎2 X線発生装置に関する知識を再確認する。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試験等の結果から明らかになった以下の弱点項目を克服する。 X線発生装置
9月29日(金) 1限	丸谷由里子講師 (小児歯科学)	静的咬合誘導 小児の歯の早期喪失に対する臨床的な対応法を具体的に理解する。	1. 小児の歯の早期喪失の原因と状況を説明できるようになる。 2. 小児の歯の早期喪失に対する的確な処置を症例に応じて列挙できるようになる。
9月29日(金) 2限	丸谷由里子講師 (小児歯科学)	歯髄処置 小児の齲蝕が歯髄処置に移行する過程を臨床的に理解する。	1. 乳歯・幼若永久歯の歯髄炎の鑑別診断を症例に応じて説明できるようになる。 2. 乳歯の幼若永久歯の歯周炎の鑑別診断を症例に応じて説明できるようになる。 3. 乳歯・幼若永久歯の歯髄処置法について、臨床に則して説明できるようになる。
9月29日(金) 3限	齊藤桂子助教 (小児歯科学)	小児歯科治療で用いる器具のすべて 小児歯科臨床における各種器具を理解する。	1. 小児歯科治療で用いる器具について、使用目的、使用方法、選択法について説明できるようになる。
9月29日(金) 4限	佐藤健一教授 (歯科麻酔学)	全身麻酔・精神鎮静法の要点と弱点 全身麻酔及び鎮静法で使用する器具を理解する。	1. 全身麻酔で使用する器具を説明できる。 2. 気管挿管の適応、手技を説明できる。 3. 笑気吸入鎮静法で使用する器具を説明できる。 4. 静脈内鎮静法で使用する器具を説明できる。
10月2日(月) 1限	佐藤泰生講師 (口腔病理学)	口腔粘膜疾患のまとめ 口腔粘膜疾患の病理所見や発症機序について理解する。	1. 口腔粘膜疾患について病理学的に理解する。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
10月2日(月) 2限	三上俊成准教授 (口腔病理学)	口腔粘膜疾患の臨床関連領域(1) 病理組織像をみながら、口腔粘膜疾患の臨床病態を理解する。	1. 腫瘍の病理組織像から、口腔粘膜疾患(白色病変、自己免疫疾患、色素沈着)の臨床病態を説明できるようになる。
10月2日(月) 3限	古城慎太郎助教 (口腔外科学)	癌の放射線療法、化学療法 顎顔面口腔領域に発生する悪性腫瘍に対する放射線併用化学療法の種類、適応について習得する。	1. 悪性腫瘍の化学療法について概説する。 2. 口腔悪性腫瘍に使用する化学療法薬を列挙する。 3. 放射線併用動注化学療法を説明する。 4. 化学療法薬の副作用を説明する。 5. 放射線治療における副作用について説明する。 6. 治療患者の口腔内管理、疼痛管理について説明する。
10月2日(月) 4限	大橋祐生助教 (口腔外科学)	癌の外科療法 顎顔面口腔領域に発生する悪性腫瘍に対する手術及び再建術の種類、適応、術式について習得する。	1. 悪性腫瘍に対する治療の基本を説明できる。 2. 頸部郭清術の術式を説明できる。 3. 皮弁による再建術について説明できる
10月3日(火) 1限	城茂治教授 玉田泰嗣助教 (摂食嚥下口腔リハビリテーション学)	高齢者に対する治療 高齢者の特徴について理解する。	1. 高齢者の生理的、心理的および行動的特徴を説明できる。 2. 高齢者に多くみられる疾患と摂食嚥下障害の原因疾患について説明できる。
10月3日(火) 2限	岸光男教授 (予防歯科学)	歯科疾患のリスク指標 歯科疾患のリスク指標を理解する。	1. う蝕リスクテストを列挙できる。 2. う蝕リスクテストの原理を説明できる。 3. 歯周病のリスクテストを列挙できる。
10月3日(火) 3限	岸光男教授 (予防歯科学)	EBM(根拠に基づいた医療) EBMを理解し、歯科疾患の治療・予防に適用する。	1. EBMを概説できる。 2. 診療ガイドラインの意義を概説できる。 3. 根拠ある歯科疾患予防法を列挙できる。
10月3日(火) 4限	岸光男教授 (予防歯科学)	基礎統計 基礎統計手法を理解する。	1. 基礎統計量を列挙できる。 2. 提示されたデータから適切な統計解析法を選択できる。
10月4日(水) 1,2限	小豆島正典教授 (歯科放射線学)	放射線基礎3 X線撮影法、MRIによる画像診断に関する知識を再確認する。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試験等の結果から明らかになった以下の弱点項目を克服する。 X線撮影法、MRI撮影
10月4日(水) 3限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	プライバシー・羞恥心・苦痛への配慮 安心して受診できる環境を整えることができるようになるために、患者のプライバシー、羞恥心、苦痛への配慮できるようになる。	1. 患者のプライバシーへの配慮について説明できる。 2. 患者の羞恥心への配慮について説明できる。 3. 患者の苦痛への配慮について説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
10月4日(水) 4限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	チーム医療・他職種連携・リーダーシップ チーム医療を行うために多職種連携、リーダーシップについて理解する。	1. チーム医療について説明できる。 2. 他職種連携について説明できる。 3. チーム医療におけるリーダーシップについて説明できる。
10月5日(木) 1限	遠藤千恵講師 (歯科麻酔学)	救急蘇生法の要点と弱点 救急蘇生法(BLS)を理解する。	1. 1次救命処置で使用する器具を説明できる。 2. 自動体外式除細動器の適応を説明できる。 3. 心電図を説明できる。
10月5日(木) 2限	遠藤千恵講師 (歯科麻酔学)	周術期管理の要点と弱点 呼吸及び循環管理を理解する。	1. 呼吸のモニタリングを説明できる。 2. 術中・術後の呼吸管理を説明できる。 3. 循環のモニタリングを説明できる。 4. 術中・術後の循環管理を説明できる。
10月5日(木) 3限	成田欣弥講師 (病態生理学)	口腔感覚のポイント復習 口腔感覚のポイントを理解する。	1. 口腔感覚について体系的に説明できる。
10月5日(木) 4限	成田欣弥講師 (病態生理学)	口腔機能のポイント復習 口腔機能のポイントを理解する。	1. 口腔機能について体系的に説明できる。
10月6日(金) 1限	山田浩之教授 (口腔外科学)	唾液腺腫瘍 唾液腺腫瘍の症状、診断および治療法を習得する。	1. 唾液腺腫瘍の種類と特徴を説明できる。 2. 唾液腺腫瘍の症状、検査および治療法を説明できる。 3. 唾液腺の腫瘍性病変(良性腫瘍と悪性腫瘍)の病理組織所見を説明できる。
10月6日(金) 2限	熊谷章子准教授 (法歯学・災害口腔医学)	口腔乾燥症 口腔乾燥をきたす疾患とその症状、診断および治療法を習得する。	1. 口腔乾燥症の診断に必要な検査および治療について概説できる。 2. 口腔乾燥に関連する疾患と病態およびその対処法について説明できる。
10月6日(金) 3限	熊谷章子准教授 (法歯学・災害口腔医学)	顎関節・神経疾患 神経疾患の症状、診断および治療法を習得する。	1. 顎顔面領域の疼痛の種類を列挙できる。 2. 顎関節症について説明できる。 3. 三叉神経痛の概念、症状および治療法について説明できる。 4. 神経麻痺の特徴、症状および治療法を説明できる。
10月6日(金) 4限	三上俊成准教授 (口腔病理学)	口腔粘膜疾患の臨床関連領域(2) 病理組織像をみながら、口腔粘膜疾患の臨床病態を理解する。	1. 腫瘍の病理組織像から、口腔粘膜疾患(白色病変、自己免疫疾患、色素沈着)の臨床病態を説明できるようになる。
10月7日(土) 8:50~12:00		第5回全国模擬試験(必修模試1)	

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
10月10日 (火) 1限	千葉俊美教授 (関連医学)	高頻度にみられる全身疾患・症状、要介護の原因疾患 高頻度にみられる全身疾患・症状、要介護の原因疾患について理解する。	1. 高頻度にみられる全身疾患・症状、要介護の原因疾患について理解し説明できる。
10月10日 (火) 2限	千葉俊美教授 (関連医学)	個体の死、医療事故 個体の死、医療事故について理解を深める。	1. 個体の死、医療事故について理解を深め説明できる。
10月10日 (火) 3, 4限	久慈准教授 (障害者歯科)	症候群 症候群の基礎知識を身につける。	1. 症候群についての知識を整理し、説明できる。
10月11日 (水) 1限	佐藤雅仁准教授 (歯科麻酔学)	有病者歯科の要点と弱点 全身疾患を有する患者の歯科治療時の管理法を理解する。	1. 虚血性心疾患患者の歯科治療時の管理法を説明できる。 2. 心臓弁膜疾患患者の歯科治療時の管理法を説明できる。 3. 糖尿病患者の歯科治療時の問題点を列挙し、管理法を説明できる。 4. 透析患者の歯科治療時の問題点を列挙し、管理法を説明できる。
10月11日 (水) 2限	佐藤雅仁准教授 (歯科麻酔学)	歯科治療時の全身的偶発症とペインクリニックの要点と弱点 局所麻酔時の全身的偶発症とペインクリニックを理解する。	1. 局所麻酔時の全身的偶発症を列挙し、その対処法を説明できる。 2. 三叉神経痛の病態、症状及びその治療法を説明できる。 3. 治療に使用する薬物の薬理作用を説明できる。 4. 星状神経節ブロックの適応、方法及び合併症を説明できる。
10月11日 (水) 3限	山谷元気助教 (口腔外科学)	前癌病変・粘膜疾患 口腔領域に発生する前癌病変に関する知識を習得する。	1. 前癌病変の概念を説明する。 2. 粘膜疾患の種類を列挙する。 3. 前癌病変・粘膜疾患全般の診断と治療法について説明する。
10月11日 (水) 4限	宮本郁也准教授 (口腔外科学)	嚢胞 口腔顎顔面領域に発生する嚢胞の分類、発生病因、診断、治療法を習得する。	1. 顎骨および軟組織に発生する嚢胞を分類し、それぞれの発生病因と臨床症状、画像検査所見、病理組織所見を述べ、治療法を概説する。 2. 嚢胞に対する手術法および器具の種類を列挙し用法を説明する。
10月12日 (木) 1限	城茂治教授 玉田泰嗣助教 (摂食嚥下口腔リハビリテーション学)	口腔機能低下と口腔管理 口腔機能低下への対応について理解する。	1. 口腔機能低下の検査と予防法を説明できる。 2. 高齢者における口腔管理の用具と処置について説明できる。
10月12日 (木) 2限	城茂治教授 玉田泰嗣助教 (摂食嚥下口腔リハビリテーション学)	高齢ハイリスク患者への治療 ハイリスク高齢者に対する治療と介護者への対応を理解する。	1. 高齢者に対する基本的な対応ができる。 2. 介護者に対して基本的な対応ができる。 3. 治療時における高齢者に対する緊急時の対応を理解している。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
10月12日 (木) 3限	近藤尚知教授 (補綴・インプラ ント学)	インプラント外科 総論 インプラントの外科術式 を理解する。	1. インプラントに必要な診察と検査、診断を 説明できる。 2. インプラントの外科術式を説明できる。
10月12日 (木) 4限	近藤尚知教授 (補綴・インプラ ント学)	インプラント補綴 総論 インプラントの補綴術式 を理解する。	1. インプラントの上部構造の印象採得と咬 合採得について説明できる。 2. インプラントの上部構造の製作手順と装 着方法について説明できる。
10月16日 (月) 9:30～15:45 10月17日 (火) 9:30～15:40		第2回総合試験	

講義日程【C講義（10月24日～12月8日）】

復習試験：8：50～9：20、1限：9：30～10：35、2限：10：45～11：50、

3限：12：50～13：55、4限：14：05～15：10、5限：15：20～16：25

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
10月24日 (火) 1限	小林琢也准教授 (補綴・インプラント学)	臨床実地対策① こうやって解く！全部床義歯の臨床問題 全部床義歯症例への治療法と問題に対する対応を理解する。	1. 症例に対する治療法を説明できる。 2. 症例の問題点を説明できる。 3. 症例の問題点への対応方法を説明できる。
10月24日 (火) 2限	小林琢也准教授 (補綴・インプラント学)	臨床実地対策② こうやって解く！部分床義歯の臨床問題 部分床義歯症例への治療法と問題に対する対応を理解する。	1. 症例に対する治療法を説明できる。 2. 症例の問題点を説明できる。 3. 症例の問題点への対応方法を説明できる。
10月24日 (火) 3限	南健太郎助教 (予防歯科学)	計算問題演習1 種々の計算問題に対応する。	1. 様々な疫学指標を算出できる。 2. リスク指標を算出できる。
10月24日 (火) 4限	南健太郎助教 (予防歯科学)	計算問題演習2 種々の計算問題に対応する。	1. フッ化物の急性中毒量を算出できる。 2. 人口統計指標を算出できる。
10月25日 (水) 1限	小林琢也准教授 (補綴・インプラント学)	臨床実地対策③ 通常の義歯とはちょっと違った方法で作る義歯 通常の義歯製作ステップで行わない手技を理解する。	1. パラトグラムについて説明できる。 2. ニュートラルゾーンテクニックについて説明できる。 3. フレンジテクニックについて説明できる。 4. ピエゾグラフィーについて説明できる。 5. オルタードキャストについて説明できる。
10月25日 (水) 2限	小林琢也准教授 (補綴・インプラント学)	一般対策① 一般問題に頻出する基礎的知識の整理 (概論～精密印象採得) 義歯製作に必要な基礎的知識を理解する。	1. 概形印象から精密印象までのステップを説明できる。
10月25日 (水) 3限	野村太郎講師 (補綴・インプラント学)	一般対策② 一般問題に頻出する基礎的知識の整理 (咬合採得～義歯装着) 義歯製作に必要な基礎的知識を理解する。	1. 咬合採得から義歯装着までのステップを説明できる。
10月25日 (水) 4限	城茂治教授 玉田泰嗣助教 (摂食嚥下口腔リハビリテーション学)	直前対策訪問歯科診療・摂食嚥下リハビリテーションの要点 訪問歯科診療、摂食嚥下リハビリテーションに関する基本的事項を整理する。	1. 訪問歯科診療に必要な診察と検査、診断、診療上の注意点について説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
10月26日 (木) 1限	熊谷章子准教授 (法歯学・災害口 腔医学)	災害時歯科医療 災害時の歯科医師の役割 について理解する。	1. 平時と災害時の医療の違いを説明できる。 2. 災害時トリアージを説明できる。 3. 災害発生時の歯科医師の役割を説明できる。 4. 多職種による災害時対応の意義を説明できる。
10月26日 (木) 2限	熊谷章子准教授 (法歯学・災害口 腔医学)	歯科的個人識別 歯科的個人識別の意義を 理解する。	1. 歯科的個人識別方法を説明できる。 2. 年齢推定法を説明できる。 3. 災害犠牲者に対する歯科医師の役割を説明できる。 4. 身元確認に関する法律を説明できる。 5. 死後変化を説明できる。
10月26日 (木) 3限	近藤尚知教授 (補綴・インプラ ント学)	直前対策口腔インプラ ント要点(外科) インプラントの外科術式 を理解する。	1. インプラントに必要な診察と検査、診断を 説明できる。 2. インプラントの外科術式と必要な器具に ついて説明できる。
10月26日 (木) 4限	近藤尚知教授 (補綴・インプラ ント学)	直前対策口腔インプラ ント要点(補綴・合併症) インプラントの補綴術 式・合併症を理解する。	1. インプラントの上部構造の印象採得と咬 合採得について説明できる。 2. インプラントの上部構造の製作手順、装着 方法、必要な器具について説明できる。 3. インプラントの合併症について説明でき る。
10月27日 (金) 1限	武本真治教授 (医療工学)	歯科理工学-苦手克服のた めの復習講義① 歯科材料の基本的知識を 整理する。	1. 歯科材料の基本的知識について説明でき る。
10月27日 (金) 2限	武本真治教授 (医療工学)	歯科理工学-苦手克服のた めの復習講義② 歯科材料の基本的知識を 整理する。	1. 歯科材料の基本的知識について説明でき る。
10月27日 (金) 3限	田邊憲昌講師 (補綴・インプラ ント学)	弱点領域の強化 クラウンブリッジ補綴学 領域について知識を強化 できる。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試 験等の結果から見えてきたクラウンブリ ッジ補綴学領域に関する理解が不十分な 領域を説明し、強化することができる。
10月27日 (金) 4限	田邊憲昌講師 (補綴・インプラ ント学)	弱点領域の強化 クラウンブリッジ補綴学 クラウンブリッジ領域に ついて知識を強化できる。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試 験等の結果から見えてきたクラウンブリ ッジ補綴学領域に関する理解が不十分な 領域を説明し、強化することができる。
10月28日 (土) 1限	斎藤裕美子助教 (補綴・インプラ ント学)	弱点領域の強化 クラウンブリッジ補綴学 クラウンブリッジ領域に ついて知識を強化できる。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試 験等の結果から見えてきたクラウンブリ ッジ補綴学領域に関する理解が不十分な 領域を説明し、強化することができる。
10月28日 (土) 2限	斎藤裕美子助教 (補綴・インプラ ント学)	弱点領域の強化 クラウンブリッジ補綴学 クラウンブリッジ領域に ついて知識を強化できる。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試 験等の結果から見えてきたクラウンブリ ッジ補綴学領域に関する理解が不十分な 領域を説明し、強化することができる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
10月30日 (月) 9:30~15:45 10月31日 (火) 9:30~15:45		第6回全国模擬試験(麻布111-2)	
11月1日(水) 1限	小林琢也准教授 (補綴・インプラント学)	必修対策 (人体の加齢変化) 義歯製作に必要な基礎的知識を理解する。	1. 口腔機能の加齢変化について説明できる。
11月1日(水) 2限	小林琢也准教授 (補綴・インプラント学)	必修対策 (治療の基礎・基本手技) 義歯製作に必要な基礎的知識を理解する。	1. 義歯製作の基本手技を説明できる。
11月1日(水) 3限	田邊憲昌講師 (補綴・インプラント学)	弱点領域の強化 クラウンブリッジ補綴学領域について知識を強化できる。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試験等の結果から見えてきたクラウンブリッジ補綴学領域に関する理解が不十分な領域を説明し、強化することができる。
11月1日(水) 4限	田邊憲昌講師 (補綴・インプラント学)	弱点領域の強化 クラウンブリッジ補綴学領域について知識を強化できる。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試験等の結果から見えてきたクラウンブリッジ補綴学領域に関する理解が不十分な領域を説明し、強化することができる。
11月2日(木) 2限	山田浩之教授 (口腔外科学)	良性腫瘍 歯源性腫瘍の種類を把握し、発生病因、臨床症状、病理組織像、診断、治療法を習得する。	1. 一般・臨床実地問題を確実に答えることができる。
11月2日(木) 3限	山田浩之教授 (口腔外科学)	悪性腫瘍 悪性腫瘍の種類を把握し、発生病因、臨床症状、病理組織像、診断、治療法を習得する。	1. 一般・臨床実地問題を確実に答えることができる。
11月2日(木) 4限	飯島伸助教 (口腔外科学)	奇形・変形症 先天性・後天性異常の概念、成因、発生との関連について理解し、知識を習得する。	1. 一般・臨床実地問題を確実に答えることができる。
11月4日(土) 8:50~12:00		必修再試験	

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
11月6日(月) 1,2限	村井治助教 (歯周療法学)	歯周病学まとめ(弱点領域の強化) 歯周外科、分岐部病変他について理解する。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試験等の結果をもとに、歯周病学に関する理解が不十分な領域の知識をまとめることができる。 2. 歯周外科、分岐部病変他について説明できる。
11月6日(月) 3限	原田英光教授 (発生生物・再生医学)	基礎から見た臨床問題を考える 臨床的所見や病態を正常組織と関連付けて説明できるようにする。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試験等の結果から見えてきた口腔組織・発生学領域と臨床的所見との関連問題について理解を整理し、学修の要点をまとめることができる。
11月6日(月) 4限	藤原尚樹准教授 (発生生物・再生医学)	口腔組織・発生学の弱点領域の強化 口腔組織・発生学領域について自分自身の理解不足の領域を認識できるようになる。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試験等の結果から見えてきた口腔組織・発生学領域に関する理解が不十分な領域を自分自身で認識でき、学修の要点をまとめることができる。
11月7日(火) 1限	原総一郎助教 (補綴・インプラント学)	一般・臨実対策① 顎義歯による治療目的と術式を理解する。	1. 顎義歯の治療目標を説明できる。 2. 顎義歯の形状について説明できる
11月7日(火) 2限	野村太郎講師 (補綴・インプラント学)	一般・臨実対策② 義歯修理 義歯の破損に対する対応を理科する。	1. 義歯修理について説明できる 2. 義歯修理の手順について説明できる。
11月7日(火) 3限	南健太郎助教 (予防歯科学)	計算問題演習2 種々の計算問題に対応する。	1. フッ化物の急性中毒量を算出できる。 2. 人口統計指標を算出できる。
11月7日(火) 4限	南健太郎助教 (予防歯科学)	業者模試解説1 過去の試験から知識をフィードバックする。	1. 業者模試を振り返り知識を再確認できる。
11月8日(水) 1,2限	岡田伸男講師 (う蝕治療学)	歯内の弱点強化 歯内領域問題の弱点部分を抽出した上で理解する。	1. 歯内療法領域の知識の不足している部分を抽出できる。 2. 歯内療法領域の知識の不足している部分を説明できる。
11月8日(水) 3,4限	高橋徳明助教 (歯科放射線学)	画像診断の弱点補強1 パノラマ正常解剖とCT、MRI正常解剖の知識を補強する。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試験等の結果から明らかになった以下の弱点項目を克服する。 パノラマ正常解剖、CT、MRI正常解剖
11月9日(木) 1限	水川卓磨助教 (歯科矯正学)	必修・一般問題① 弱点強化 必修・一般試験問題に関する知識を強化できる。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試験等の結果から見えてきた理解が不十分な領域を説明し、強化することができる。
11月9日(木) 2限	水川卓磨助教 (歯科矯正学)	必修・一般問題② 弱点強化 必修・一般試験問題に関する知識を強化できる。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試験等の結果から見えてきた理解が不十分な領域を説明し、強化することができる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
11月9日(木) 3限	安藤禎紀講師 (機能形態学)	内臓学(舌・口蓋・咽頭) 咀嚼・嚥下の関連分野の弱点領域を再確認し、解剖学的な動きを総合的に理解する。	1. 口蓋の構造を硬口蓋、軟口蓋に分けて説明できる。 2. 舌筋を内舌筋と外舌筋に分けてその機能を説明できる。 3. 嚥下に関与する筋をステージごとに説明できる。
11月9日(木) 4限	安藤禎紀講師 (機能形態学)	唾液腺を中心に神経学 唾液腺の神経支配の弱点を再確認し、特に交感性支配と副交感性支配を総合的に理解する。	1. 3大唾液腺の交感神経・副交感神経支配の経路を説明できる。 2. 小唾液腺の交感神経・副交感神経支配を説明できる。
11月10日 (金) 1限	志賀華絵助教 (う蝕治療学)	MIに基づいた修復法を極める① MI(ミニマルインターベンション)について説明できるようになる。	1. MIで提唱する修復方法について説明できる。 2. 補修修復について説明できるようになる。 3. ART(非侵襲性修復技法)について説明できる
11月10日 (金) 2限	志賀華絵助教 (う蝕治療学)	MIに基づいた修復法を極める② MIに基づいた修復法を臨床例から学び、G.V Blackの窩洞形態との違いを説明できるようになる。	1. G.V Blackの窩洞と接着修復の窩洞形態の違いを説明できる。
11月10日 (金) 3限	武本真治教授 (医療工学)	歯科理工学-必修に必要な基礎知識の再確認① 歯科材料の基本的知識を整理する。	1. 歯科材料の基本的知識について説明できる。
11月10日 (金) 4限	武本真治教授 (医療工学)	歯科理工学-必修に必要な基礎知識の再確認② 歯科材料の基本的知識を整理する。	1. 歯科材料の基本的知識について説明できる。
11月13日 (月) 1,2限	泉澤充講師 (歯科放射線学)	画像診断の弱点補強2 歯原性腫瘍・嚢胞と骨系統疾患の画像診断法を補強する。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試験等の結果から明らかになった以下の弱点項目を克服する。 歯原性腫瘍・嚢胞と骨系統疾患の画像診断
11月13日 (月) 3限	成田欣弥講師 (病態生理学)	生理学の苦手範囲克服 生理学の苦手範囲の内容を理解する。	1. 総合試験・模擬試験で正答率が低かった問題について説明できる。
11月13日 (月) 4限	成田欣弥講師 (病態生理学)	生理学の必修対策 生理学領域の必修問題について理解する。	1. 過去の試験解説を通して生理学領域の必修問題を解くことができるようになる。
11月14日 (火) 1限	千葉俊美教授 (関連医学)	血液検査の読み方 血液検査の読み方について理解する。	1. 血液検査の読み方を理解し説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
11月14日 (火) 2限	千葉俊美教授 (関連医学)	高齢者に多い留意すべき全身疾患 循環器・脳血管疾患・消化器・呼吸器疾患について理解する。	1. 高齢者に多い留意すべき全身疾患のうち、循環器・脳血管疾患・消化器・呼吸器疾患について理解し説明できる。
11月14日 (火) 3限	岸光男教授 (予防歯科学)	口腔衛生弱点強化1 口腔衛生学関連の知識を強化する。	1. 口腔衛生学分野の知識を補強し、自らにフィードバックできる。
11月14日 (火) 4限	岸光男教授 (予防歯科学)	口腔衛生弱点強化2 口腔衛生学関連の知識を強化する。	1. 口腔衛生学分野の知識を補強し、自らにフィードバックできる。
11月15日 (水) 1, 2, 3限	野田守教授 (う蝕治療学)	弱点強化：歯髄疾患、根尖性歯周疾患の診断から治療まで①②③ 歯髄疾患、根尖性歯周疾患の診断、治療方を理解する。	1. 歯髄疾患、根尖性歯周疾患の診断を説明できる。 2. 歯髄疾患、根尖性歯周疾患の治療法を説明できる。
11月15日 (水) 4限	岡田伸男講師 (う蝕治療学)	歯内の禁忌対策、必修&高正答率一般問題強化① 歯内領域問題の高正答範囲を抽出し、認識を再確認する。	1. 解説を通して歯内領域の高正答問題を解くことができ確認認識することができる。
11月16日 (木) 1限	阿部亮輔助教 (口腔外科学)	炎症 顎口腔領域における炎症に関する知識を習得する。	1. 一般・臨床実地問題を確実に答えることができる。
11月16日 (木) 2限	宮本郁也准教授 (口腔外科学)	嚢胞 顎口腔領域における嚢胞に関する知識を習得する。	1. 一般・臨床実地問題を確実に答えることができる。
11月16日 (木) 3限	山谷元気助教 (口腔外科学)	粘膜疾患 顎口腔領域における粘膜疾患に関する知識を習得する。	1. 一般・臨床実地問題を確実に答えることができる。
11月16日 (木) 4限	安藤禎紀講師 (機能形態学)	歯の解剖 歯の形態に関する弱点歯種を再確認し、それぞれの形態から歯種ごとの機能を説明できる。	1. 永久歯の歯種ごとの基本形態を説明できる。 2. 乳歯の歯種ごとの基本形態を説明できる。 3. 歯の基本形態から歯種ごとの機能を説明できる。
11月17日 (金) 1, 2限	滝沢尚希助教 (歯周療法学)	歯周病学まとめ(弱点領域の強化) 診査・診断・歯周基本治療を理解する。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試験等の結果をもとに、歯周病学に関する理解が不十分な領域の知識をまとめることができる。 2. 診査・診断・歯周基本治療について説明できる。
11月17日 (金) 3, 4限	田村晴希講師 (病態制御学)	薬理学必修強化・禁忌対策 薬理学・臨床薬理学領域全般について知識を強化し、理解を深める。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試験などの結果から見えてきた薬理学・臨床薬理学領域に関する理解が不十分な領域を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
11月20日 (月) 1限	間山寿代講師 (歯科矯正学)	臨床実地① 弱点強化 可撤式装置に関する臨床 実地問題について知識を 強化できる。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試 験等の結果から見えてきた理解が不十分 な領域を説明し、強化することができる。
11月20日 (月) 2限	間山寿代講師 (歯科矯正学)	臨床実地② 弱点強化 固定式装置に関する臨床 実地問題について知識を 強化できる。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試 験等の結果から見えてきた理解が不十分 な領域を説明し、強化することができる。
11月20日 (月) 3限	帖佐直幸講師 (細胞情報科学)	弱点領域の強化 生化学領域について知識 を強化できる。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試 験等の結果から見えてきた生化学領域に 関する理解が不十分な領域を説明し、強化 することができる。
11月20日 (月) 4限	帖佐直幸講師 (細胞情報科学)	弱点領域の強化 生化学領域について知識 を強化できる。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試 験等の結果から見えてきた生化学領域に 関する理解が不十分な領域を説明し、強化 することができる。
11月21日 (火) 1限	齊藤桂子助教 (小児歯科学)	小児歯科実力テスト60 問 これまでの講義内容の理 解度を自己診断する。	1. 小児歯科学のすべての範囲を網羅する試 験を行い自分の理解不足の項目を列挙で きるようになる。
11月21日 (火) 2限	齊藤桂子助教 (小児歯科学)	保隙の基準と装置選択 小児の保隙を行う際の診 断基準と装置の選択基準 を理解する。	1. 保隙を行う際の診断基準を症例に応じて 説明できるようになる。 2. 診断に基づいた適切な保隙装置の選択法 を、症例に応じて説明できるようになる。
11月21日 (火) 3限	岸光男教授 (予防歯科学)	社会歯科まとめ1 社会歯科学関連の知識を 強化する。	1. 社会歯科学分野の知識を補強し、自らにフ ィードバックできる。
11月21日 (火) 4限	岸光男教授 (予防歯科学)	社会歯科まとめ1 社会歯科学関連の知識を 強化する。	1. 社会歯科学分野の知識を補強し、自らにフ ィードバックできる。
11月22日 (水) 1,2限	野田守教授 (う蝕治療学)	コンポジットレジン修復 の手順, 器具を極める ① ② 頻出領域であるコンポジ ット修復の手順と使用す る器具、補助法について理 解する。	1. コンポジット修復の手順と使用する器具 について説明する。 2. コンポジット修復に補助法について説明 する。
11月22日 (水) 3限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	コンポジットレジン修復 の手順, 器具を極める ③ 頻出領域であるコンポジ ット修復の手順と使用す る器具、補助法について理 解する。	1. コンポジット修復の手順と使用する器具 について説明する。 2. コンポジット修復に補助法について説明 する。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
11月22日 (水) 4限	志賀華絵助教 (う蝕治療学)	修復の禁忌対策&必修強化 保存修復における禁忌項目について説明できるようになる。	1. 修復処置時に起こるトラブルを説明できる。 2. 高齢者、有病者の歯科治療時の注意点を説明できる。
11月24日 (金) 1限	坂本望助教 (歯科麻酔学)	弱点領域の強化 必修問題領域について知識を強化できる。	1. 全身の症候を説明できる。 2. 全身的偶発症の原因を説明できる。 3. 輸液療法、輸血療法について説明できる。 4. 全身管理に留意すべき疾患を説明できる。
11月24日 (金) 2限	坂本望助教 (歯科麻酔学)	弱点領域の強化 一般問題(総論)領域について知識を強化できる。	1. 局所麻酔薬・血管収縮薬を説明できる。 2. 吸入麻酔薬、静脈麻酔薬を説明できる。 3. 筋弛緩薬とその拮抗薬を説明できる。 4. 術前管理と麻酔前投薬を説明できる。 5. 術中・術後のモニタリングを説明できる。
11月24日 (金) 3限	三上俊成准教授 (口腔病理学)	嚢胞の臨床関連領域(1) 病理組織像をみながら、歯原性嚢胞および非歯原性嚢胞の臨床病態を理解する。	1. 嚢胞の病理組織像から、歯原性嚢胞および非歯原性嚢胞の臨床病態を説明できるようになる。
11月24日 (金) 4限	三上俊成准教授 (口腔病理学)	病理学総論、各論、組織像のまとめ(1) 病理学総論、口腔病理学および病理組織像の知識を総合的に解釈し、全身および口腔局所の病態を理解できるようになる。	1. 口腔領域の病変について、全身と口腔局所の関連および病理組織像に基づいて説明できるようになる。
11月25日 (土) 8:50~12:00		第7回全国模擬試験(必修模試2)	
11月27日 (月) 1,2限	泉澤充講師 (歯科放射線学)	画像診断の弱点補強3 炎症性疾患と上顎洞疾患の画像診断法を補強する。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試験等の結果から明らかになった以下の弱点項目を克服する。 炎症性疾患と上顎洞疾患の画像診断
11月27日 (月) 3,4限	佐々木実教授 (分子微生物学)	微生物学弱点対策 微生物学・免疫学領域全般について知識を強化し、理解を深める。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試験等の結果から見えてきた微生物学・免疫学領域に関する理解が不十分な領域を説明できる。
11月28日 (火) 1限	丸谷由里子講師 (小児歯科学)	低正答率問題の解析① 理解度の低かった項目を探り出し、再度理解を深める。	1. 低正答率問題の理解不足であった点を列挙できるようになる。 2. 理解不足であった項目について改めて、理解し説明できるようになる。
11月28日 (火) 2限	丸谷由里子講師 (小児歯科学)	歯の交換と歯列変化 小児の歯の交換と歯列の変化を総合的に理解する。	1. 乳歯から永久歯への交換とその各時点における歯列の変化を総合的に理解する。
11月28日 (火) 3限	岸光男教授 (予防歯科学)	公衆衛生学まとめ1 公衆衛生学関連の知識を強化する。	1. 人口統計を理解する。 2. 感染症の予防を理解する。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
11月28日 (火) 4限	岸光男教授 (予防歯科学)	公衆衛生学まとめ2 公衆衛生学関連の知識を強化する。	1. 環境衛生を理解する。 2. 食品衛生を理解する。
11月29日 (水) 1限	四戸豊講師 (歯科麻酔学)	弱点領域の強化 一般問題(各論)領域について知識を強化できる。	1. 全身管理に留意すべき全身疾患を説明できる。 2. 歯科における全身的偶発症を説明できる。 3. 歯科治療時の患者管理を説明できる。
11月29日 (水) 2限	四戸豊講師 (歯科麻酔学)	弱点領域の強化 臨床実地問題領域について知識を強化できる。	1. 全身管理に留意すべき全身疾患を説明できる。 2. 歯科における全身的偶発症を説明できる。 3. 歯科治療時の患者管理を説明できる。 4. 心電図を説明できる。
11月29日 (水) 3限	水川卓磨助教 (歯科矯正学)	臨床実地③弱点強化 マルチブラケット装置装置に関する臨床実地問題について知識を強化できる。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試験等の結果から見えてきた理解が不十分な領域を説明し、強化することができる。
11月29日 (水) 4限	水川卓磨助教 (歯科矯正学)	臨床実地④弱点強化 外科的矯正治療に関する臨床実地問題について知識を強化できる。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試験等の結果から見えてきた理解が不十分な領域を説明し、強化することができる。
11月30日 (木) 1限	熊谷章子准教授 (法歯学・災害口腔医学)	唾液腺疾患 唾液腺疾患に関する知識を習得する。	1. 一般・臨床実地問題を確実に答えることができる。
11月30日 (木) 2限	熊谷章子准教授 (法歯学・災害口腔医学)	顎関節・神経疾患 顎関節・神経疾患に関する知識を習得する。	1. 一般・臨床実地問題を確実に答えることができる。
11月30日 (木) 3限	宮本郁也准教授 (口腔外科学)	血液疾患 顎口腔領域における血液疾患に関する知識を習得する。	1. 一般・臨床実地問題を確実に答えることができる。
11月30日 (木) 4限	三上俊成准教授 (口腔病理学)	病理学総論、各論、組織像のまとめ(2) 病理学総論、口腔病理学および病理組織像の知識を総合的に解釈し、全身および口腔局所の病態を理解できるようになる。	1. 口腔領域の病変について、全身と口腔局所の関連および病理組織像に基づいて説明できるようになる。
12月1日(金) 1限	齊藤桂子助教 (小児歯科学)	低正答率問題の解析② 理解度の低かった項目を探り出し、再度理解を深める。	1. 低正答率問題の理解不足であった点を列挙できるようになる。 2. 理解不足であった項目について改めて、理解し説明できるようになる。
12月1日(金) 2限	藤井雅助教 (小児歯科学)	歯髄処置 pul と per 乳歯の歯髄炎と歯周炎の鑑別を総合的に理解する。	1. 歯髄炎の処置法である生活歯髄切断法と抜髄法の鑑別診断基準を臨床的に説明できるようになる。 2. 歯周炎の処置法である感染根管治療法と抜歯の鑑別診断基準を臨床的に説明できるようになる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
12月1日(金) 3限	宮本郁也准教授 (口腔外科学)	外傷 顎口腔領域における外傷に関する知識を習得する。	1. 一般・臨床実地問題を確実に答えることができる。
12月1日(金) 4限	宮本郁也准教授 (口腔外科学)	手術療法総まとめ 口腔外科領域における手術療法に関する知識を習得する。	1. 一般・臨床実地問題を確実に答えることができる。
12月2日(土) 8:50~12:00		必修再試験	
12月4日(月) 1限	藤井雅助教 (小児歯科学)	低正答率問題の解析③ 理解度の低かった項目を探り出し、再度理解を深める。	1. 低正答率問題の理解不足であった点を列挙できるようになる。 2. 理解不足であった項目について改めて、理解し説明できるようになる。
12月4日(月) 2限	藤井雅助教 (小児歯科学)	過去問低回答率問題の解析 国家試験模擬試験問題で正答率の低かった項目を探り出し、再度理解を深める。	1. 国家試験過去問の低正答率問題の理解不足であった点を列挙できるようになる。 2. 理解不足であった項目について改めて、理解し説明できるようになる。
12月4日(月) 3,4限	久慈昭慶准教授 (障害者歯科)	障害者歯科学演習 概論および症候群で身につけた知識を用いて演習を行う。	1. 概論および症候群で得た知識を整理し、臨床および資格試験に応用できる。
12月5日(火) 1限	千葉俊美教授 (関連医学)	高齢者に多い留意すべき全身疾患 腎・代謝・内分泌・腫瘍・血液疾患について理解する。	1. 高齢者に多い留意すべき全身疾患のうち、腎・代謝・内分泌・腫瘍・血液疾患について理解し説明できる。
12月5日(火) 2限	千葉俊美教授 (関連医学)	高齢者に多い留意すべき全身疾患 血液・出血性疾患・抗凝固療法について理解する。	1. 高齢者に多い留意すべき全身疾患のうち、血液・出血性疾患・抗凝固療法について理解し説明できる。
12月5日(火) 3限	千葉俊美教授 (関連医学)	復習講義重要点 重要な疾患についてさらに理解を深める。	1. 重要な疾患について実際の試験問題をふまえて理解を深める。
12月6日(水) 1限	大橋祐生助教 (口腔外科学)	口腔外科総まとめ 症候・検査値に関する知識を習得する。	1. 一般・臨床実地問題を確実に答えることができる。
12月6日(水) 2限	古城慎太郎助教 (口腔外科学)	手術機械器具総まとめ 口腔外科領域における手術機械器具・滅菌消毒に関する知識を習得する。	1. 一般・臨床実地問題を確実に答えることができる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
12月7日(木) 1,2限	村井治助教 (歯周療法学)	歯周病学まとめ(弱点領域の強化) 歯周医学、特殊な歯周疾患他を理解する。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試験等の結果をもとに、歯周病学に関する理解が不十分な領域の知識をまとめることができる。 2. 歯周医学、特殊な歯周疾患他について説明できる。
12月7日(木) 3限	櫻井秀人助教 (う蝕治療学)	歯内の禁忌対策、必修&高正答率一般問題強化 ① 歯内領域問題の高正答範囲を抽出し、認識を再確認する。	1. 解説を通して歯内領域の高正答問題を解くことができ確認認識することができる。
12月7日(木) 4限	野田守教授 (う蝕治療学)	歯内の禁忌対策、必修&高正答率一般問題強化 ② 歯内領域問題の高正答範囲を抽出し、認識を再確認する。	1. 解説を通して歯内領域の高正答問題を解くことができ確認認識することができる。
1月4日(木) 9:30~15:40 1月5日(金) 9:30~15:45		第3回総合試験	

講義日程【選抜講義1（8月4日～8月18日）】

1限：8：40～9：40、2限：9：50～10：50、3限：11：00～12：00、

4限：13：00～14：00、5限：14：10～15：10、6限：15：20～16：20

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
8月4日（金） 1限	藤村朗教授 （機能形態学）	歯の解剖 歯の形態に関する弱点歯種を再確認し、説明できる。	1. 永久歯の歯種ごとの基本形態を説明できる。 2. 乳歯の歯種ごとの基本形態を説明できる。
8月4日（金） 2限	藤村朗教授 （機能形態学）	骨学総復習 骨学の弱点を再確認し、頭蓋骨の骨間連結、管・孔による空間交通を理解する。	1. 骨同士の縫合から頭蓋骨全体の発育方向を説明できる。 2. 頭蓋腔と外頭蓋底、翼口蓋窩、口腔、鼻腔との交通を説明できる。
8月4日（金） 3限	原田英光教授 （発生生物・再生医学）	必修問題の弱点領域の強化 組織・発生学の必修問題領域を整理し、関連領域も含めて統合的に説明できるようになる。	1. 組織・発生学の必修問題領域について確認し、体系的に説明できる。
8月4日（金） 4限	原田英光教授 （発生生物・再生医学）	組織学総論の弱点領域の強化 組織学総論領域を整理し、関連領域も含めて統合的に説明できるようになる。	1. 組織学総論領域の重点項目について確認し、体系的に説明できる。
8月4日（金） 5,6限	成田欣弥講師 （病態生理学）	選抜講義 生理学の弱点領域を理解する。	1. 生理学の弱点領域について説明できる。
8月7日（月） 1,2限	石崎明教授 （細胞情報科学）	弱点領域の強化 中～高正答率問題について理解を深める。	1. 生化学領域の中～高正答率問題を確実に答えることができる。
8月7日（月） 3限	佐藤泰生講師 （口腔病理学）	弱点領域の強化 歯原性腫瘍の病理所見と発症機序について理解する。	1. 歯原性腫瘍について病理学的に理解する。
8月7日（月） 4限	佐藤泰生講師 （口腔病理学）	弱点領域の強化 唾液腺病変および唾液腺腫瘍の病理所見と発症機序について理解する。	1. 唾液腺病変と唾液腺腫瘍について病理学的に理解する。
8月7日（月） 5,6限	石河太知助教 （分子微生物学）	微生物学序論（選抜講義） 病原微生物の生物分類学上の位置づけおよびその性状を理解し、それら病原微生物による感染症およびその病原因子についての基本的事項を理解する。	1. 微生物の構造・性状について説明できる。 2. 感染の概念と感染症について説明できる。 3. 病原微生物の性状・病原因子および感染症について説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
8月8日(火) 1限	小笠原正人教授 (病態制御学)	薬理学総論(選抜講義) 薬物の作用に仕方、副作用、薬物動態、薬効に影響する因子について基本的事項を理解する。	1. 薬物受容体とその作用薬、拮抗薬について説明できる。 2. 重要な薬物の副作用、薬物相互作用について説明できる。 3. 主要な薬物の体内動態について説明できる。 4. 薬効に影響する生体側の因子について説明できる。
8月8日(火) 2限	小笠原正人教授 (病態制御学)	薬理学各論(選抜講義) 自律神経薬、抗炎症薬、止血薬に関する基本的事項を理解する。	1. 自律神経系の基本構造について説明できる。 2. 自律神経系受容体の種類、作用薬、拮抗薬について列挙し説明できる。 3. 抗炎症薬についてステロイド性、非ステロイド性について作用機序、副作用について説明できる。 4. 止血薬の種類と薬物相互作用する薬物を説明できる。
8月8日(火) 3限	武本真治教授 (医療工学)	総合講義A復習講義1(復習試験、到達度試験から) 歯科理工学の弱点領域について学ぶ。	1. 歯科理工学の弱点領域について説明できる。
8月8日(火) 4限	武本真治教授 (医療工学)	総合講義A復習講義2(復習試験、到達度試験から) 歯科理工学の弱点領域について学ぶ。	1. 歯科理工学の弱点領域について説明できる。
8月8日(火) 5限	阿部晶子准教授 (予防歯科学)	総合講義A復習講義1(復習試験、到達度試験から) 口腔衛生学の弱点を理解する。	1. 口腔衛生学の学習不足領域を列挙できる。
8月8日(火) 6限	南健太郎助教 (予防歯科学)	総合講義A復習講義1(復習試験、到達度試験から) 口腔衛生学の弱点を理解する。	1. 口腔衛生学の学習不足領域を列挙できる。
8月9日(水) 1,2限	長谷部智之助教 (う蝕治療学)	修復領域の中、高正答率を確実に解く 中～高正答率問題について理解を深める。	1. 修復領域の中～高正答率問題を確実に答えることができる。
8月9日(水) 3,4限	櫻井秀人助教 (う蝕治療学)	歯内領域の中、高正答率を確実に解く 中～高正答率問題について理解を深める。	1. 歯内領域の中～高正答率問題を確実に答えることができる。
8月9日(水) 5,6限	滝沢尚希助教 (歯周療法学)	弱点歯周領域の強化 中～高正答率問題について理解を深める。	1. 歯周領域の中～高正答率問題を確実に答えることができる。
8月10日(木) 1限	宮本郁也准教授 (口腔外科学)	弱点領域の強化1 中～高正答率問題について理解を深める。	1. 口腔外科領域の中～高正答率一般問題を確実に答えることができる(到達度試験①解説含む)。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
8月10日(木) 2限	宮本郁也准教授 (口腔外科学)	弱点領域の強化2 中～高正答率問題について理解を深める。	1. 口腔外科領域の中～高正答率一般問題を確実に答えることができる(到達度試験①解説含む)。
8月10日(木) 3限	熊谷章子准教授 (法歯学・災害口腔医学)	弱点領域の強化3 中～高正答率問題について理解を深める。	1. 口腔外科領域の中～高正答率臨床実地問題を確実に答えることができる(到達度試験②解説含む)。
8月10日(木) 4限	熊谷章子准教授 (法歯学・災害口腔医学)	弱点領域の強化4 中～高正答率問題について理解を深める。	1. 口腔外科領域の中～高正答率臨床実地問題を確実に答えることができる(到達度試験②解説含む)。
8月10日(木) 5,6限	小林琢也准教授 (補綴・インプラント学)	弱点対策講義①② これまでに理解できなかった領域を理解する。	1. 理解が不十分している領域を列挙できる。 2. 理解が不足している領域を学修して何が不足していたか説明できる。
8月17日(木) 1,2限	田邊憲昌講師 (補綴・インプラント学)	弱点領域の強化 中～高正答率問題について理解を深める。	1. クラウンブリッジ補綴学領域の中～高正答率問題を確実に答えることができる。
8月17日(木) 3,4限	間山寿代講師 (歯科矯正学)	弱点領域の強化 中～高正答率問題について理解を深める。	1. 矯正領域の中～高正答率問題を確実に答えることができる。
8月17日(木) 5,6限	藤井雅助教 (小児歯科学)	小児歯科弱点領域の強化 中～高正答率問題について理解を深める。	1. 小児歯科領域の中～高正答率問題を確実に答えることができるようになる。
8月18日(金) 1限	小豆島正典教授 (歯科放射線学)	全国模試解説1 低～中正答率問題について理解を深める	1. 全国模試(麻布基礎)問題の解き方を学び、放射線領域の弱点項目を補強する。
8月18日(金) 2,3限	佐藤健一教授 (歯科麻酔学)	選抜講義 弱点領域の強化 中～高正答率問題について理解を深める。	1. 歯科麻酔領域の中～高正答率問題を確実に答えることができる。
8月18日(金) 4限	久慈昭慶准教授 (障害者歯科学)	選抜講義 中～高正答率問題について理解を深める。	1. 障害者歯科学領域の中～高正答率問題を確実に解くことができる。
8月18日(金) 5限	近藤尚知教授 (補綴・インプラント学)	インプラント領域の中、高正答率を確実に解く 中～高正答率問題について理解を深める。	1. インプラント領域の中～高正答率問題を確実に答えることができる。
8月18日(金) 6限	千葉俊美教授 (関連医学)	循環器、脳血管、消化器、呼吸器、アレルギー疾患 代表的な循環器、脳血管、消化器、呼吸器、アレルギー疾患について理解する。	1. 代表的な循環器、脳血管、消化器、呼吸器、アレルギー疾患について理解し説明できる。

講義日程【選抜講義2（8月21日～11月2日）】

5限：15：20～16：25

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
8月 21日(月) 5限	安藤禎紀講師 (機能形態学)	骨学総復習 骨学の弱点を再確認し、頭蓋骨の骨間連結、管・孔による空間交通を理解する。	1. 骨同士の縫合から頭蓋骨全体の発育方向を説明できる。 2. 頭蓋腔と外頭蓋底、翼口蓋窩、口腔、鼻腔との交通を説明できる。
8月 22日(火) 5限	田村晴希講師 (病態制御学)	薬理学各論(選抜講義) 抗菌薬、抗真菌薬、抗ウイルス薬、局所麻酔薬、麻薬性鎮痛薬に関する基本事項を理解する。	1. 抗菌薬、抗真菌薬、抗ウイルス薬の作用機序、種類を説明できる。 2. 抗菌薬の副作用を説明できる。 3. PK/PD理論に基づく抗菌薬の選択を説明できる。
8月 23日(水) 5限	石河太知助教 (分子微生物学)	免疫学序論(選抜講義) 免疫応答による生体防御の仕組みについての基本的事項について理解を深める。	1. 免疫応答に関与する器官と細胞について説明できる。 2. 自然免疫と獲得免疫について説明できる。 3. 主なサイトカインとその生物活性について説明できる。 4. 微生物の認識機構と排除機構を説明できる。
8月 24日(木) 5限	城茂治教授 玉田泰嗣助教 (摂食嚥下口腔リハビリテーション学)	摂食嚥下と訪問歯科領域の弱点強化 摂食嚥下リハビリテーションと訪問歯科についての基本的事項について確認し、理解を深める。	1. 摂食嚥下リハビリテーションのスクリーニングテストおよび精密検査について説明できる。 2. 訪問診療における注意点について説明できる。
8月 25日(金) 5限	藤原尚樹准教授 (発生生物・再生医学)	顎顔面の発生の弱点領域の強化 顎顔面の正常発生領域を整理し、関連領域も含めて統合的に説明できるようになる。	1. 顎顔面の正常発生領域の重点項目について確認し、体系的に説明できる。
8月 30日(水) 5限	帖佐直幸講師 (細胞情報科学)	弱点領域の強化 中～高正答率問題について理解を深める。	1. 生化学領域の中～高正答率問題を確実に答えることができる。
8月 31日(木) 5限	熊谷章子准教授 (法歯学・災害口腔医学)	弱点領域の強化 災害歯学、法歯学にまつわる現代の社会問題について理解を深める。	1. 過去に出題された災害歯学、法歯学に関する社会問題について解説することができる。
9月 1日(金) 5限	飯島伸助教 (口腔外科学)	弱点領域の強化5 中～高正答率問題について理解を深める。	1. 口腔外科領域の中～高正答率問題を確実に答えることができる (DES 模試 111-1 解説も含む)。
9月 5日(火) 5限	千葉俊美教授 (関連医学)	腎、代謝、内分泌、腫瘍、血液、出血性疾患 代表的な腎、代謝、内分泌、腫瘍、血液、出血性疾患について理解する。	1. 代表的な腎、代謝、内分泌、腫瘍、血液、出血性疾患について理解し説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
9月6日(水) 5限	櫻井秀人助教 (う蝕治療学)	歯内領域の中、高正答率を確実に解く 中～高正答率問題について理解を深める。	1. 歯内領域の中～高正答率問題を確実に答えることができる。
9月7日(木) 5限	武本真治教授 (医療工学)	総合講義 A, B 復習 (復習試験から) おもに正答率30%～70% 歯科理工学の弱点領域について学ぶ。	1. 歯科理工学の弱点領域について説明できる。
9月8日(金) 5限	斎藤裕美子助教 (補綴・インプラント学)	弱点領域の強化 中～高正答率問題について理解を深める。	1. クラウンブリッジ補綴学領域の中～高正答率問題を確実に答えることができる。
9月11日(月) 5限	伊東俊太郎助教 (歯周療法学)	弱点歯周領域の強化 中～高正答率問題について理解を深める。	1. 歯周領域の中～高正答率問題を確実に答えることができる。
9月12日(火) 5限	長谷部智之助教 (う蝕治療学)	修復領域の中、高正答率を確実に解く 中～高正答率問題について理解を深める。	1. 修復領域の中～高正答率問題を確実に答えることができる。
9月13日(水) 5限	櫻井秀人助教 (う蝕治療学)	歯内領域の中、高正答率を確実に解く 中～高正答率問題について理解を深める。	1. 歯内領域の中～高正答率問題を確実に答えることができる。
9月14日(木) 5限	飯塚康之助教 (歯科矯正学)	弱点領域の強化 中～高正答率問題について理解を深める。	1. 矯正領域の中～高正答率問題を確実に答えることができる。
9月15日(金) 5限	小林琢也准教授 (補綴・インプラント学)	弱点对策講義③ これまでに理解できなかった領域を理解する。	1. 理解が不十分している領域を列举できる。 2. 理解が不足している領域を学修して何が不足していたか説明できる。
9月21日(木) 5限	飯塚康之助教 (歯科矯正学)	弱点領域の強化 中～高正答率問題について理解を深める。	1. 矯正領域の中～高正答率問題を確実に答えることができる。
9月22日(金) 5限	小林琢也准教授 (補綴・インプラント学講座)	弱点对策講義④ これまでに理解できなかった領域を理解する	1. 理解が不十分している領域を列举できる。 2. 理解が不足している領域を学修して何が不足していたか説明できる。
9月25日(月) 5限	山谷元気助教 (口腔外科学)	弱点領域の強化6 中～高正答率問題について理解を深める。	1. 口腔外科領域の中～高正答率問題を確実に答えることができる (麻布模試 111-1 解説も含む)。
9月26日(火) 5限	南健太郎助教 (予防歯科学)	選抜講義 1 知識が不足している領域を認識し充足する。	1. 過去の客観評価 (試験結果など) から自らの学習目標を設定できる。 2. 設定した学習目標を到達するために自己学習できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
9月27日(水) 5限	長谷部智之助教 (う蝕治療学)	修復領域の中、高正答率を確実に解く 中～高正答率問題について理解を深める。	1. 修復領域の中～高正答率問題を確実に答えることができる。
9月28日(木) 5限	小豆島正典教授 (歯科放射線学)	全国模試解説2 低～中正答率問題について理解を深める	1. 全国模試 (DES111-1、麻布 111-1) 問題の解き方を学び、放射線領域の弱点項目を補強する。
9月29日(金) 5限	佐藤健一教授 (歯科麻酔学)	選抜講義 弱点領域の強化 中～高正答率問題について理解を深める。	1. 歯科麻酔領域の中～高正答率問題を確実に答えることができる。
10月2日(月) 5限	宮本郁也准教授 (口腔外科学)	弱点領域の強化7 中～高正答率問題について理解を深める。	1. 口腔外科領域の中～高正答率問題を確実に答えることができる。
10月3日(火) 5限	南健太郎助教 (予防歯科学)	選抜講義2 知識が不足している領域を認識し充足する。	1. 過去の客観評価(試験結果など)から自らの学習目標を設定できる。 2. 設定した学習目標を到達するために自己学習できる。
10月4日(水) 5限	千田弥栄子助教 (う蝕食治療学)	総合歯科領域の中、高正答率を確実に解く 中～高正答率問題について理解を深める。	1. 総合歯科領域の中～高正答率問題を確実に答えることができる。
10月5日(木) 5限	成田欣弥講師 (病態生理学)	選抜講義 生理学の弱点領域を理解する。	1. 生理学の弱点領域について説明できる。
10月6日(金) 5限	佐藤泰生 (口腔病理学)	弱点領域の強化 中～高正答率問題について理解を深める。	1. 口腔病理学各論の中～高正答率問題を確実に答えることができる。
10月10日 (火) 5限	久慈昭慶准教授 (障害者歯科)	症候群 症候群について解説する。	1. 症候群についての知識を整理し、説明できる。
10月11日 (水) 5限	大橋祐生助教 (口腔外科学)	弱点領域の強化8 中～高正答率問題について理解を深める。	1. 口腔外科領域の中～高正答率問題を確実に答えることができる(必修全国模試1解説も含む)。
10月12日 (木) 5限	近藤尚知教授 (補綴・インプラント学)	弱点対策講義① 中～高正答率問題について理解を深める。	1. 口腔インプラント学、外科処置、補綴処置に関する中～高正答率問題を確実に答えることができる。
10月24日 (火) 5限	佐々木大輔講師 (歯周療法学)	弱点歯周領域の強化 中～高正答率問題について理解を深める。	1. 歯周領域の中～高正答率問題を確実に答えることができる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
10月25日 (水) 5限	齋藤裕美子助教 (補綴・インプラント学)	弱点領域の強化 中～高正答率問題について理解を深める。	1. クラウンブリッジ補綴学領域の中～高正答率問題を確実に答えることができる。
10月26日 (木) 5限	丸谷由里子講師 (小児歯科学)	小児歯科領域の中、高正答率を確実に解く 中～高正答率問題について理解を深める。	1. 小児歯科領域の中～高正答率問題を確実に答えることができるようになる。
11月1日(水) 5限	田邊憲昌講師 (補綴・インプラント学)	弱点領域の強化 中～高正答率問題について理解を深める。	1. クラウンブリッジ補綴学領域の中～高正答率問題を確実に答えることができる。
11月2日(木) 5限	近藤尚知教授 (補綴・インプラント学)	弱点対策講義② 材料学、技工操作など、これまでに理解不十分と思われる領域を理解する	1. 材料学、技工操作などの領域において理解が不十分な項目を列挙できる。 2. 理解が不足している領域を学習して必要な知識を身につける。

講義日程【選抜講義3（11月6日～12月8日）】

5限：15：20～16：25

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
11月6日(月) 5限	藤原尚樹准教授 (発生生物・再生 医学)	口腔組織学の弱点領域の 強化 口腔組織学領域を整理し、 関連領域も含めて統合的 に説明できるようになる。	1. 口腔組織学領域の重点項目について確認 し、体系的に説明できる。
11月7日(火) 5限	南健太郎助教 (予防歯科学)	選抜講義3 知識が不足している領域 を認識し充足する。	1. 過去の客観評価（試験結果など）から自らの 学習目標を設定できる。 2. 設定した学習目標を到達するために自己 学習できる。
11月8日(水) 5限	小豆島正典教授 (歯科放射線学)	全国模試解説3 低～中正答率問題につい て理解を深める。	1. 全国模試（麻布111-2）問題の解き方を学 び、放射線領域の弱点項目を補強する。
11月9日(木) 5限	佐々木大輔講師 (歯周療法学)	弱点歯周領域の強化 中～高正答率問題につい て理解を深める。	1. 歯周領域の中～高正答率問題を確実に答 えることができる。
11月10日 (金) 5限	武本真治教授 (医療工学)	これで最後？歯科理工学 の弱点克服 歯科材料の基本的知識を 整理する。	1. 歯科材料の基本的知識について説明でき る。
11月13日 (月) 5限	成田欣弥講師 (病態生理学)	選抜講義 生理学の弱点領域を理解 する。	1. 生理学の弱点領域について説明できる。
11月14日 (火) 5限	宮本郁也准教授 (口腔外科学)	弱点領域の強化9 中～高正答率問題につい て理解を深める。	1. 口腔外科領域の中～高正答率問題を確実 に答えることができる（麻布模試111- 2 解説も含む）。
11月15日 (水) 5限	小林琢也准教授 (補綴・インプラ ント学)	弱点对策講義④ これまでに理解できなか った領域を理解する。	1. 理解が不十分している領域を列挙できる。 2. 理解が不足している領域を学修して何が 不足していたか説明できる。
11月16日 (木) 5限	安藤禎紀講師 (機能形態学)	歯の解剖 歯の形態に関する弱点歯 種を再確認し、説明でき る。	1. 永久歯の歯種ごとの基本形態を説明でき る。 2. 乳歯の歯種ごとの基本形態を説明できる。
11月17日 (金) 5限	田村晴希講師 (病態制御学)	薬理学弱点对策（選抜講 義） 歯科医師として習得すべ き薬理学・臨床薬理学の重 要な基本事項を理解する。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試 験などの結果から見えてきた薬理学・臨床 薬理学領域に関する理解を強化する。
11月20日 (月) 5限	帖佐直幸講師 (細胞情報科学)	弱点領域の強化 中～高正答率問題につい て理解を深める。	1. 生化学領域の中～高正答率問題を確実に 答えることができる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
11月21日 (火) 5限	岸光男教授 (予防歯科学)	選抜講義 3 知識が不足している領域を認識し充足する。	1. 過去の客観評価(試験結果など)から自らの学習目標を設定できる。 2. 設定した学習目標を到達するために自己学習できる。 3.
11月22日 (水) 5限	櫻井秀人助教 (う蝕治療学)	歯内領域の中、高正答率を確実に解く 中～高正答率問題について理解を深める。	1. 歯内領域の中～高正答率問題を確実に答えることができる。
11月24日 (金) 5限	滝沢尚希助教 (歯周療法学)	弱点歯周領域の強化 中～高正答率問題について理解を深める。	1. 歯周領域の中～高正答率問題を確実に答えることができる。
11月27日 (月) 5限	下山佑講師 (分子微生物学)	微生物学弱点対策(選抜講義) 歯科医師として習得すべき微生物学・免疫学の重要な基本項目を理解する。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試験等の結果から見えてきた微生物学・免疫学領域に関する理解を強化することができる。
11月28日 (火) 5限	佐藤健一教授 (歯科麻酔学)	選抜講義 弱点領域の強化 中～高正答率問題について理解を深める。	1. 歯科麻酔領域の中～高正答率問題を確実に答えることができる。
11月29日 (水) 5限	水川卓磨助教 (歯科矯正学)	弱点領域の強化 中～高正答率問題について理解を深める。	1. 矯正領域の中～高正答率問題を確実に答えることができる。
11月30日 (木) 5限	佐藤泰生 (口腔病理学)	弱点領域の強化 中～高正答率問題について理解を深める。	1. 病理組織像を伴った臨床実地問題の中～高正答率問題を確実に答えることができる。
12月1日(金) 5限	山田浩之教授 (口腔外科学)	弱点領域の強化 10 中～高正答率問題について理解を深める。	1. 口腔外科領域の中～高正答率問題を確実に答えることができる。
12月4日(月) 5限	長谷部智之助教 (う蝕治療学)	修復領域の中、高正答率を確実に解く 中～高正答率問題について理解を深める。	1. 修復領域の中～高正答率問題を確実に答えることができる。
12月5日(火) 5限	千葉俊美教授 (関連医学)	選抜講義 中～高正答率問題について理解を深める。	1. 代表的な循環器、脳血管、消化器、呼吸器、アレルギー、腎、代謝、内分泌、腫瘍、血液、出血性疾患について理解を深め説明できる。 2.
12月6日(水) 5限	田邊憲昌講師 (補綴・インプラント学)	弱点領域の強化 中～高正答率問題について理解を深める。	1. クラウンブリッジ補綴学領域の中～高正答率問題を確実に答えることができる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
12月7日(木) 5限	久慈昭慶准教授 (障害者歯科)	障害者歯科学演習 概論および症候群で身に着けた知識を用いて演習を行う。	1. 概論および症候群で得た知識を整理し、臨床および資格試験に応用できる。
12月8日(水) 5限	櫻井秀人助教 (う蝕治療学)	歯内領域の中、高正答率を確実に解く 中～高正答率問題について理解を深める。	1. 歯内領域の中～高正答率問題を確実に答えることができる。

成績評価方法

第1回～第3回総合試験を95%、到達度評価試験を5%として評価する。

※第1回～第3回総合試験の点数配分 第1回：第2回：第3回＝1.5：3.5：4.5

判定基準点：必修問題75%以上、一般問題65%以上、臨床実地問題65%以上、総合得点70%以上

判定基準：必修問題、一般問題、臨床実地問題、総合得点いずれも基準点を満たしていること。

※必修問題、一般問題は1問1点、臨床実地問題は1問3点で計算

総合試験における受験資格について（出席）

- ・総合講義 A、B、C（必修講義、総合試験の解説講義、模擬試験を含む）及び総合講義に於ける復習試験及び選抜講義①、②、③をそれぞれ1/5を超えて欠席した場合、それぞれの期間の総合試験の受験を認めない。また、大学主催の模擬試験を欠席した場合、原則としてそれぞれの期間の総合試験の受験を認めない。

※総合講義 A：第1回総合試験、総合講義 B：第2回総合試験、総合講義 C：第3回総合試験

- ・到達度評価試験(2回)、第1回総合試験の平均点における概ね上位1/5については、総合講義 B（8月～10月）の受講を任意とする。（解説講義・模擬試験・復習試験除く）
- ・第2回総合試験における概ね上位1/5については、総合講義 C（10月～12月）の受講を任意とする。（解説講義・模擬試験・復習試験除く）
- ・到達度評価試験(2回)の得点が上位1/3かつ同試験までの復習試験の得点が75%以上の者については、選抜講義①の受講を任意とする。
- ・第1回総合試験の得点が80%以上で上位1/3かつ到達度評価試験(2回)以降の同試験までの復習試験の得点が75%以上の者については、選抜講義②の受講を任意とする。
- ・第2回総合試験の得点が80%以上で上位1/3かつ第1回総合試験以降の同試験までの復習試験の得点が75%以上の者については、選抜講義③の受講を任意とする。

総合試験における受験資格について（DESS 演習）

- ・第1回総合試験
基礎演習（A）、臨床演習（B）、臨床実地演習（C）のA,B,Cの各3領域中、1領域以上で90%以上得点（合格）する。
- ・第2回総合試験
演習 A、B、C の2領域以上で90%以上得点（合格）する。
- ・第3回総合試験
演習 A、B、C 全ての領域で90%以上得点（合格）する。

総合試験における受験資格について（必修試験）

- ・必修試験の各試験を受験し、原則として80%以上得点（合格）すること。
- ・必修試験に不合格となった者は、再試験に80%以上得点（合格）するか、もしくは、再試験の受験を継続すること。

到達度評価試験の評価について

- ・到達度評価試験の評価については、2回の平均得点率を評価点数とする。
- ・到達度試験の配分は5%とし、すべての到達度試験を受験した場合にも加算する。